



2025年度

東部陸橋・7－1

福山市 東深津町二丁目外2か町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=169.2m 橋長 L=169.2m 有効幅員 W=12.5m 路面切削工 A=1440m2 舗装工 A=1440m2 橋面防水工 A=1607m2 区画線工 L=830m 伸縮装置工 L=101.2m 排水施設工 一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（東部陸橋・7－1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第10節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：西日本旅客鉄道株式会社
- ・協議内容：工事中における安全対策について

第2節 工事支障物件

- ・調査項目：水道・ガス配管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に必要があれば試掘を行うこと。
- ・移設期間：工事期間中
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいます。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
(2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

- ・各処分場の現地確認写真

- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第8節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.04.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路維持					Y1G01 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
路面切削工	1	式			Y1G010301 レベル3 F=0.5
路面切削 【施工区分・平均切削深さ】 【段差すりつけ撤去作業の有無】	1	式			Y1G01030101 レベル4
路面切削工 全面切削12cmを超え18cm以下 段差すりつけの撤去作業有り	1,440	m2			V3000 00 【夜間工事】 単第0 -0001 表
舗装打換え工	1	式			Y1G010302 レベル3 F=0.5
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】		m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	160	m			SPK24040306 00 【夜間工事】 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030209レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	1,440	m2			SPK24040239 00 【夜間工事】 単第0 -0003 表
中間層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030210レベル4
中間層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	1,440	m2			SPK24040240 00 【夜間工事】 単第0 -0004 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm	1,440	m2			SPK24040241 00 【夜間工事】 単第0 -0005 表
橋面防水工	1	式			Y1E020403 レベル3
橋面防水 【車道部】		m2			Y1E02040301レベル4 F=0.5
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	1,440	m2			SS000255 00 【夜間工事】 【車道部】 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水用導水管 φ18mm ステンレス製	448	m			TTPC00029 00
成形目地材 厚5mm×幅30mm (参考)セロシールSSテープ	509	m			TH007250 00
橋面防水 【歩道部】		m2			Y1E02040301レベル4
橋面防水工 浸透防水型表面処理工 CAMシールNEOプラス相当品	1	橋			V1000 00 【昼間工事】【歩道部】平面A=167m2 単第0 -0007 表
区画線工	1	式			Y1E0210 レベル2
区画線工	1	式			Y1E021001 レベル3
区画線工	1	式			Y1E02100101レベル4 F=0.5
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	340	m			SDT00001 00 【夜間工事】 単第0 -0008 表
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	170	m			SDT00001 00 【夜間工事】 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	320	m			SDT00001 00 【夜間工事】 単第0 -0010 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0114 レベル2
伸縮装置工	1	式			Y1E021301 レベル3
鋼・ゴム製伸縮装置 【車道部】	1	式			Y1E02130101 レベル4 F=0.5
伸縮装置補修(車道部) 伸縮量20mm用 HDJ-CV-R20相当品	70.6	m			V2000 00 【夜間工事】【A1,P1,P2,P3,P6,P7,P8,A2】 単第0 -0011 表
伸縮装置補修(車道部) 伸縮量40mm用 HDJ-CV-R40相当品	18.2	m			V2001 00 【夜間工事】【P4,P5】 単第0 -0013 表
シール材 シリコーン系 プライマー含む	26	L			F0000000010 00
鋼・ゴム製伸縮装置 【歩道部】		m			Y1E02130101 レベル4
伸縮装置補修(歩道部) 伸縮量40mm用 HSJ-SW-R40相当品	12.4	m			V2002 00 【昼間工事】【P3,P4,P5,P6】 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水施設工					Y1G011402 レベル3
	1	式			
排水柵 【柵規格】					Y1G01140201 レベル4
		箇所			
排水柵 排水柵B 20kg/個未満 橋梁用排水柵(各種)	6	箇所			SPK24040294 00 【昼間工事】 単第0 -0016 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	20	孔			SPK24040118 00 【昼間工事】 単第0 -0017 表
柵清掃(人力清掃工) 有蓋 土砂厚25cm未満	5	箇所			SPK24040365 00 【昼間工事】 単第0 -0018 表
構造物撤去工					Y1G0124 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G012416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G01241601 レベル4 F=0.5
		m3			
As殻運搬(路面切削) DID区間有り 運搬距離19.0km以下(16.5km超)	201	m3			SPK24040304 00 【夜間工事】 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
Co殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	9	m3			SPK24040151 00 【夜間工事】 単第0 -0020 表
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G01241601レベル4
Co殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	1	m3			SPK24040151 00 【昼間工事】 単第0 -0021 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入 夜間	473	t			T9006 00
鉄筋コンクリート塊受入費 再生工場搬入 昼間	22	t			T9005 00
鉄筋コンクリート塊受入費 再生工場搬入 夜間	3	t			F0000000015 00
仮設工	1	式			Y1G0126 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1G012621 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G01262101レベル4 F=0.5
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
設計労務単価の補正割増し(1.5)					【夜間工事】
	168	人			
交通誘導警備員					Y1G01262101レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	36	人			【昼間工事】
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0009

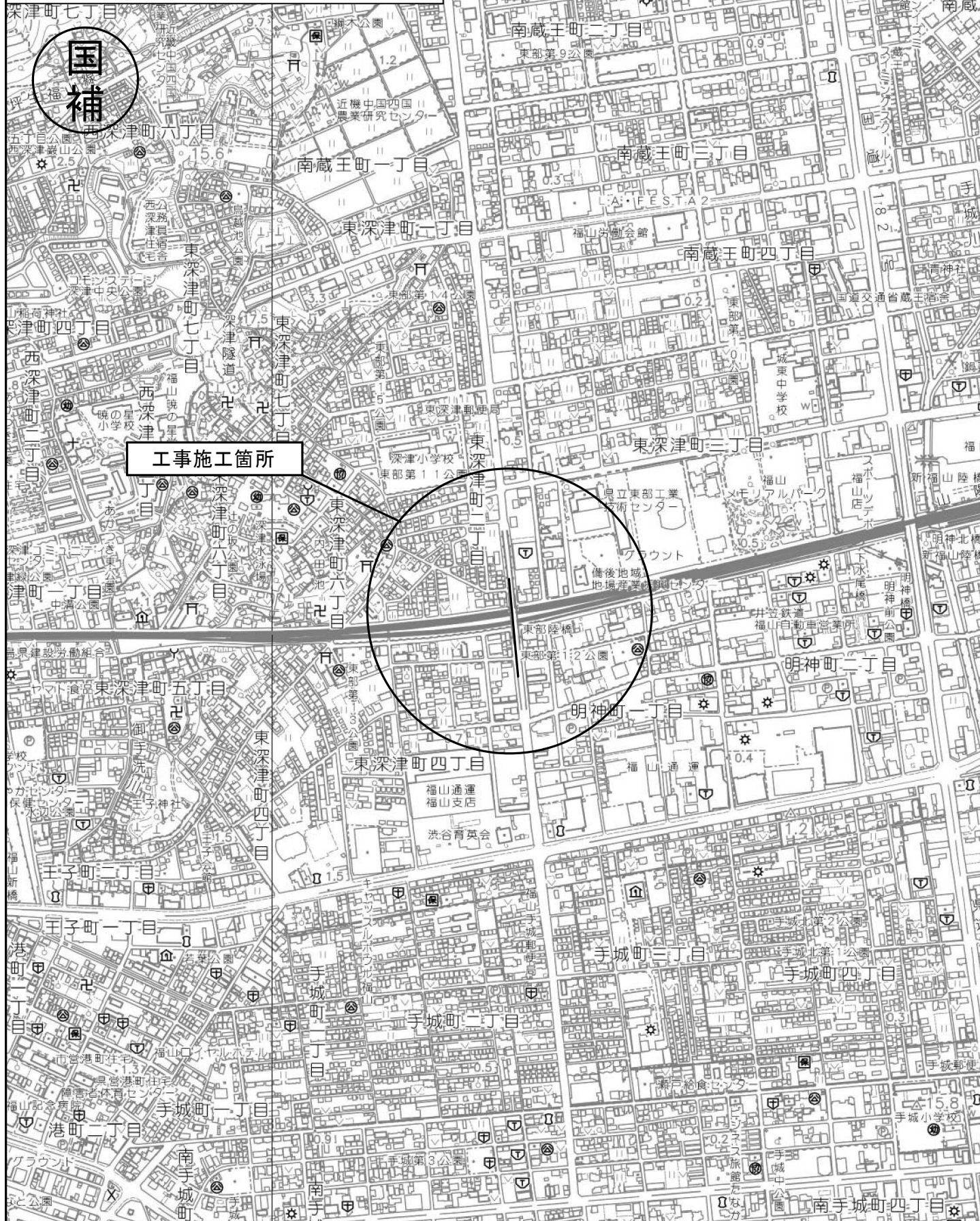
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設機械運搬費		台			YZZ04001001レベル4
建設機械の貨物自動車等による運搬 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 片道運搬距離 18.5km 往復運搬	1	回			S1000013 00 単第0 -0022 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

図面番号	1 / 16	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	東部陸橋・7－1		
工事箇所	福山市東深津町二丁目外2か町地内		
福 山 市			

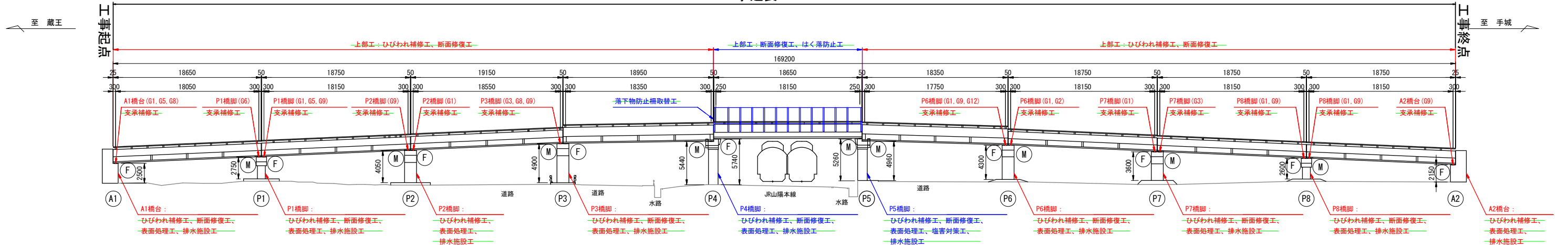


東部陸橋 補修一般図

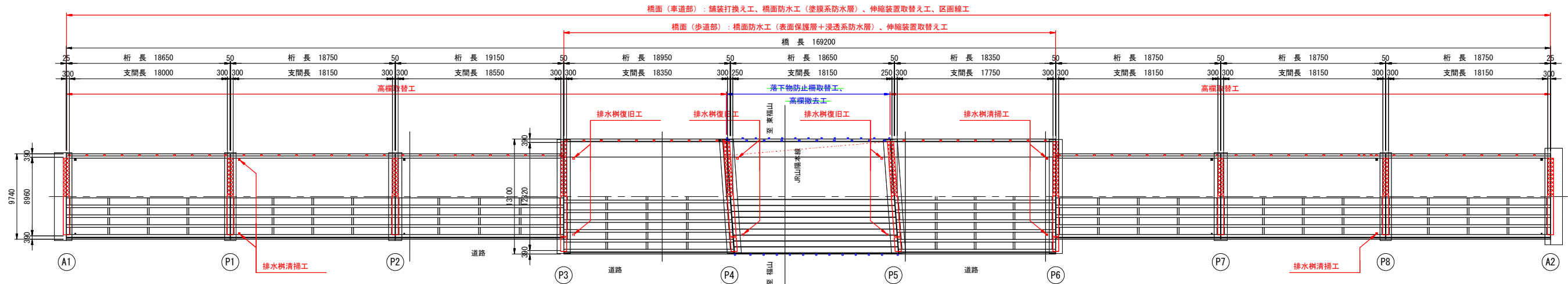
側面図 S=1:250

工事延長 L=169.2m

青文字は【JR受託工事】範囲



平面図



断面図 (A1-P3, P6-A2)

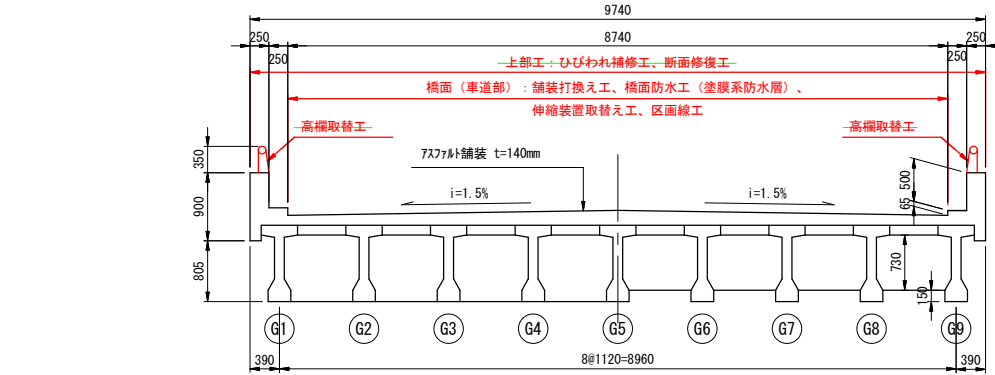
S=1:50

断面図 (P3-P4, P5-P6)

S=1:50

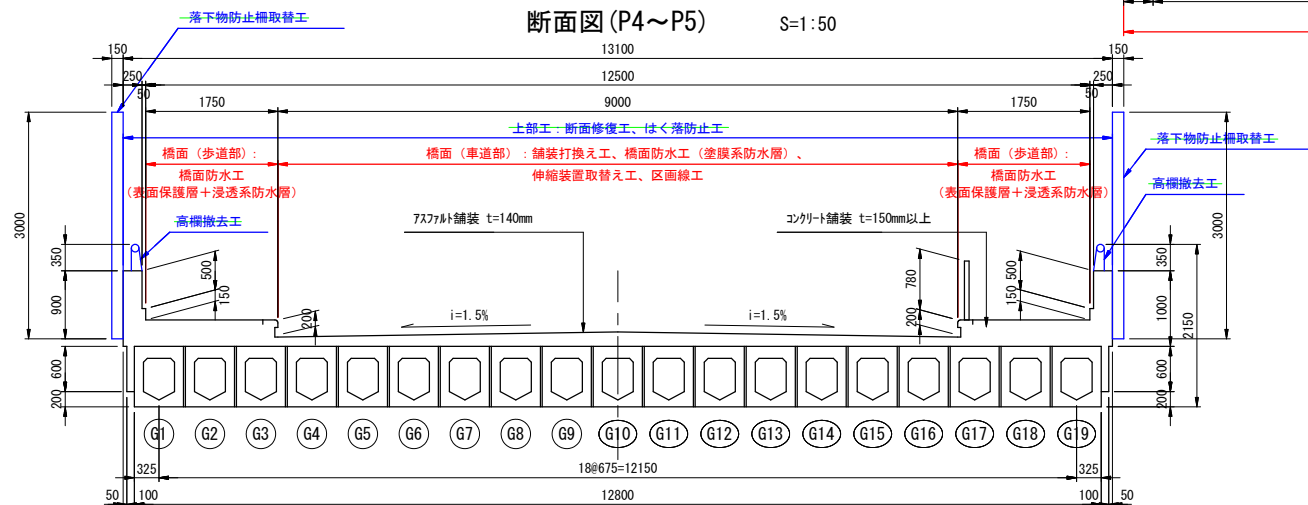
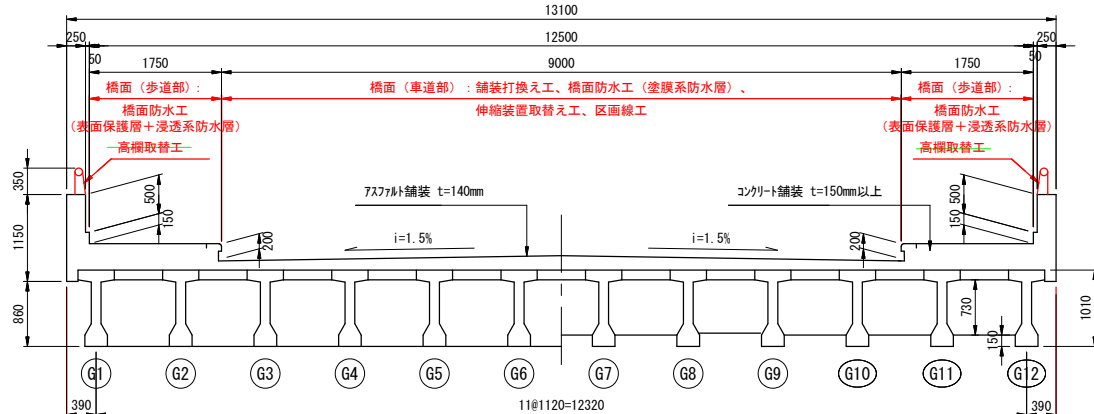
補修概要

補修工種		補修工法	
橋面工	舗装打換え工	車道部	表層：再生改質Ⅱ型密粒度As (20) t=40mm 中間層：再生密粒度As (20) t=50mm 基層：再生密粒度As (20) t=50mm
		橋面防水工	車道部 塗膜系防水層 歩道部 表面保護層+浸透系防水層
		伸縮装置取替工	車道部 鋼鉄製・荷重支持型 歩道部 鋼製・歩道用
	区画線工		溶融式区画線
	橋梁補修工		
橋梁補修工	ひびわれ補修工	注入工法	上部工：エポキシ樹脂注入材3種 下部工：亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系
	断面修復工	左官工法	上部工：ポリマーセメントモルタル 下部工：亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル
	はく落防止工	下地視認型省工	はく落防止工法
	表面処理工	表面含浸工	橋台、P5橋脚：シラン・シロキサン系 橋脚 (P5以外)：亜硝酸リチウム+シラン・シロキサン系
	支承補修工	クロロブレンゴム系	
排水施設工	排水施設工	排水管支持金具取替工	(A1, P1~P8, A2)
		排水管部分取替工	(P3, P7)、排水管取替工 (P4, P5)
		排水樹復旧工	(P3-4, P4-5間)、排水樹清掃工 (P1-2, P5-6, P7-8間)
	高欄取替工	高欄取替工	(A1-P4, P5-A2間)、高欄撤去工 (P4-P5間)
	落下物防止柵取替工	鉄道部	H=3000
仮設工	仮設工		
	吊足場 (上部工)		
	枠組足場 (上部工、下部工)、単管足場 (下部工 (P4, P5))		



断面図 (P4~P5)

S=1:50



注記

- 本図面は、既存資料および現地計測を元に作成したものである。
工事の際には、寸法形状を測定し使用すること。
- 補修箇所は再計測し、数量を計上すること。
- P4-P5間はJR踏線部であり、詳細調査未実施のため既設資料により作成。



設計：株式会社 長大テック

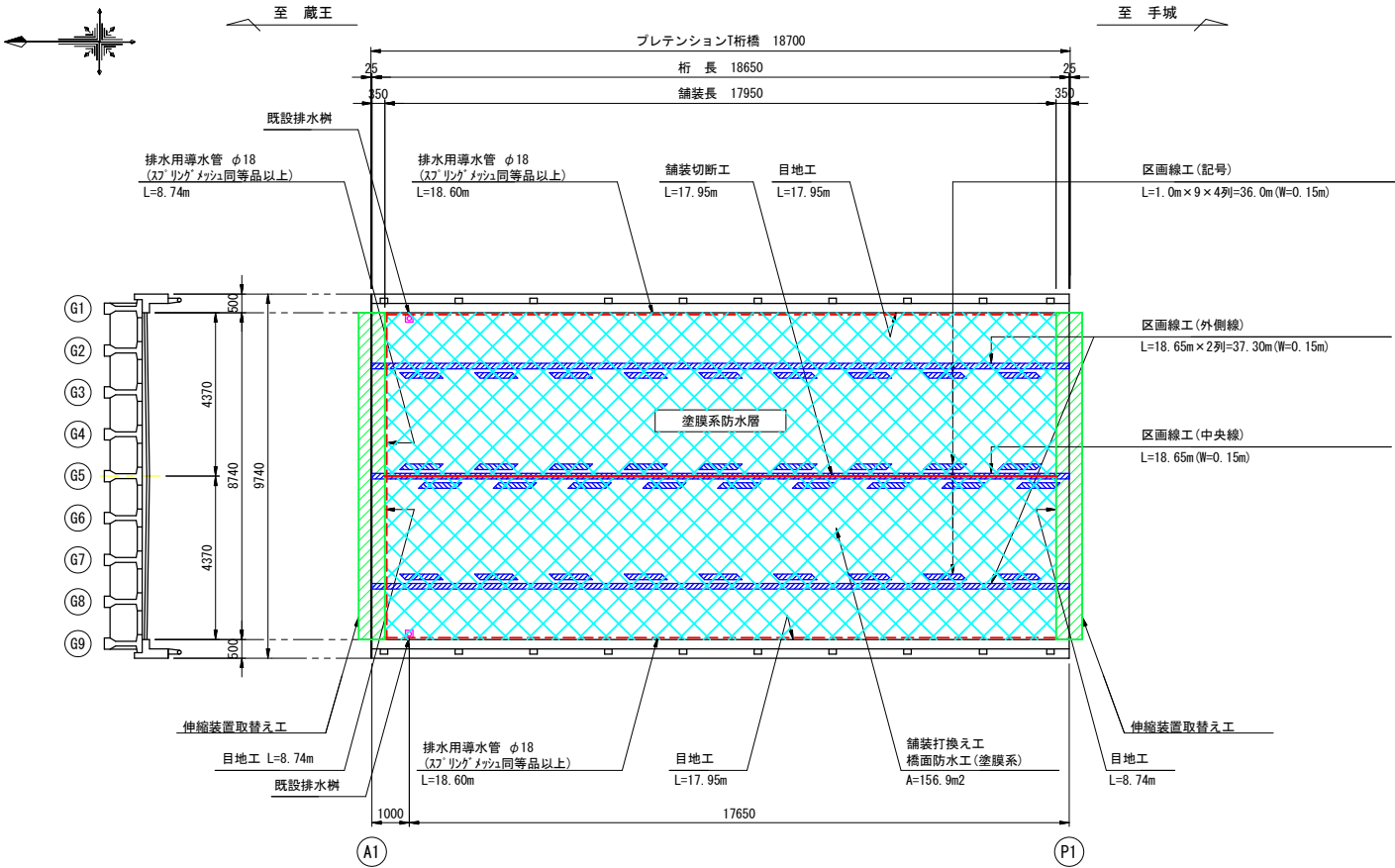
工事名	橋梁修繕工事 (東部陸橋・7-1)		
図面名	東部陸橋 補修一般図		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 16
工事箇所	福山市 東津津町二丁目外2カ町 地内		
事業者名	福山市		

東部陸橋 橋面工補修図（その1）

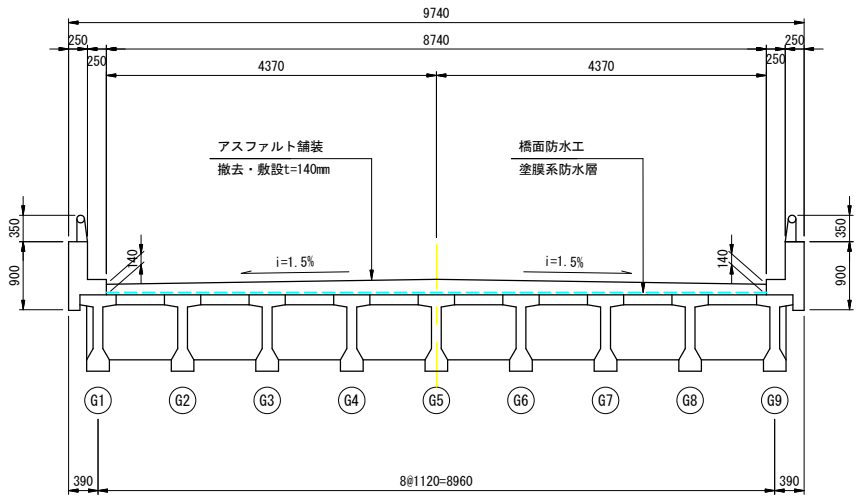
S=1:100

A1-P1間

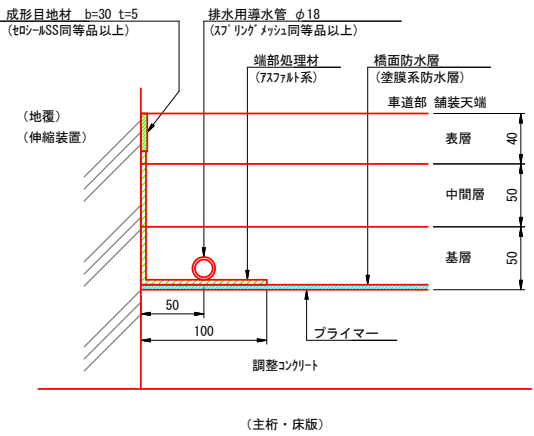
平面図 S=1:100



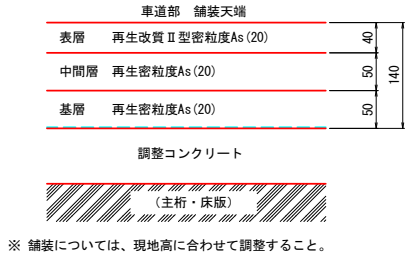
断面図 S=1:50



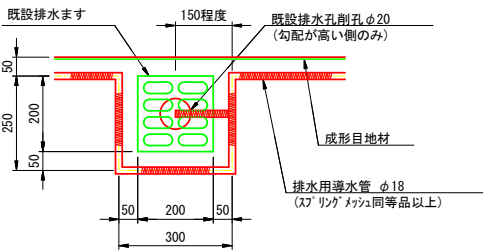
端部処理詳細図 S=1:3



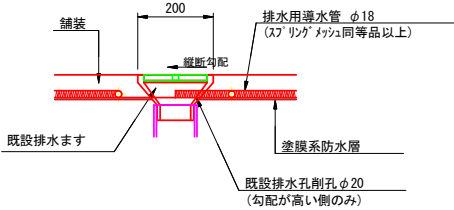
車道部舗装構成図 S=1:5



既設排水ます流末処理図 S=1:10



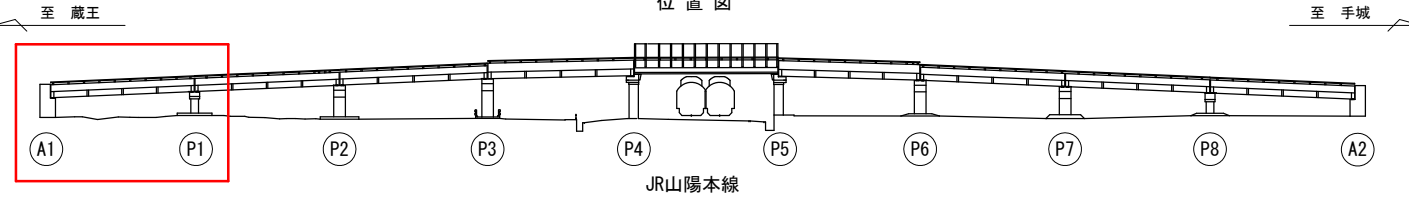
側面図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めなどの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その1）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



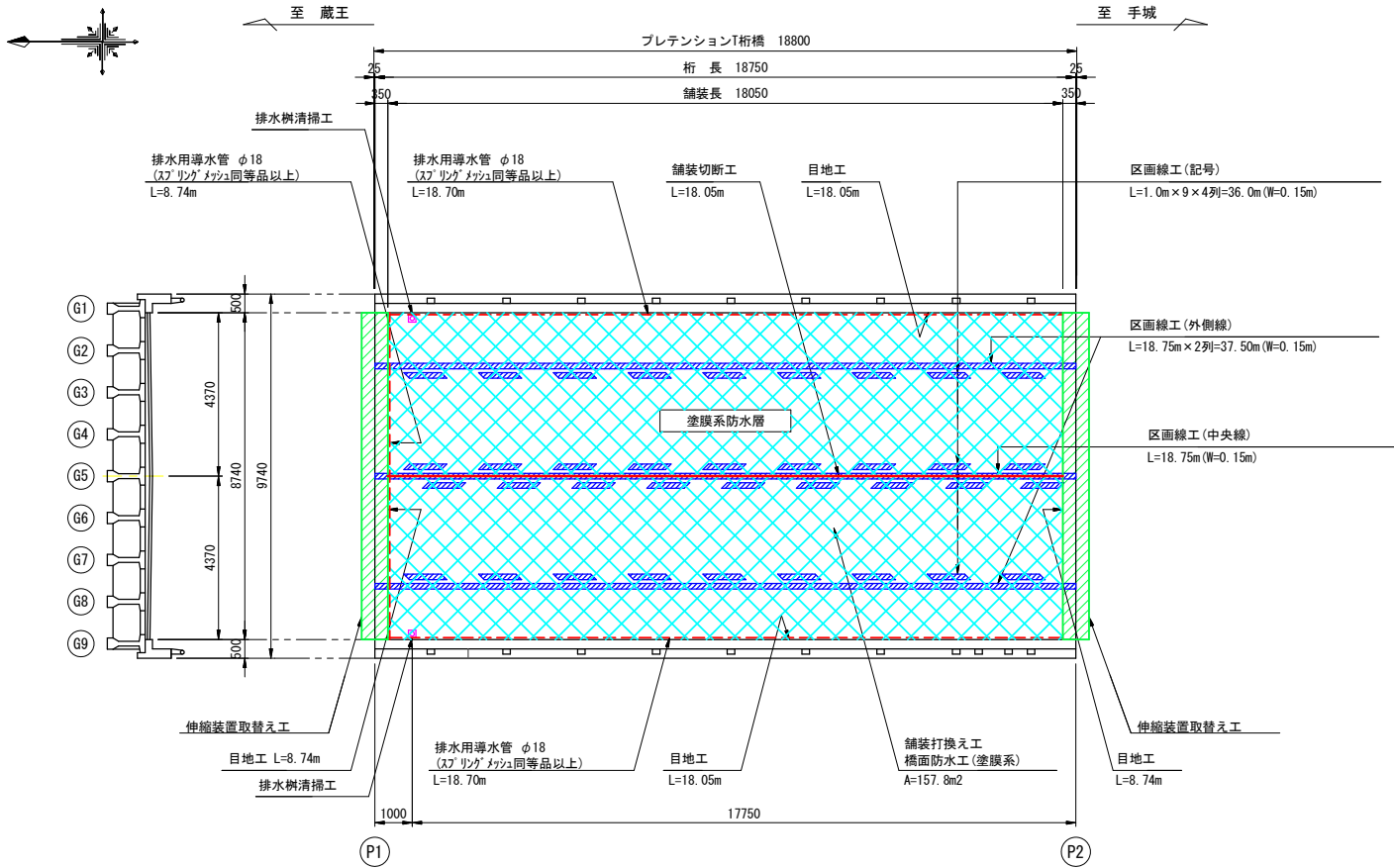
東部陸橋 橋面工補修図（その2）

S=1:100

P1-P2間

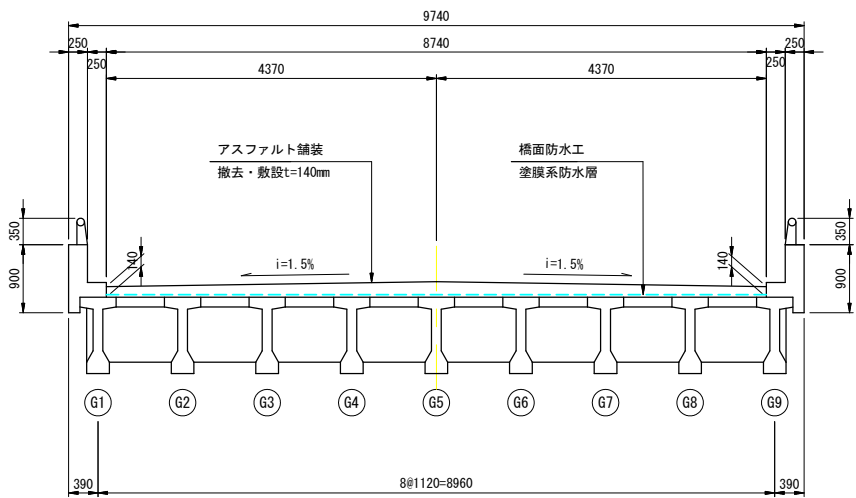
平面図

S=1:100



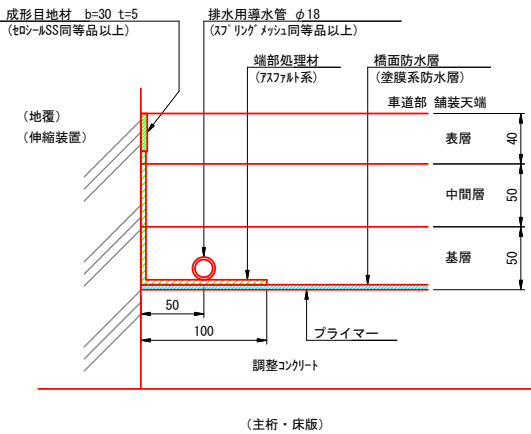
断面図

S=1:50



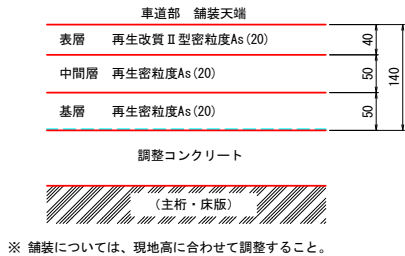
端部処理詳細図

S=1:3



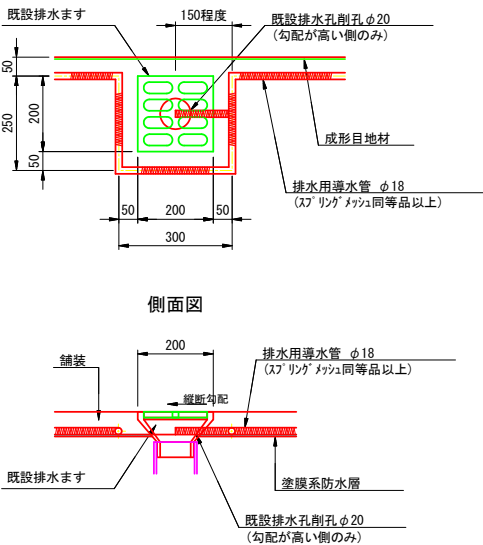
車道部舗装構成図

S=1:5



既設排水ます流末処理図

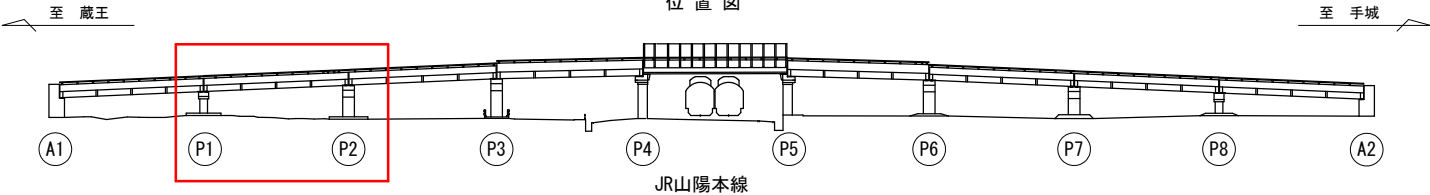
S=1:10



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面にはない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めなどの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その2）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



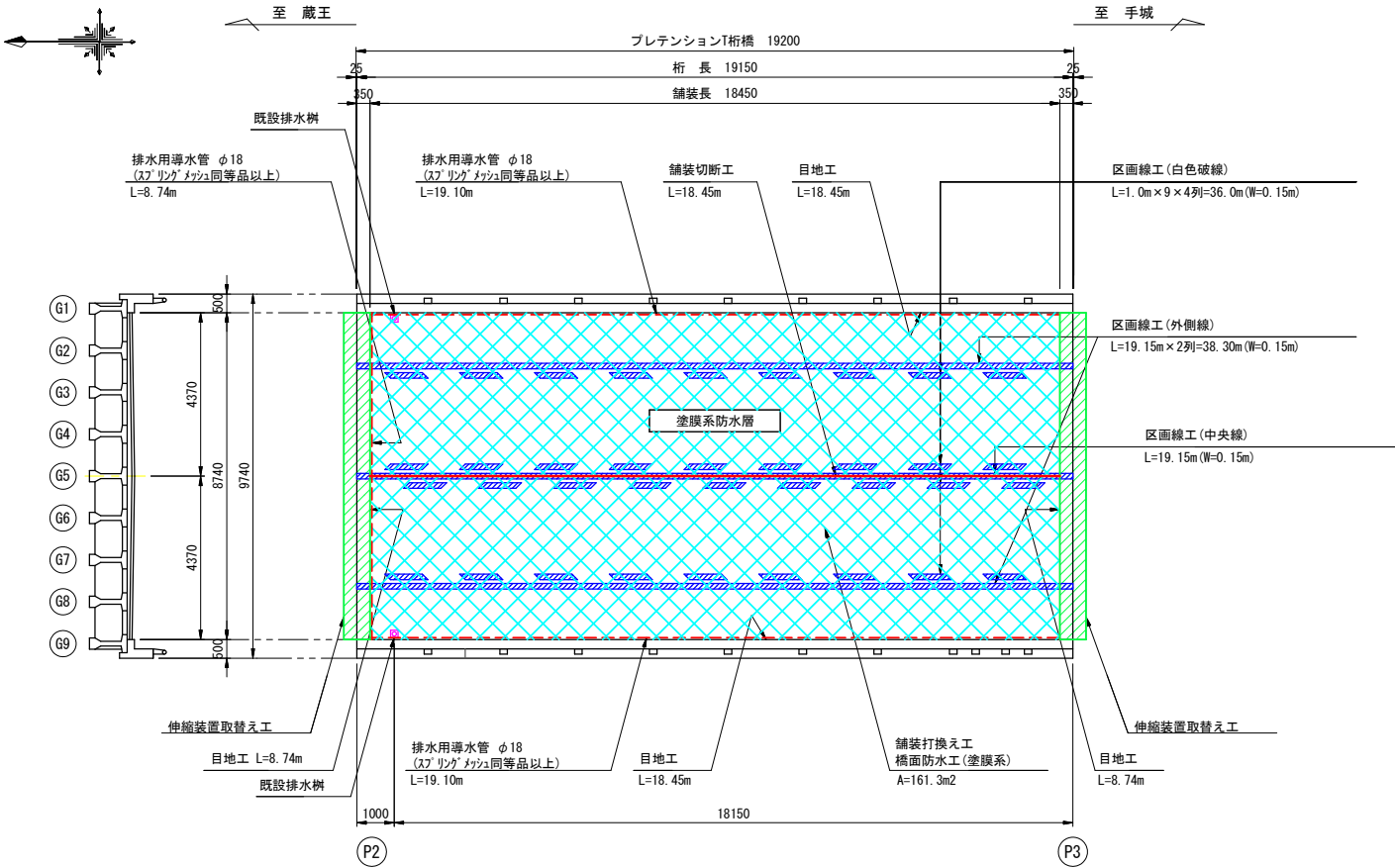
東部陸橋 橋面工補修図（その3）

S=1:100

P2-P3間

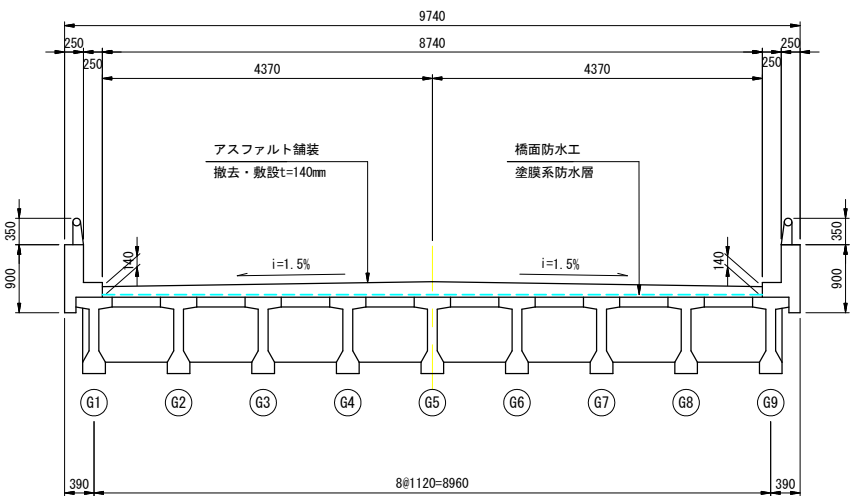
平面図

S=1:100



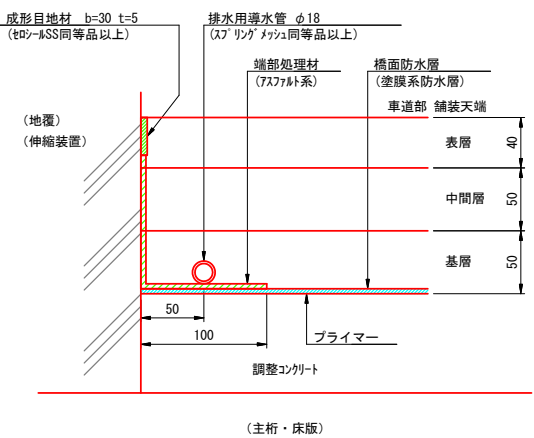
断面図

S=1:50



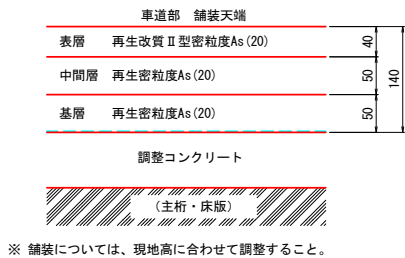
端部処理詳細図

S=1:3



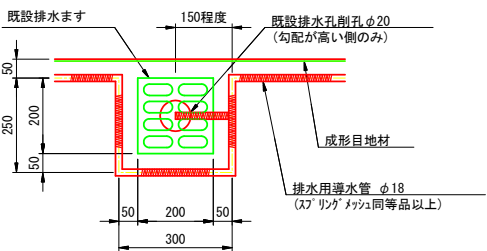
車道部舗装構成図

S=1:5

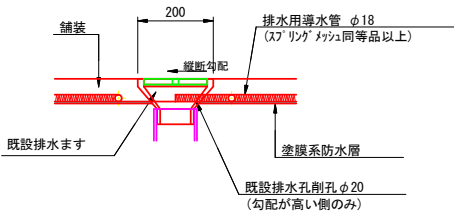


既設排水ます流末処理図

S=1:10



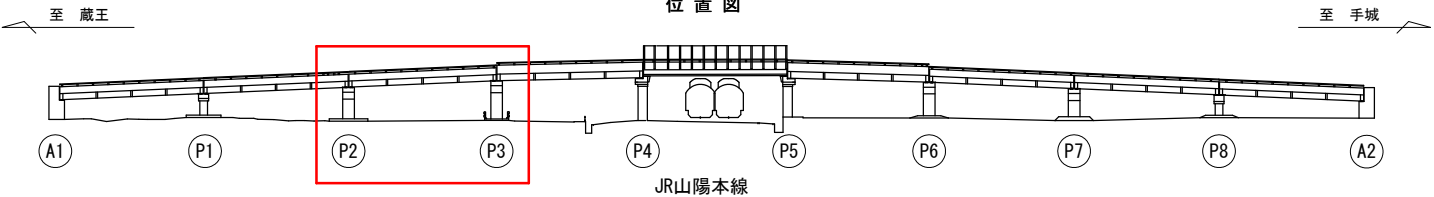
側面図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の報告・指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めなどの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

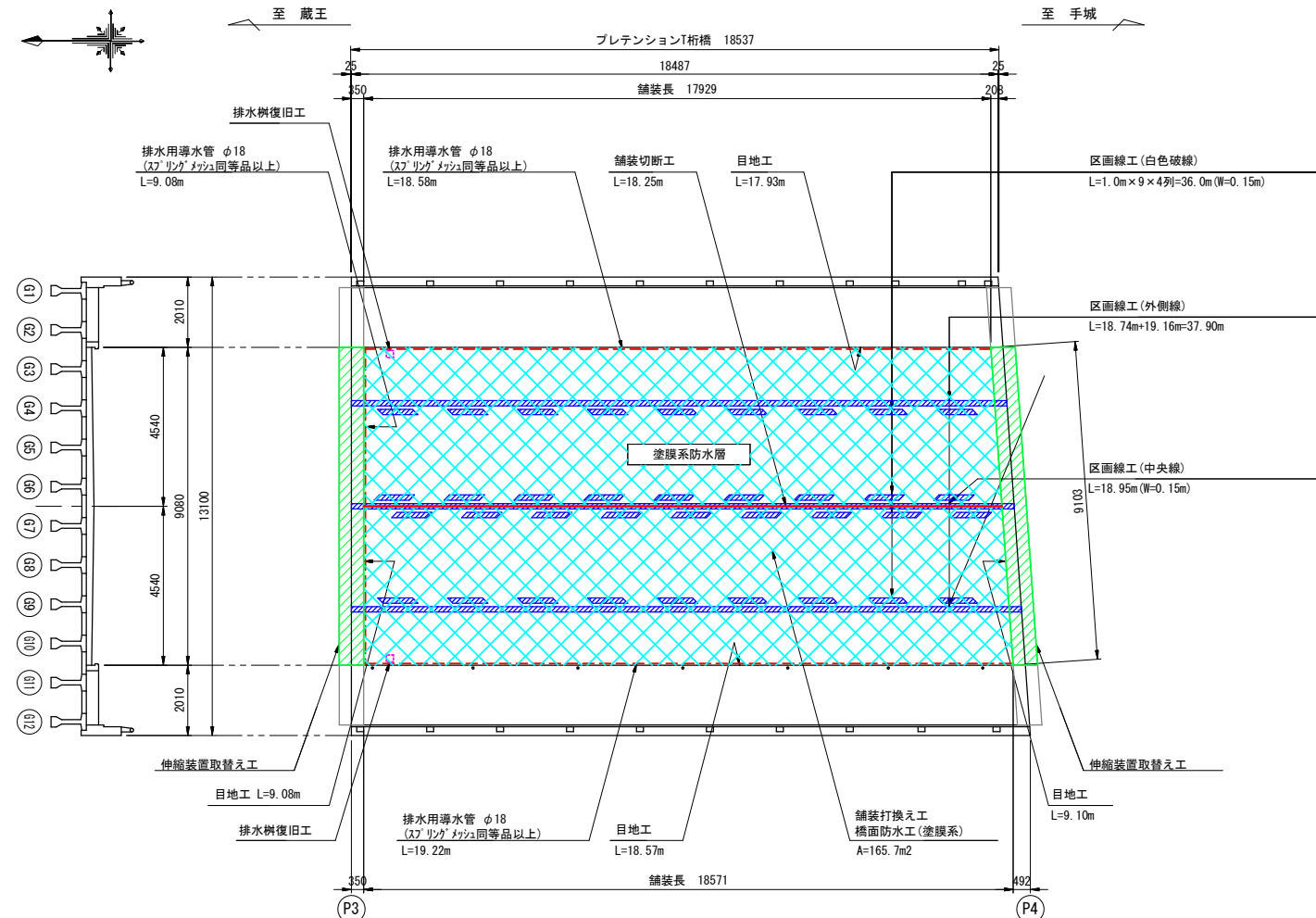
工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その3）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



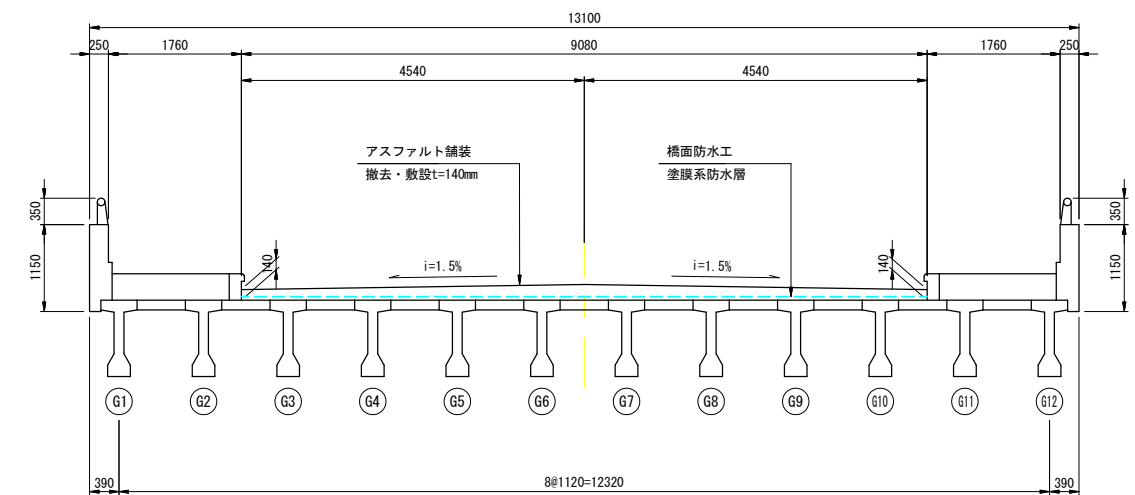
S=1 : 100

P3-P4間(車道部)

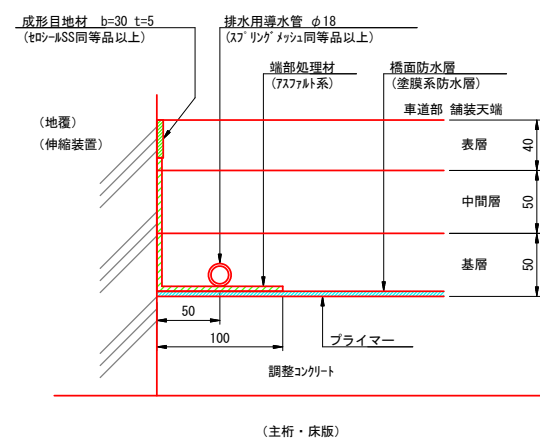
平面图 S=1:100



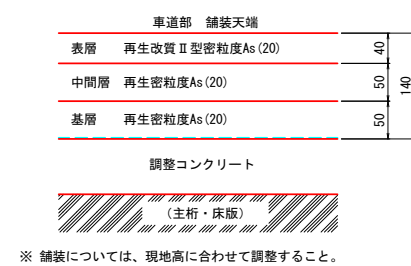
断面図 S=1:50



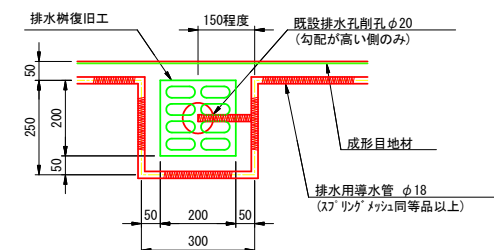
端部処理詳細図 S=1:3



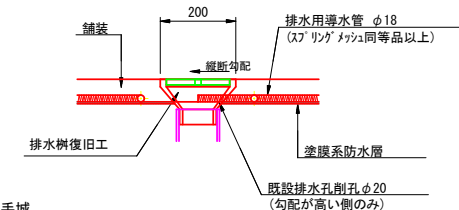
車道部舗装構成図 S=1:5



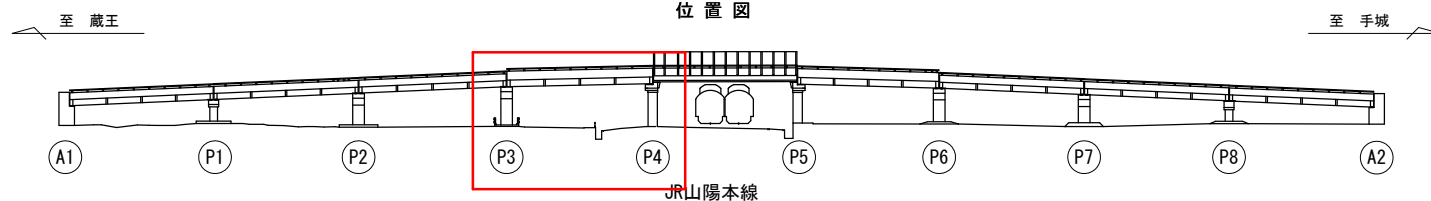
既設排水ます流末処理図



側面図



位置図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面にない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないよう注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。(舗装厚は現地調査結果による)
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は熔融亜鉛メッキ (HDZ35) と同等品以上とする。
また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流束は、既設排水ます位置とする。
舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横構などの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削引する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7ー1）		
図面名	東部陸橋 橋面工修繕図（その4）		
作成年月日	令和6年3月		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福 山 市		

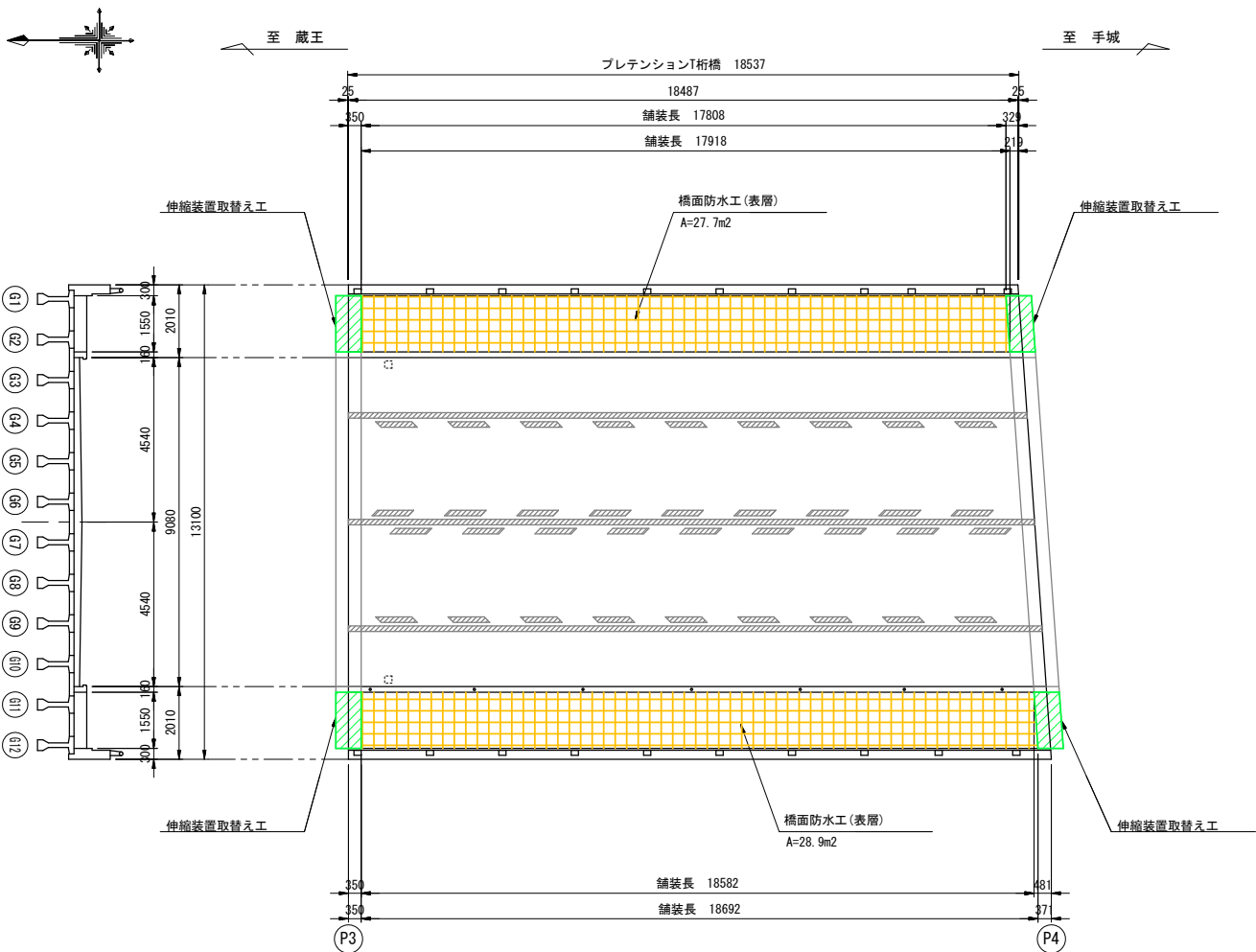


東部陸橋 橋面工補修図（その5）

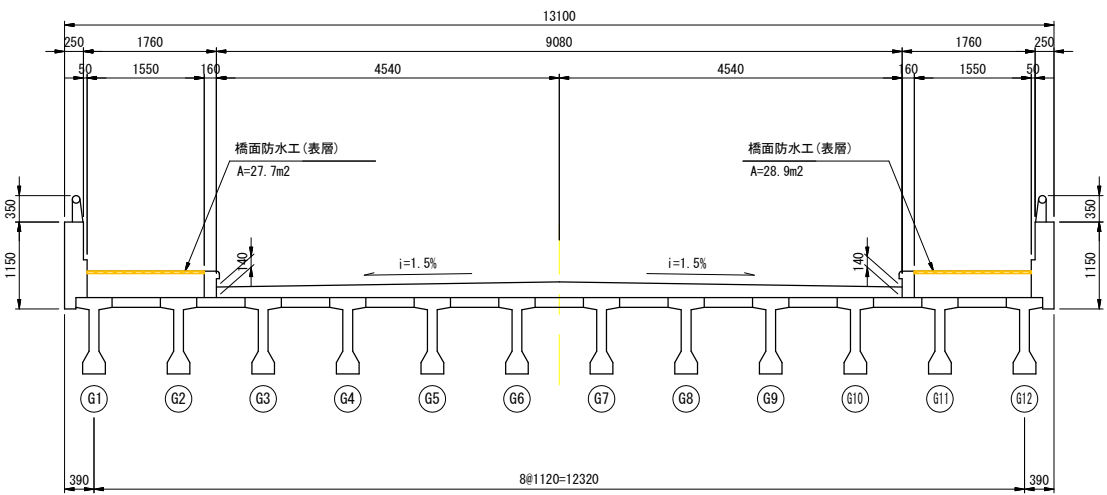
S=1:100

P3-P4間(歩道部)

平面図 S=1:100



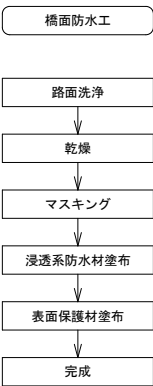
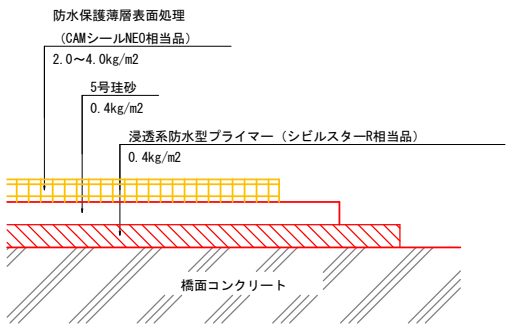
断面図 S=1:50



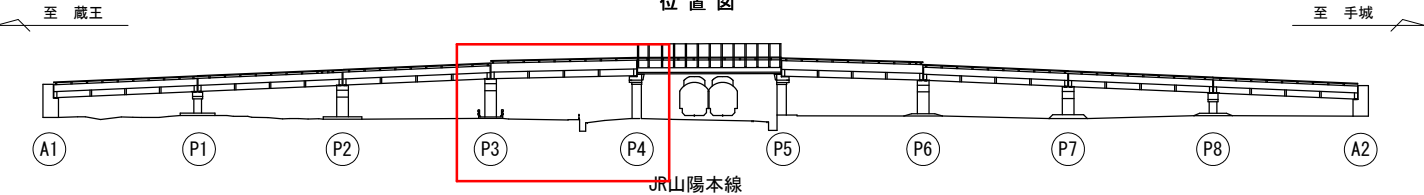
橋面防水工詳細図(参考図)

(CAMシールNEOプラス相当品)

舗装構成図



位置図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。

設計：株式会社 長大テック

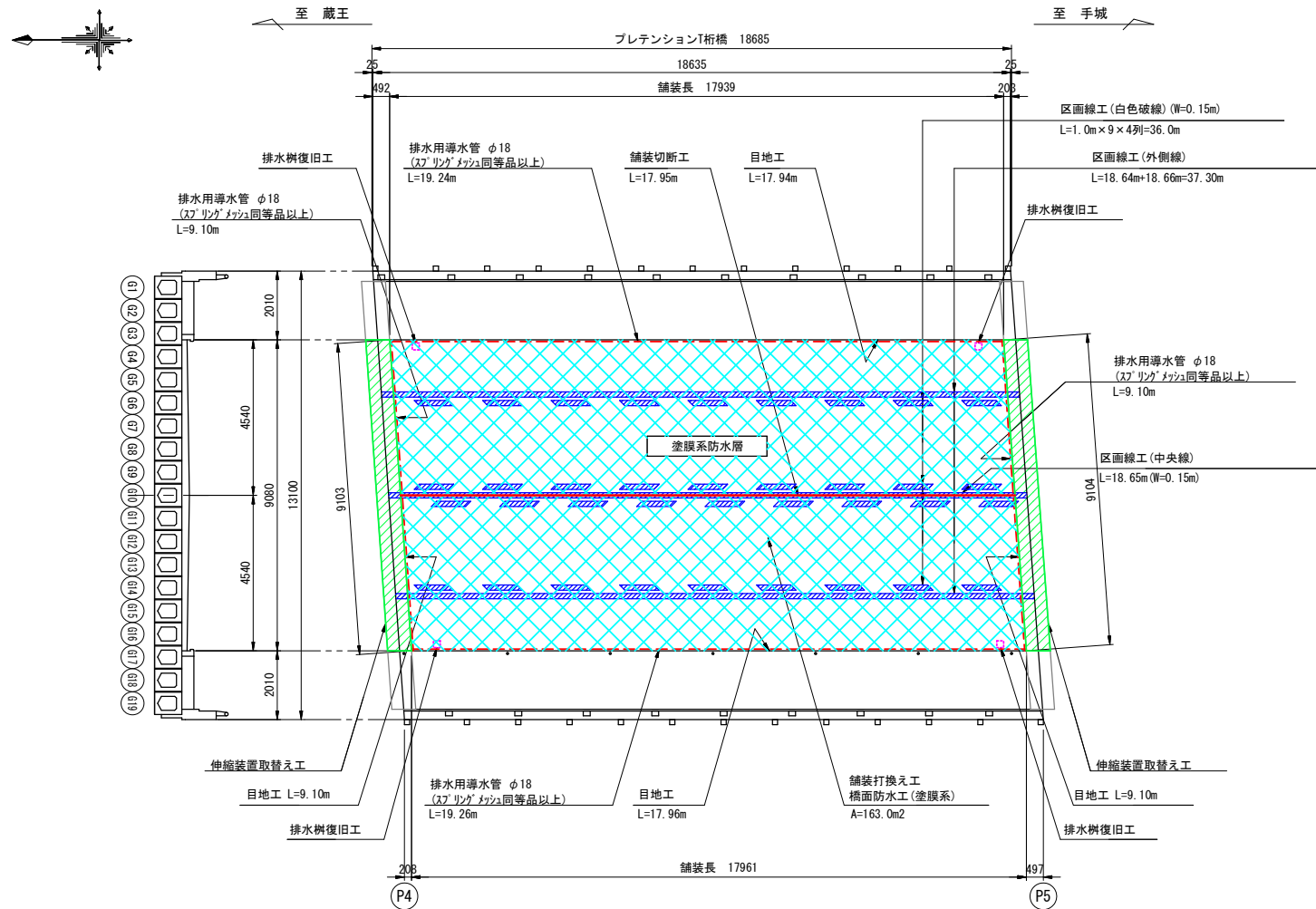
工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その5）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



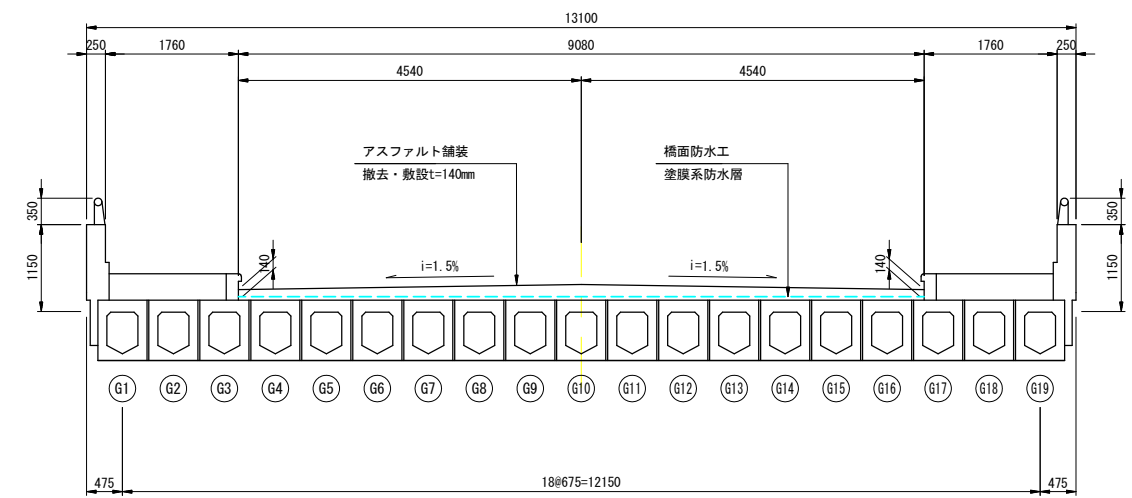
S=1 : 100

P4-P5間(車道部)

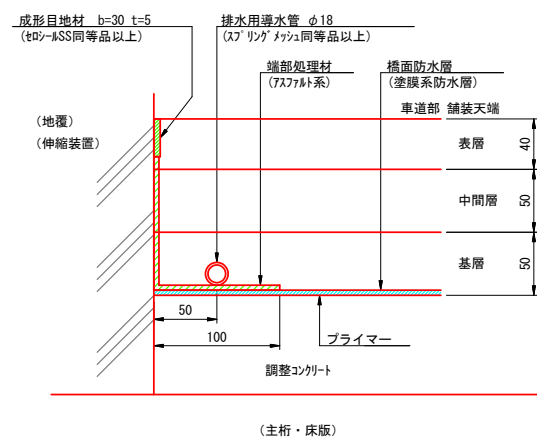
平面图 S=1:100



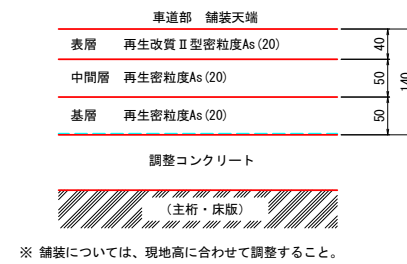
断面図 S=1:50



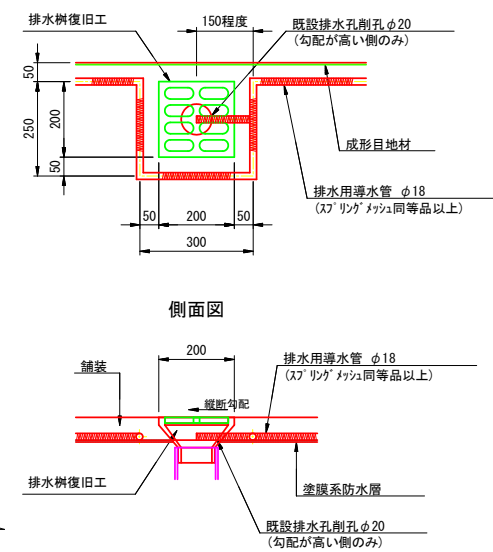
端部処理詳細図 S=1:3



車道部舗装構成図 S=1:5

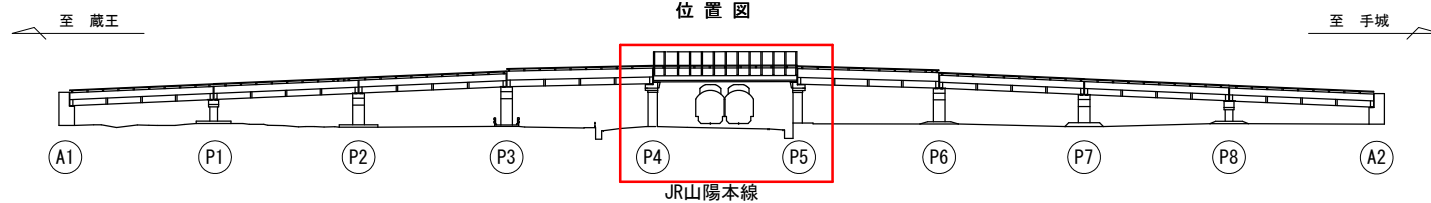


既設排水ます流末処理図 S=1:10



- ## 注記
- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督官と協議の上、最終数量を決定すること。
 - 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督官の指示によること。
 - 3) 図面がない損傷は、監督官の報告・指示によること。
 - 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
 - 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
 - 6) 排水用導水管φ180の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等級品以上とする。
また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
 - 7) 縦断排水管の流来は、既設排水ます位置とする。
舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋、横縁棒などの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
 - 8) 区画縁は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

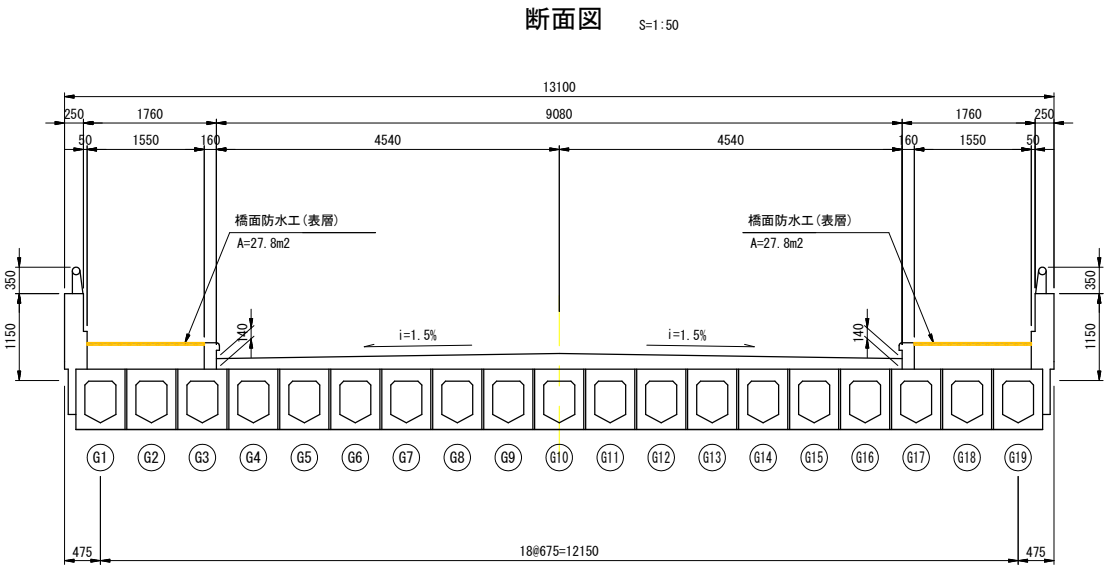
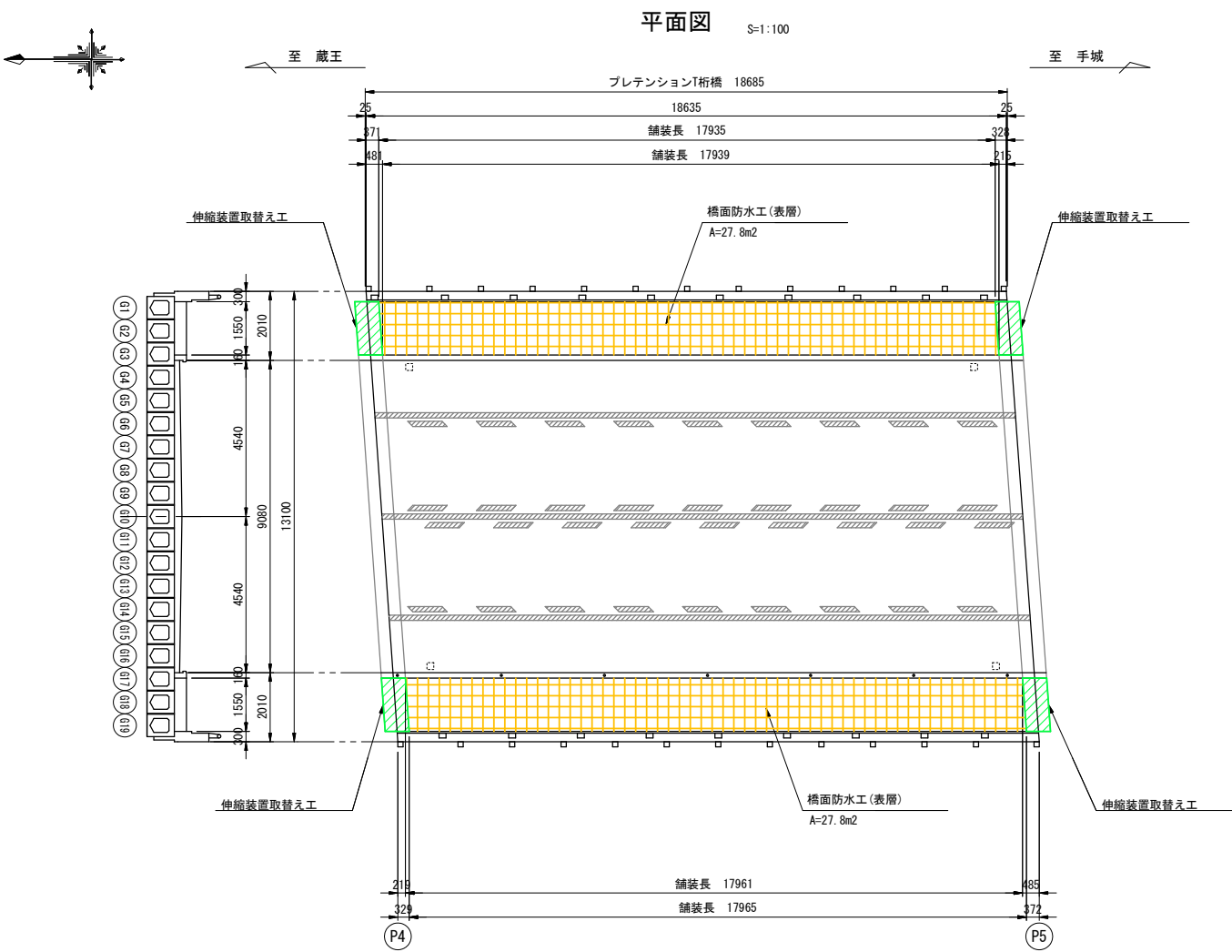
工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工修繕図（その6）		
作成年月日	令和6年3月		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2ヶ町 地内		
事業者名	福 山 市		



東部陸橋 橋面工補修図（その7）

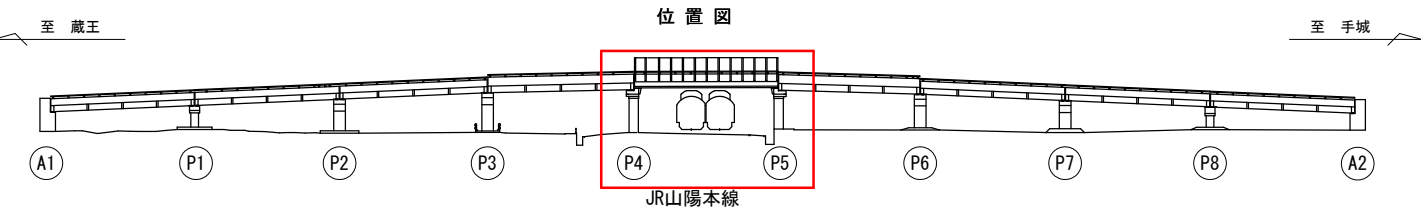
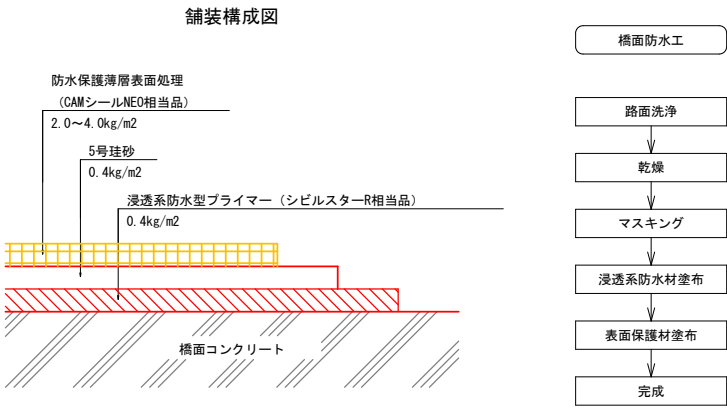
S=1:100

P4-P5間(歩道部)



橋面防水工詳細図(参考図)

(CAMシールNEOプラス相当品)



- 注記
- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
 - 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
 - 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。

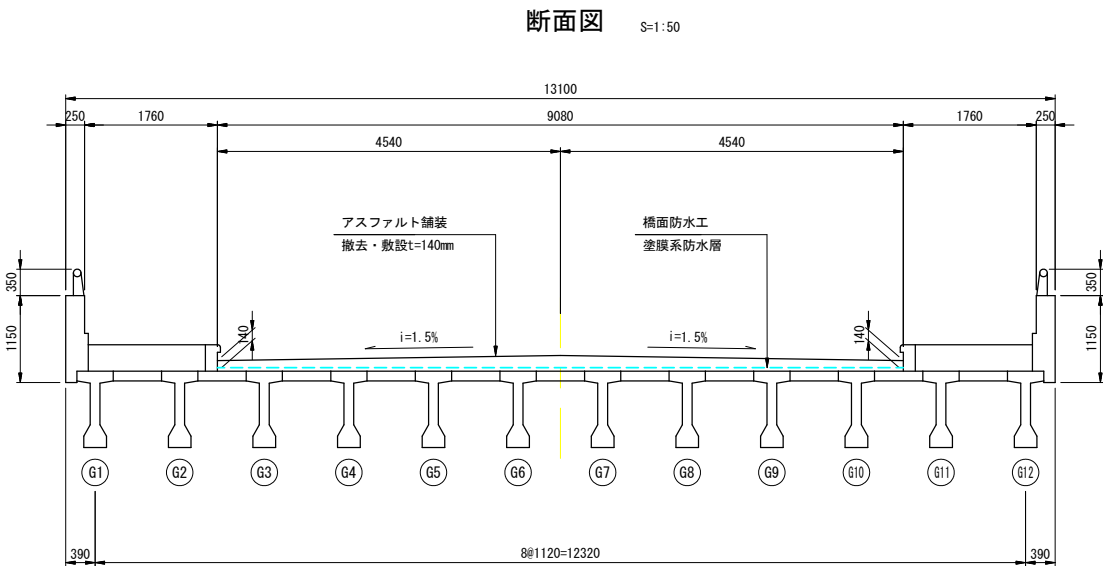
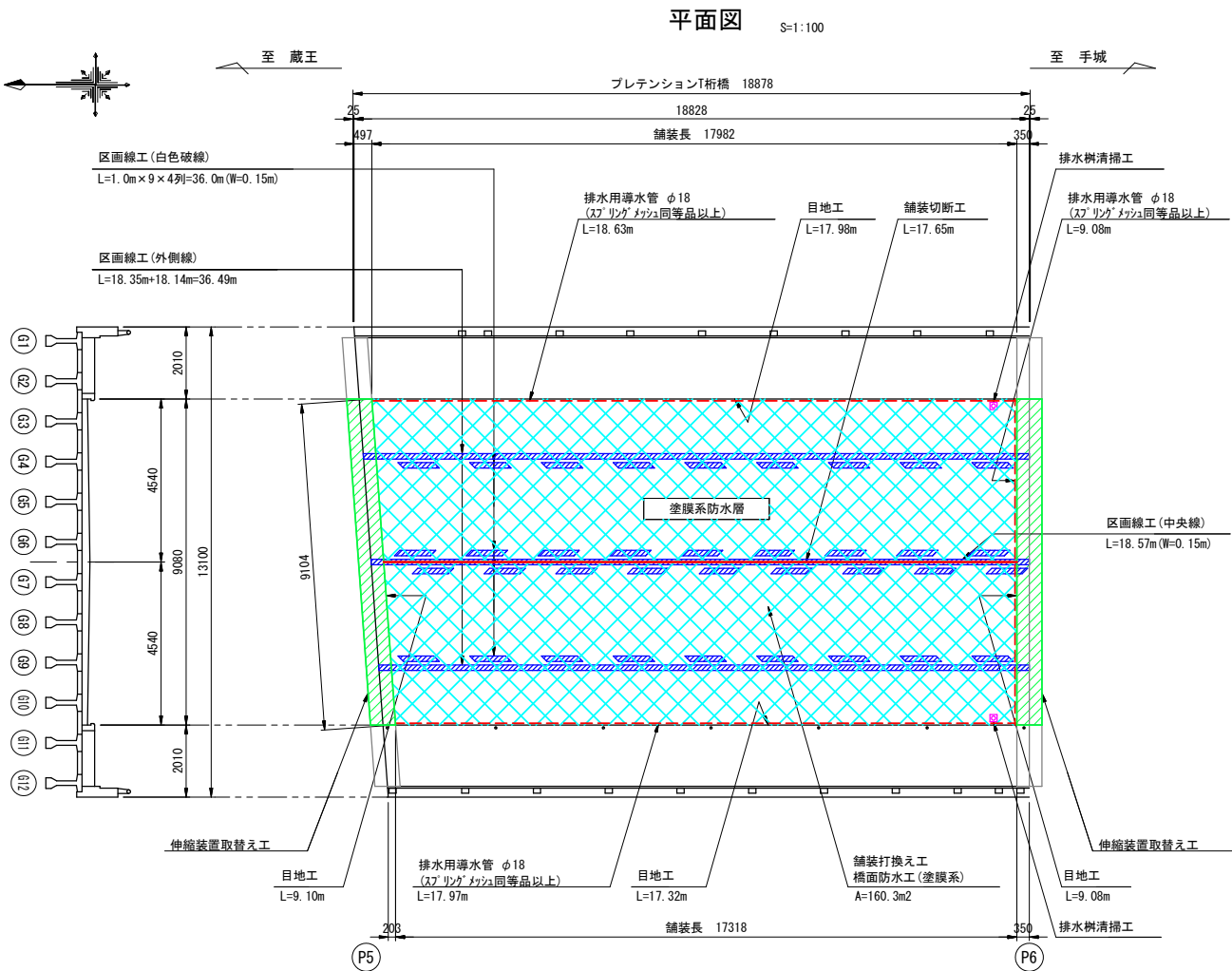


設計：株式会社 長大テック			
工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7ー1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その7）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		

東部陸橋 橋面工補修図（その8）

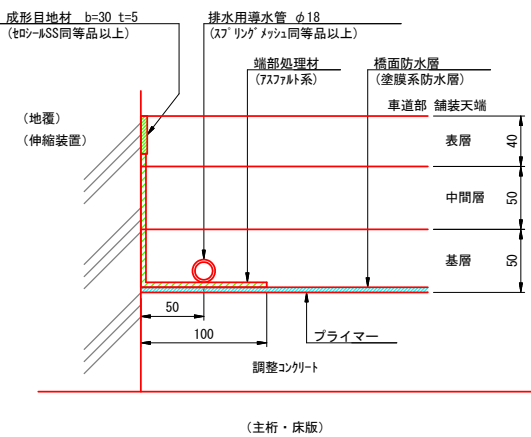
S=1:100

P5-P6間(車道部)



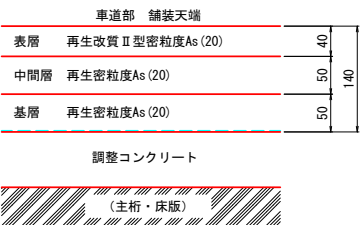
端部処理詳細図

S=1:3



車道部舗装構成図

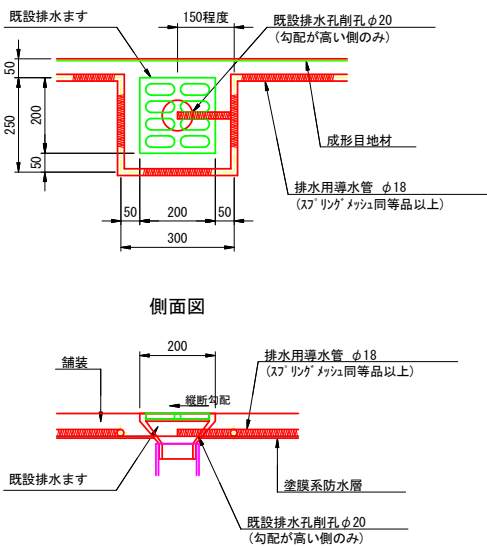
S=1:5



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

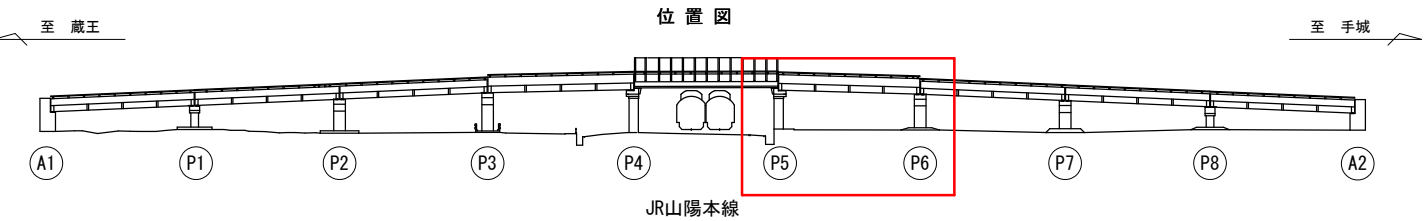
既設排水ます流末処理図

S=1:10



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7ー1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その8）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		

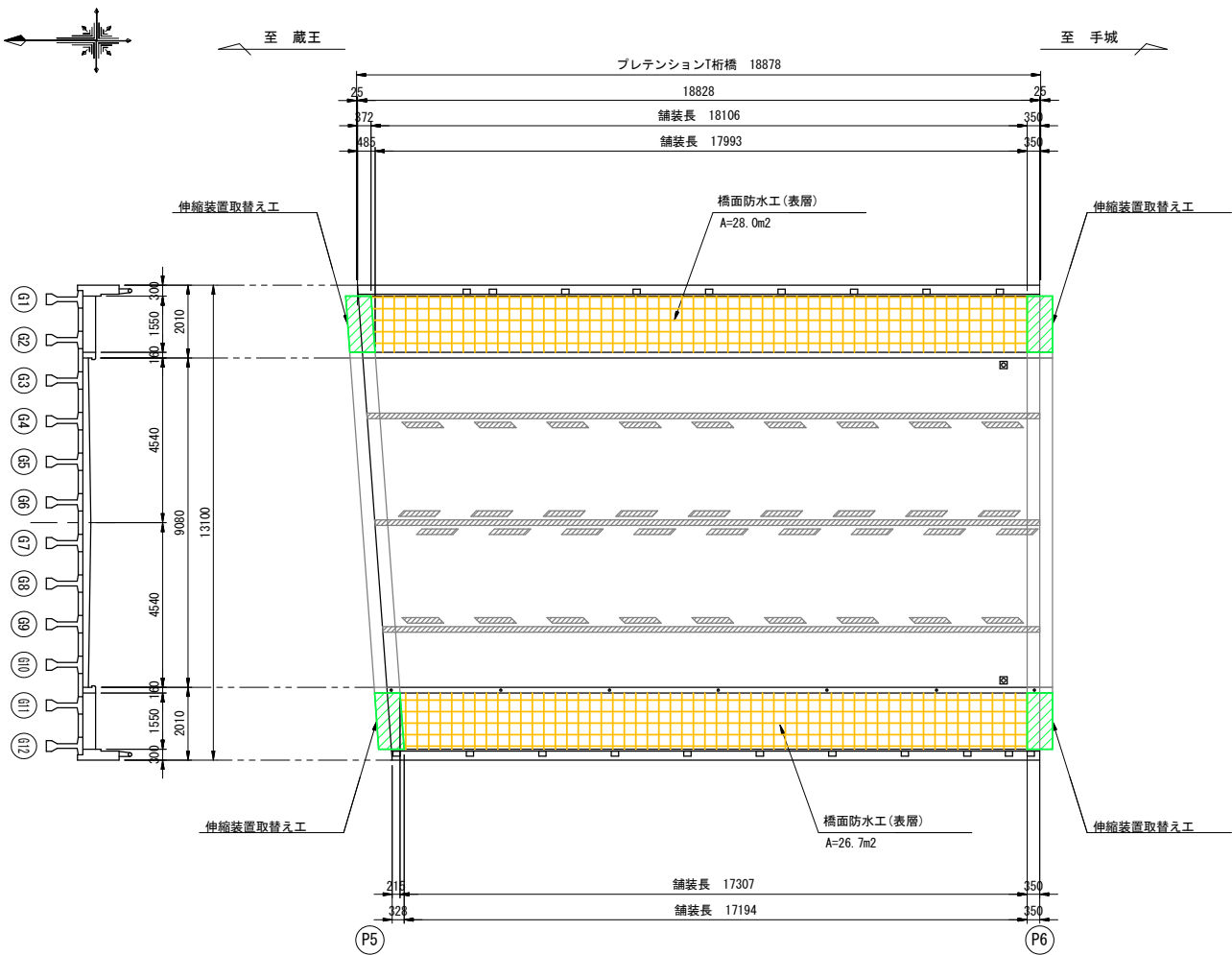


東部陸橋 橋面工補修図（その9）

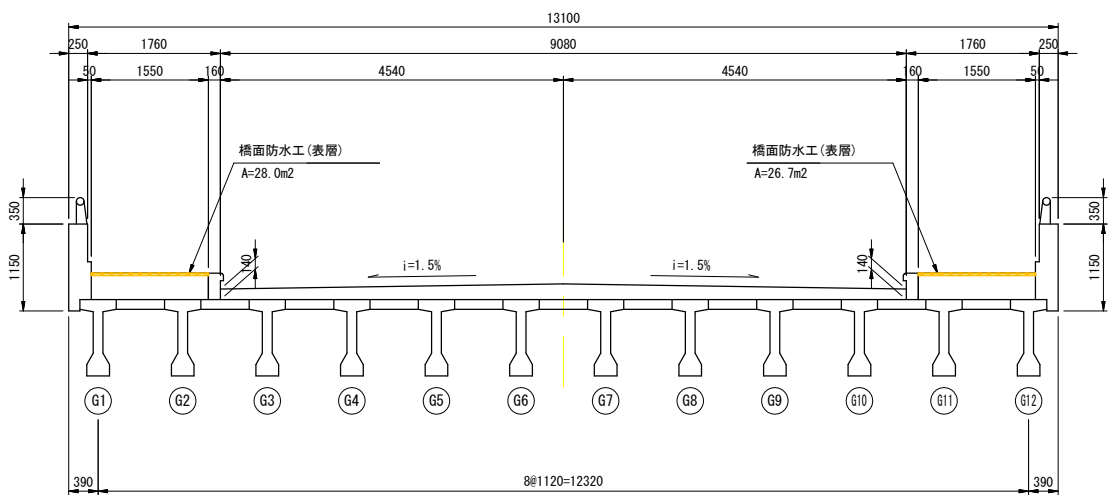
S=1:100

P5-P6間(歩道部)

平面図 S=1:100



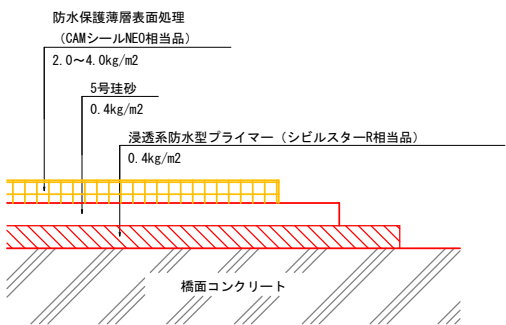
断面図 S=1:50



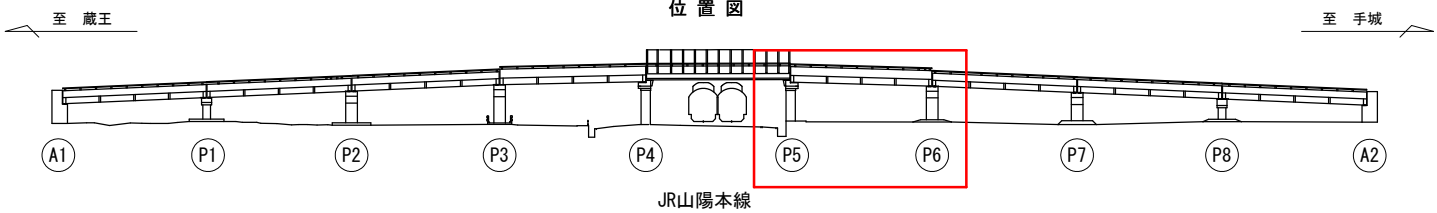
橋面防水工詳細図(参考図)

(CAMシールNEOプラス相当品)

舗装構成図



位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その9）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



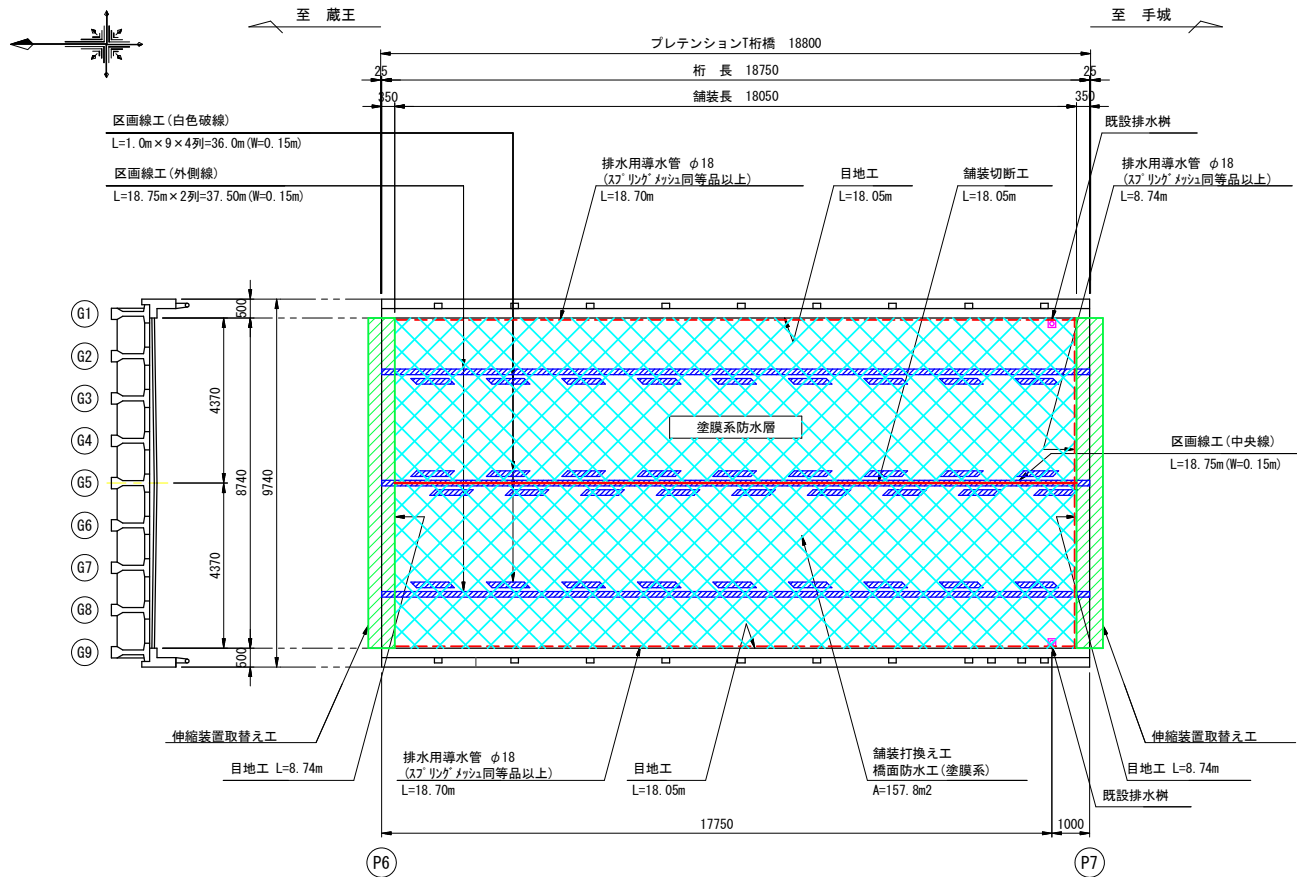
東部陸橋 橋面工補修図（その10）

S=1:100

P6-P7間

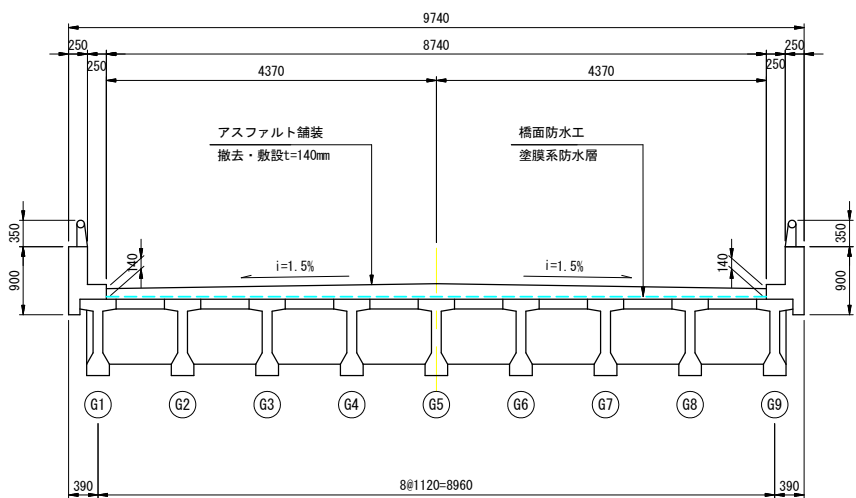
平面図

S=1:100



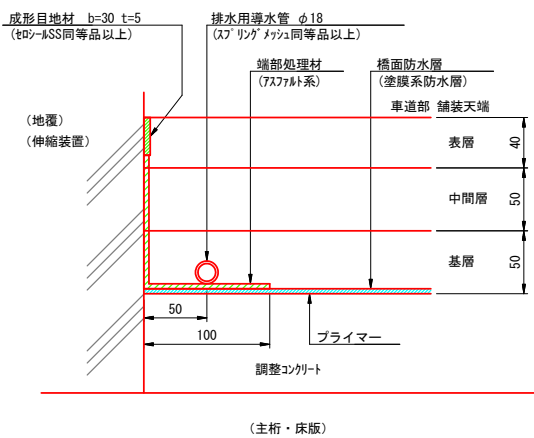
断面図

S=1:50



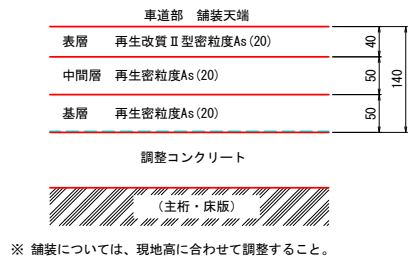
端部処理詳細図

S=1:3



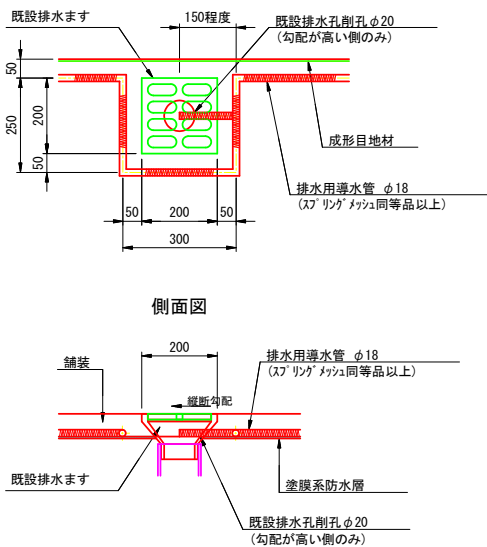
車道部舗装構成図

S=1:5



既設排水ます流末処理図

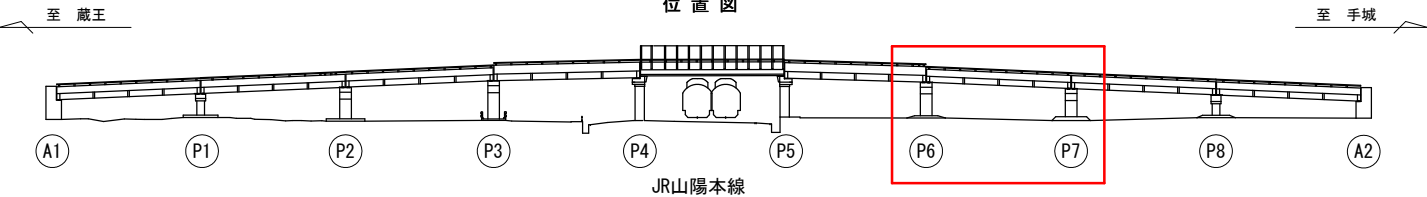
S=1:10



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等級以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めなどの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その10）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



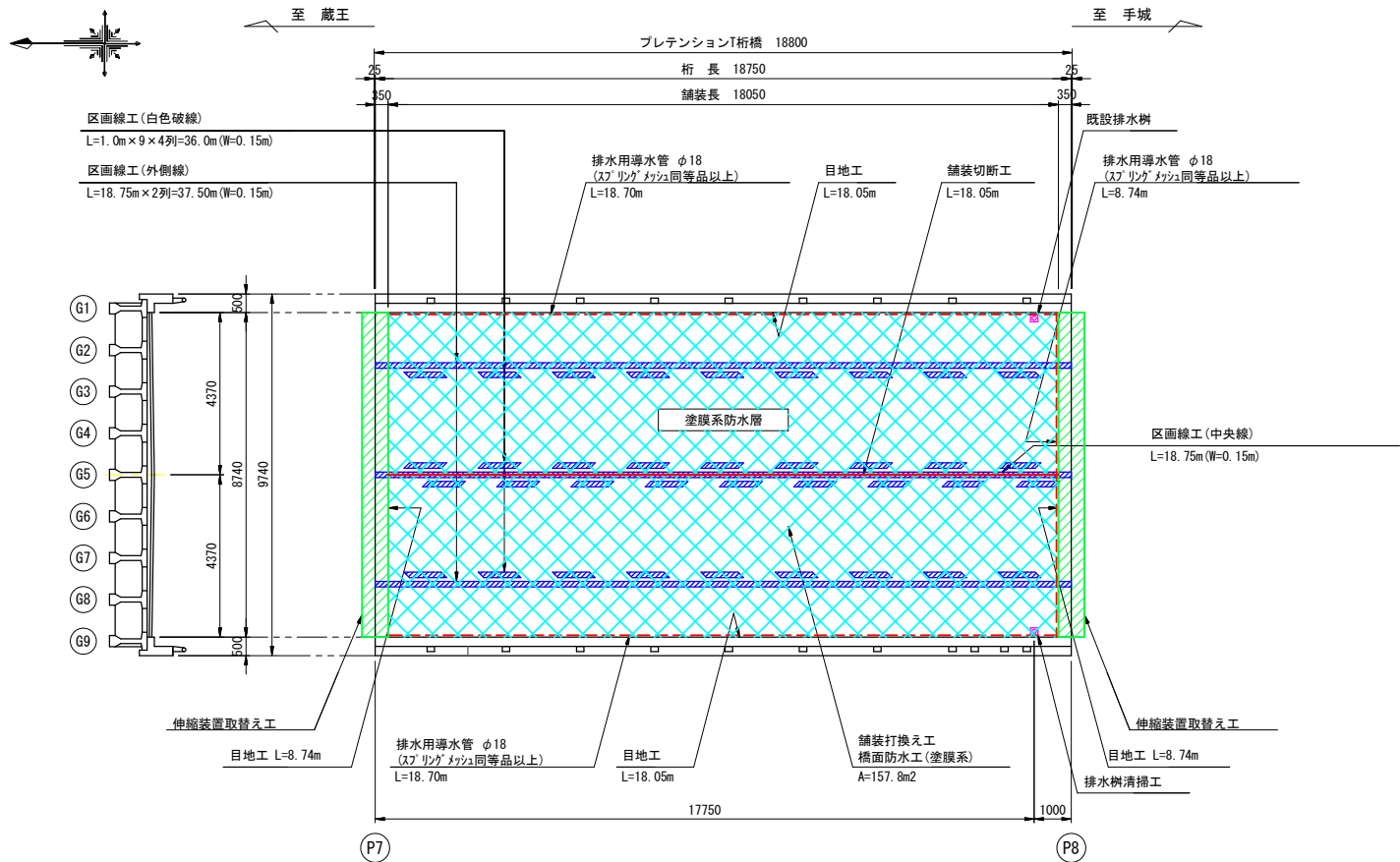
東部陸橋 橋面工補修図（その11）

S=1:100

P7-P8間

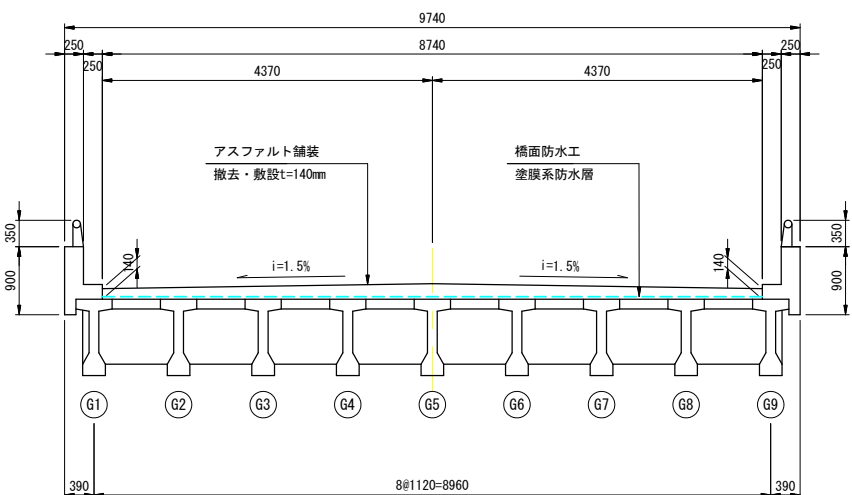
平面図

S=1:100



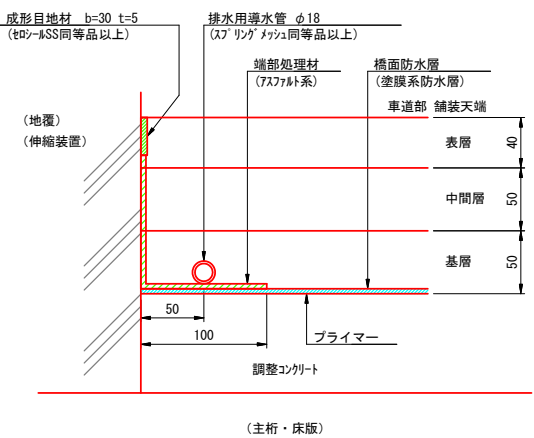
断面図

S=1:50



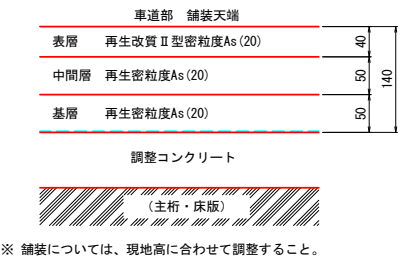
端部処理詳細図

S=1:3



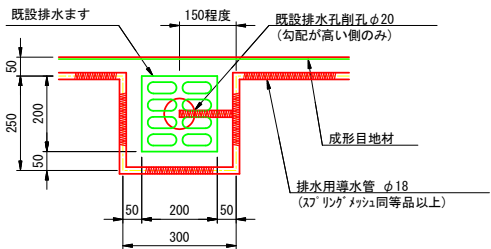
車道部舗装構成図

S=1:5

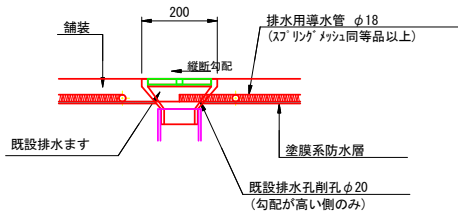


既設排水ます流末処理図

S=1:10



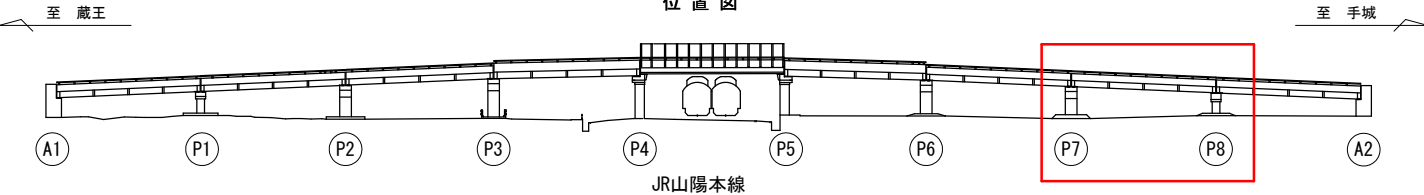
側面図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面にない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁鉄筋・横締めの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その11）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



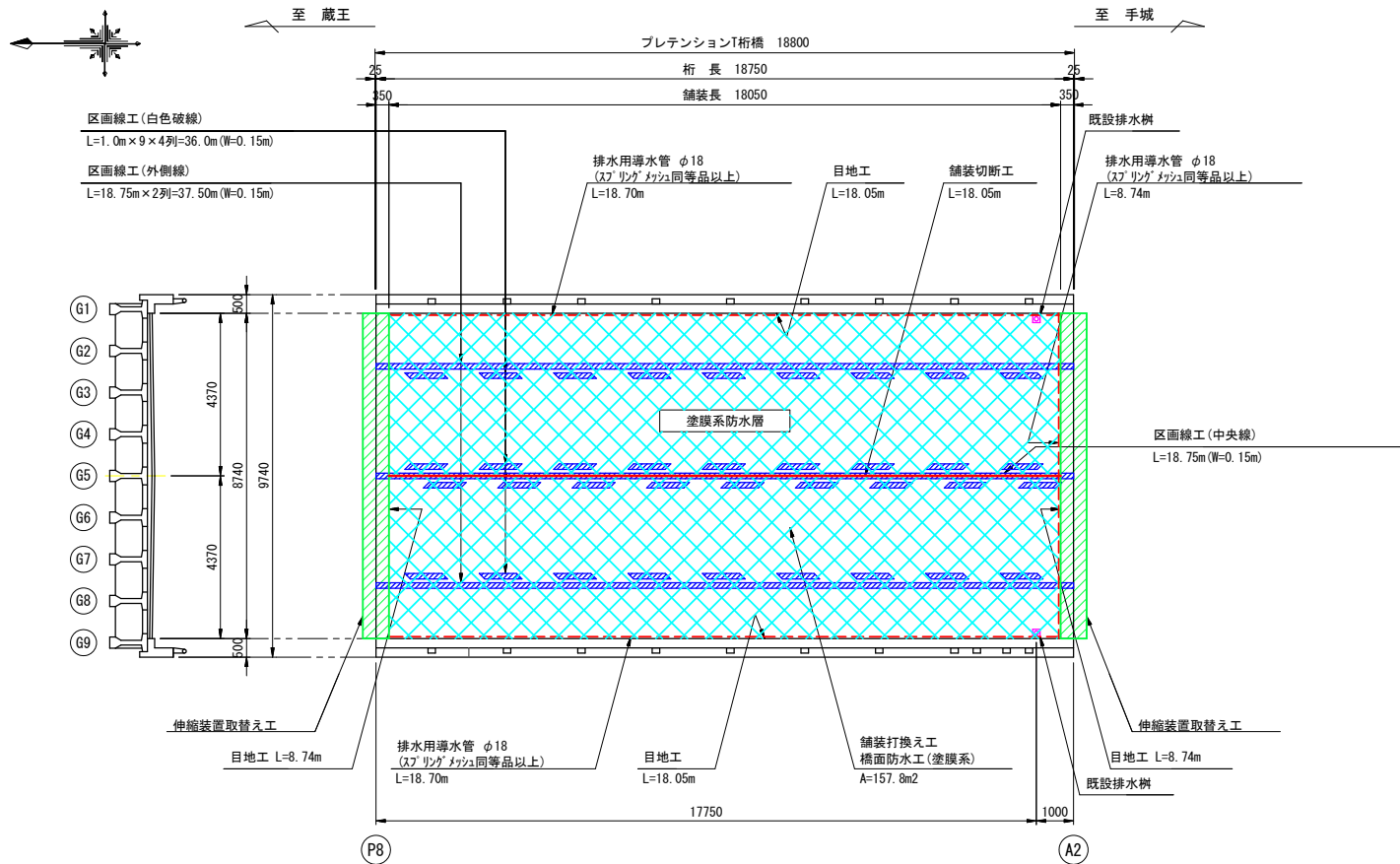
東部陸橋 橋面工補修図（その12）

S=1:100

P8-A2間

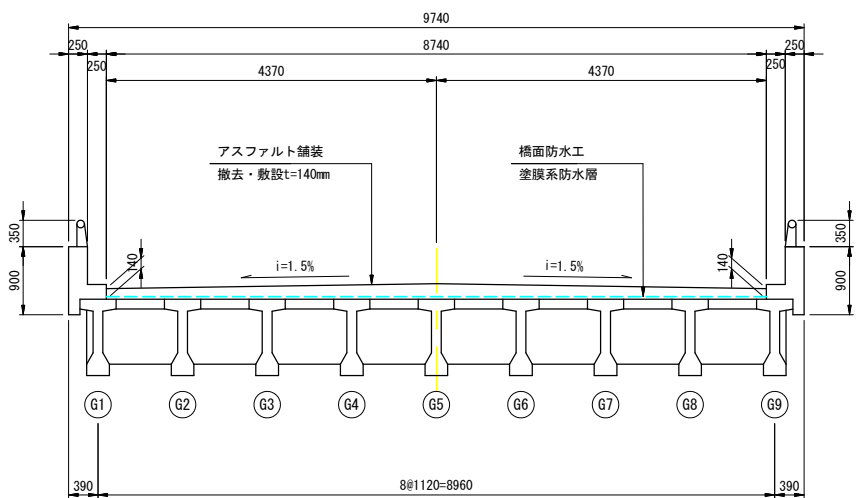
平面図

S=1:100



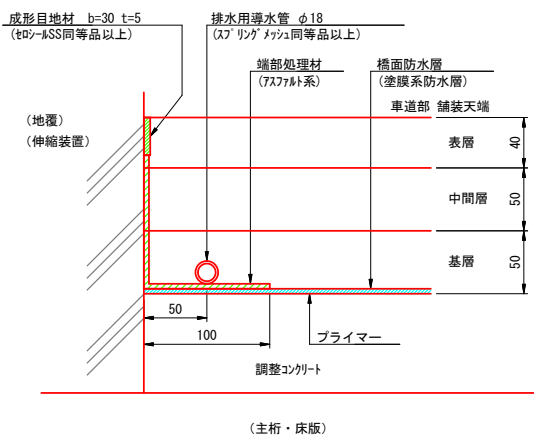
断面図

S=1:50



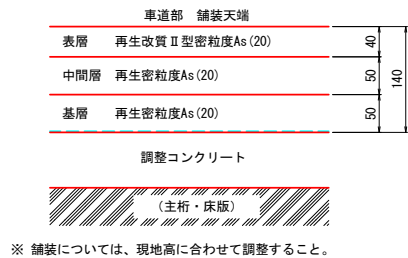
端部処理詳細図

S=1:3



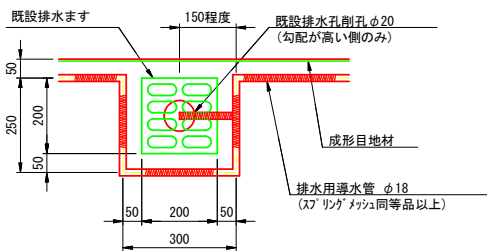
車道部舗装構成図

S=1:5

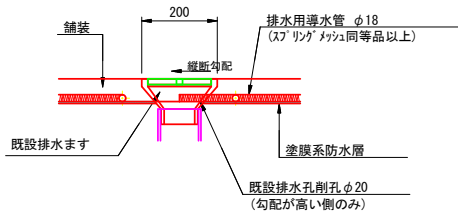


既設排水ます流末処理図

S=1:10



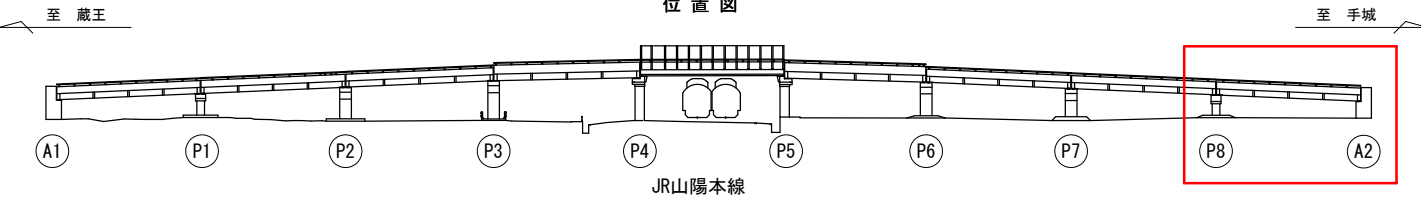
側面図



注記

- 1) 図中に示す諸寸法および施工数量は参考値である。形状は、現地計測によるが、施工時には再計測を行い、監督員と協議の上、最終数量を決定すること。
- 2) 現地状況と著しく相違している場合は、監督員の指示によること。
- 3) 図面がない損傷は、監督員の報告・指示によること。
- 4) 舗装を撤去する際は、主桁・床版に損傷を与えないように注意して施工すること。
- 5) アスファルト舗装は、現状復旧とする。（舗装厚は現地調査結果による）
- 6) 排水用導水管φ18の表面処理は溶融亜鉛メッキ（HD235）と同等品以上とする。また、排水用導水管の重ね継手長は5cm以上とする。
- 7) 縦断排水管の流末は、既設排水ます位置とする。舗装切削後に排水ます位置や形状、主桁筋筋・横締めなどの鋼材位置を確認したうえで、既設排水樹は側面に削孔する。
- 8) 区画線は現状復旧とする。

位置図



設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7-1）		
図面名	東部陸橋 橋面工補修図（その12）		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		

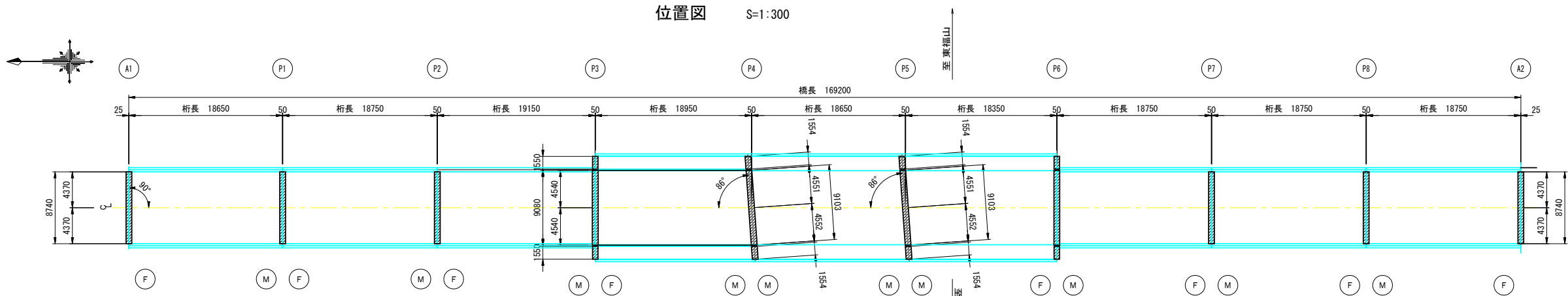


東部陸橋 伸縮装置補修図(その1)(参考図)

S=1:30

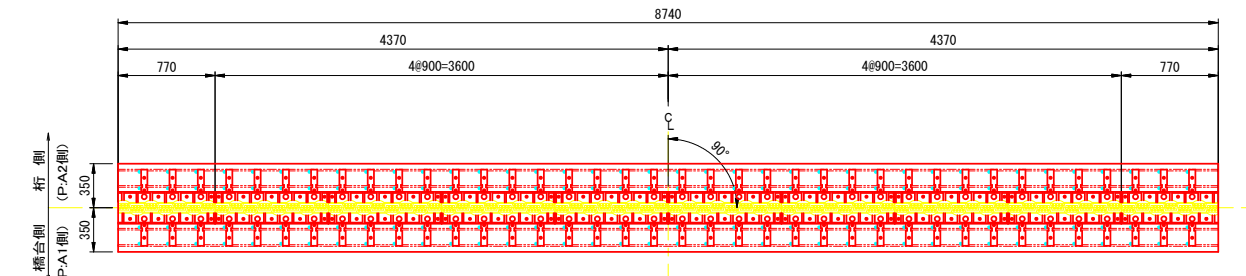
A1, A2, P1~P8(車道部)

位置図 S=1:300

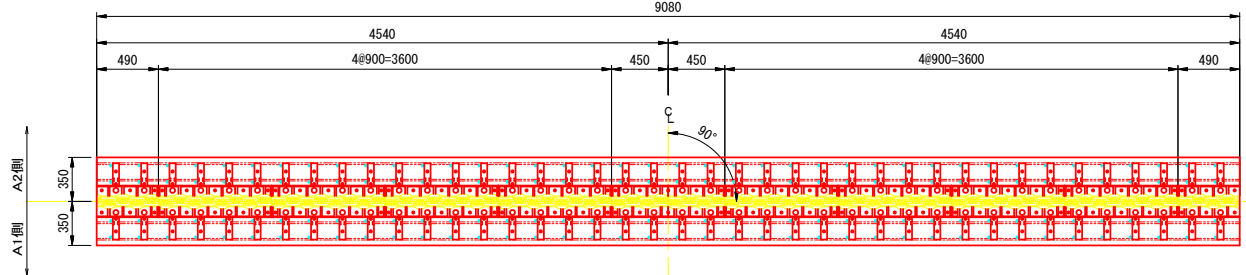


配置図 S=1:30

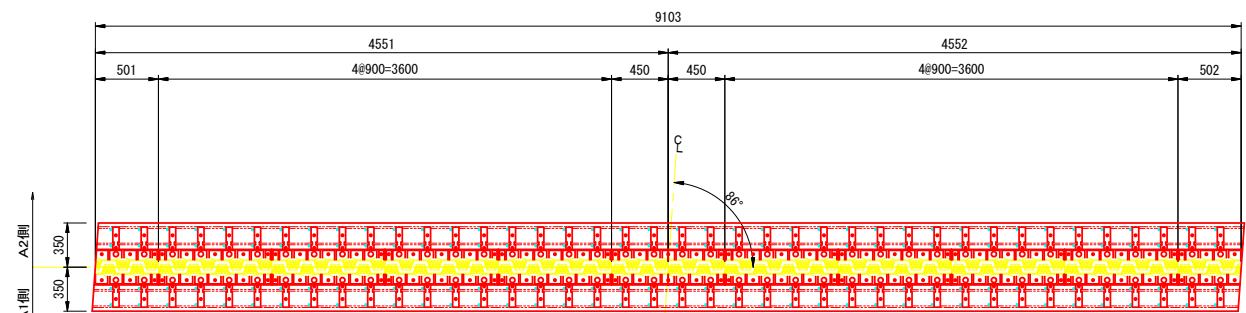
A1, A2, P1, P2, P7, P8



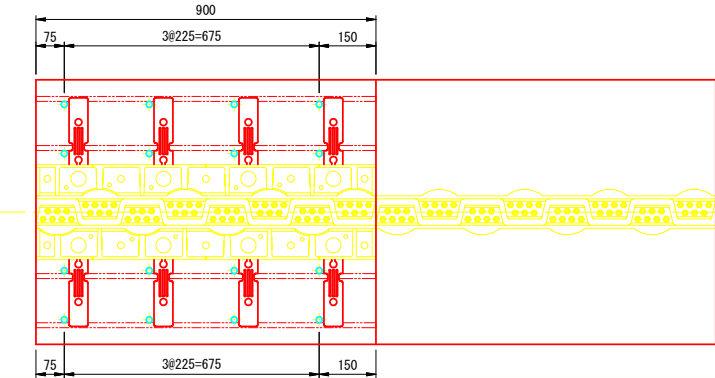
P3, P6



P4, P5

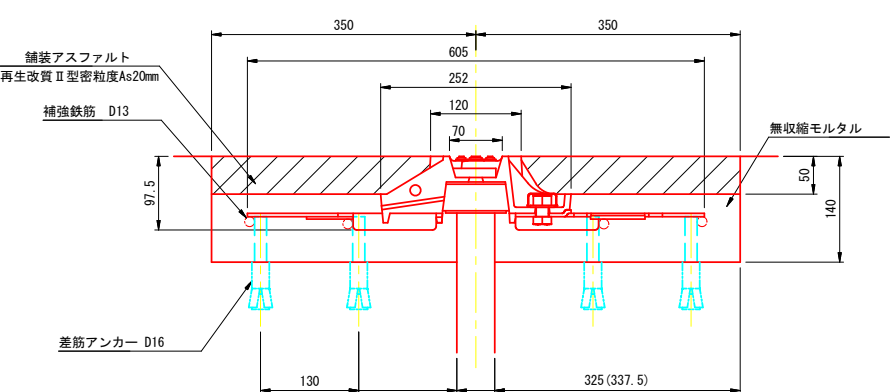


A1, A2, P1, P2, P3, P6, P7, P8

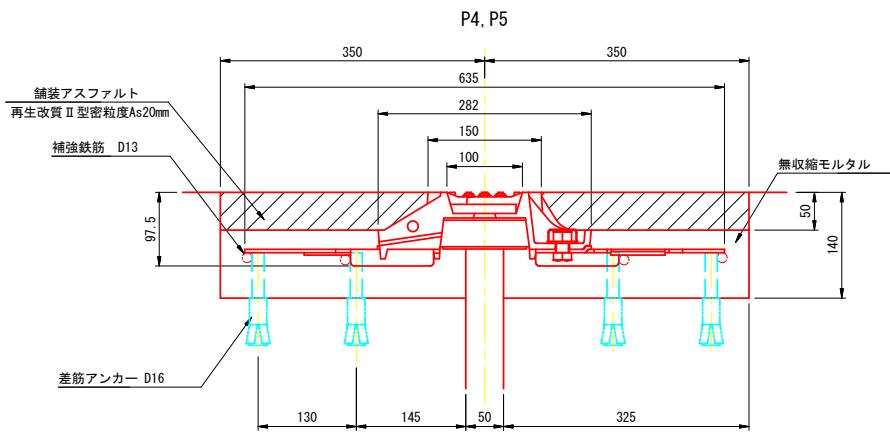


標準取付断面図 S=1:5

A1, A2, P1, P2, P3, P6, P7, P8

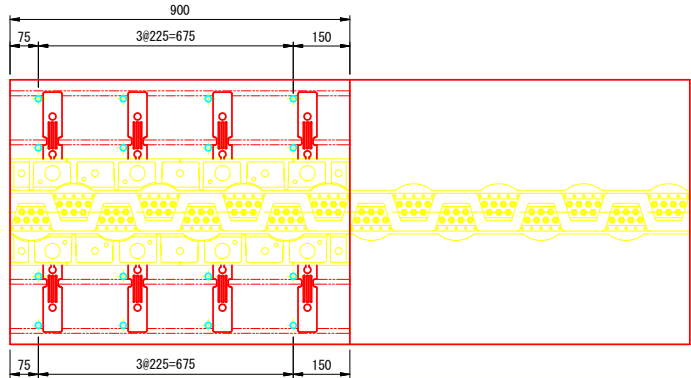


※()内寸法値は、A1, A2側を示す



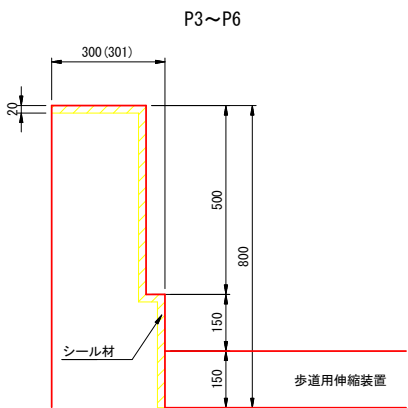
標準取付平面図 S=1:10

P4, P5



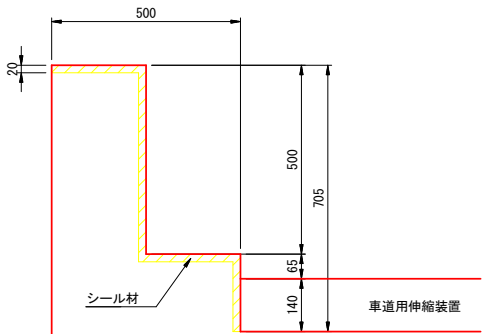
地覆部詳細図 S=1:10

P3~P6



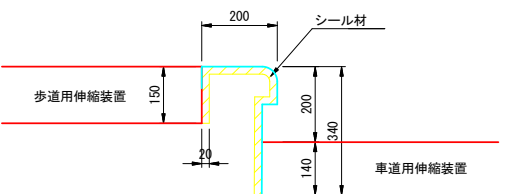
※()内寸法値は、P4, P5側を示す

A1, A2, P1, P2, P7, P8



縁石部詳細図 S=1:10

P4, P5



注記

- 1) 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- 2) 車道用製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- 3) 車道用製品は水密性向上のため荷重指示プレート及び連結バックギンを有する製品とする。
- 4) 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- 5) 車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。
- 6) 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。
- 7) P4, P5部の可動、固定は不明なため、安全側の両側可動として選定している。

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事(東部陸橋・7-1)		
図面名	東部陸橋 伸縮装置補修図(その1)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



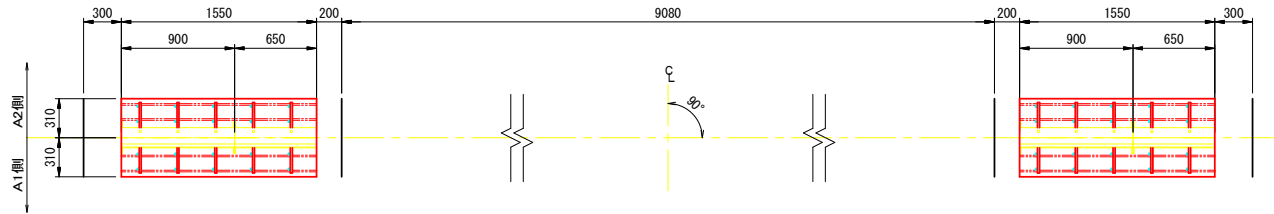
東部陸橋 伸縮装置補修図(その2)(参考図)

S=1:30

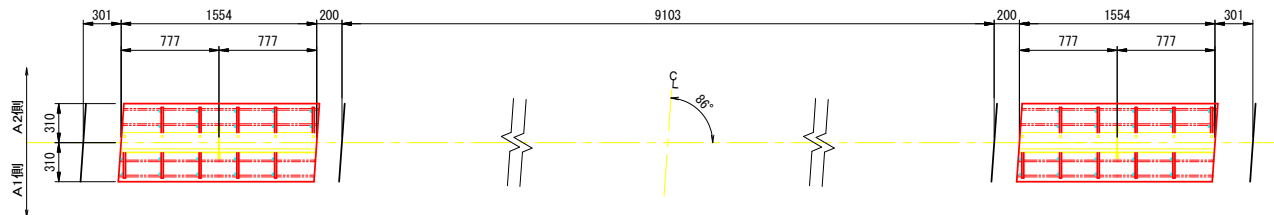
P3~P6(歩道部)

配置図 S=1:30

P3, P6



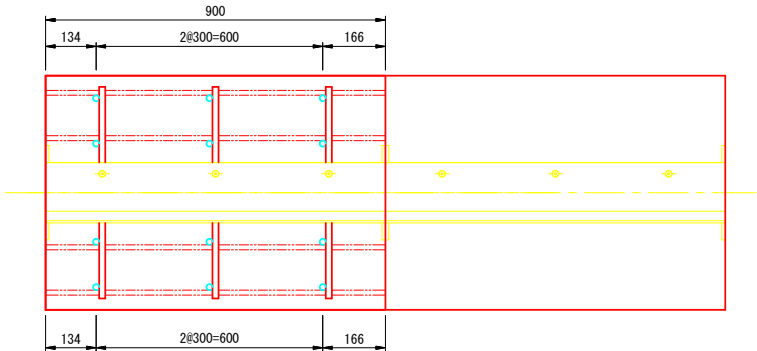
P4, P5



標準取付平面図

S=1:10

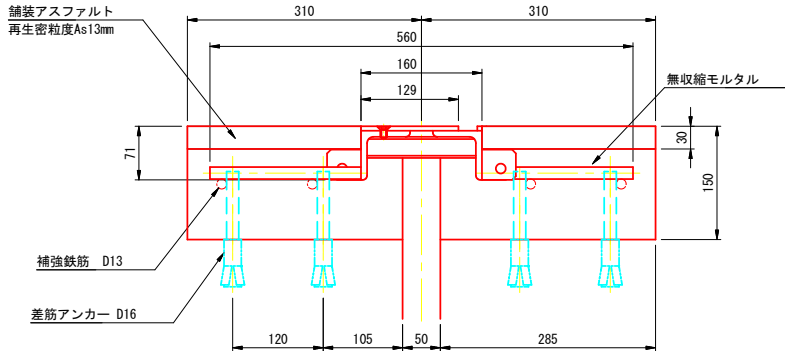
P3~P6



標準取付断面図

S=1:5

P3~P6



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	P1	P2	P3		P4		P5		P6		P7	P8	合計	備考
			車道用	車道用	車道用	車道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	車道用		
伸縮装置	HDJ-CV-R20 相当品	m	8.740	8.740	8.740	8.740	9.080	—	—	—	—	—	9.080	—	8.740	8.740	70.600	鋳鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
	HDJ-CV-R40 相当品	〃	—	—	—	—	—	—	9.103	—	9.103	—	—	—	—	—	18.206	
	HSJ-SW-R40 相当品	〃	—	—	—	—	—	3.100	—	3.108	—	3.108	—	3.100	—	—	12.416	
補強鉄筋	4-D13×8.74	kg	34.79	34.79	34.79	34.79	—	—	—	—	—	—	—	—	34.79	34.79	208.74	0.995kg/m
	4-D13×9.08	〃	—	—	—	—	36.14	—	—	—	—	—	36.14	—	—	—	72.28	
	4-D13×9.11	〃	—	—	—	—	—	—	36.26	—	36.26	—	—	—	—	—	72.52	
	8-D13×1.55	〃	—	—	—	—	—	12.34	—	—	—	—	—	12.34	—	—	24.68	
	8-D13×1.56	〃	—	—	—	—	—	—	12.42	—	—	12.42	—	—	—	—	24.84	
	計	〃	34.79	34.79	34.79	34.79	36.14	12.34	36.26	12.42	36.26	12.42	36.14	12.34	34.79	34.79	403.06	
差筋アンカー	D16	本	152	152	152	152	160	40	160	40	160	40	160	40	152	152	1712	
無収縮モルタル	σok=24N/mm2以上	m3	0.533	0.533	0.516	0.516	0.536	0.211	0.537	0.211	0.537	0.211	0.536	0.211	0.516	0.516	6.120	
アスファルト		〃	0.271	0.271	0.271	0.271	0.281	0.043	0.264	0.044	0.264	0.044	0.281	0.043	0.271	0.271	2.890	

型式	規格	単位	A1	A2	P1	P2	P3		P4		P5		P6		P7	P8	合計	備考
			車道用	車道用	車道用	車道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	車道用		
HDJ-CV-R20 相当品	定尺(L=900)	本	8	8	8	8	8	—	—	—	—	—	8	—	8	8	64	鋳鉄製・荷重支持型
	定尺(L=450)	〃	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
	端部	〃	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	2	—	2	2	16	
HDJ-CV-R40 相当品	定尺(L=900)	〃	—	—	—	—	—	—	8	—	8	—	—	—	—	—	16	
	定尺(L=450)	〃	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	4	
	端部	〃	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	4	
HSJ-SW-R40 相当品	定尺(L=900)	〃	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	—	4	鋼製・歩道用
	端部	〃	—	—	—	—	—	2	—	4	—	4	—	2	—	—	12	

注記

- 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- 車道用製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- 車道用製品は水密性向上のため荷重指示プレート及び連結バックシンを有する製品とする。
- 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- 車道用製品はLCC低減のため部分取替や簡易補修が可能な製品とする。
- 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。
- P4、P5部の可動、固定は不明なため、安全側の両側可動として選定している。

設計：株式会社 長大テック

工事名	橋梁修繕工事（東部陸橋・7ー1）		
図面名	東部陸橋 伸縮装置補修図(その2)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	図示	図面番号	16 / 16
工事箇所	福山市 東深津町二丁目外2か町 地内		
事業者名	福山市		



参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0001

路面切削工		V3000	単第0 -0001 表		
全面切削12cmを超え18cm以下		段差すりつけの撤去作業有り	【夜間工事】		800
					m2
					当り
名称・規格など		数量	単位	単価	金額
備考					
路面切削機					
ホイル式・廃材積込装置付・排3		8.0	時間		
切削幅2.0m×深さ23cm					
路面清掃車					
ブラシ・四輪式（走）		8.0	時間		
ホッパ容量1.5m3					
普通作業員					
設計労務単価の補正割増し(1.5)		4.0	人		
土木一般世話役					
設計労務単価の補正割増し(1.5)		1.0	人		
運転手(特殊)					
設計労務単価の補正割増し(1.5)		1.0	人		
特殊作業員					
設計労務単価の補正割増し(1.5)		2.0	人		
軽油					
パトロール給油,2～4KL積載車給油		213.0	L		
諸雑費					
		67	%		#01
*** 合計 ***		800	m2		
*** 単位当たり ***		1	m2		

施工単価表

頁0 -0002

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0002 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

【夜間工事】

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0003

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0002 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

【夜間工事】

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0004

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

【夜間工事】

1

m2 当り

機械構成比: 1.67%

労務構成比: 11.68%

材料構成比: 86.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,412.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0005

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.67%

SPK24040239

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 11.68%

材料構成比: 86.65%

【夜間工事】

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0003 表

1

標準単価:

m2

当り

1,412.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	85.96%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00281
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=2 夜間割増有		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0006

中間層(車道・路肩部)

SPK24040240

単第0 -0004 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

【夜間工事】

1

m2 当り

機械構成比: 1.70%

労務構成比: 11.85%

材料構成比: 86.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,467.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.08%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	4.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.36%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0007

中間層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.70%

SPK24040240

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 11.85%

材料構成比: 86.45%

【夜間工事】

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0004 表

1

標準単価:

m2

当り

1,467.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	82.74%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	3.01%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.59%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=1 H=2 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 夜間割増有		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0008

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0005 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

【夜間工事】

1

m2 当り

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,750.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0009

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.43%
SPK24040241
1層当り平均仕上厚40mm
労務構成比: 9.93%
材料構成比: 88.64%
【夜間工事】
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0005 表
1
標準単価: 1,750.50000
m2 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生改質II型密粒度(20)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0196 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=19 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 密粒20 ポリマー改 - -(全ての費用)	DS3000以上 再生10%		B=40 E=1 H=2 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 夜間割増有		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0010

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

SS000255

單第0 -0006 表

【夜間工事】 【車道部】

m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

橋面防水工 浸透防水型表面処理工		V1000 CAMシールNEOプラス相当品	【昼間工事】 【歩道部】 平面A=167m2			単第0 -0007 表 1 橋 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
土木一般世話役	2.38	人				
特殊作業員	4.77	人				
普通作業員	7.15	人				
高性能浸透プライマー シビルスターR アクリル樹脂系 0.4L/m2	3.0	セット				
5号珪砂 0.4kg/m2	3.0	袋				
薄層表面処理材 CAKシールNEO 改良アスファルト乳剤	8.0	セット				
諸雑費	7	%			#01	
機械器具損料 ブロアー・コンプレッサー 攪拌機・発電機など	2.38	日				
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	2.38	日				
*** 単位当たり ***	1	橋				

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0008 表

名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考
【夜間工事】 夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし		1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白		598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm		26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用		26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		42.000	L			
諸雑費		1	式			
*** 合計 ***		1,000	m			
*** 単位当たり ***		1	m			
A=2 C=1 E=1	夜間施工 実線_15cm アスファルトに設置の場合			B=1 D=1 F=1	白色 塗布厚t=1.5mm 時間的制約なし	
G=1 I=1	- -			H=1 J=1	- -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0013

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0008 表

【夜間工事】

m

当日

実線 15cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0009 表

名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考
【夜間工事】 夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし		1,000.000	m			
路面標示用塗料(JISK5665_3種1号) 溶融,鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15～18%_黄		598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm		26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用		26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		42.000	L			
諸雑費		1	式			
*** 合計 ***		1,000	m			
*** 単位当たり ***		1	m			
A=2 C=1 E=1	夜間施工 実線_15cm アスファルトに設置の場合			B=2 D=1 F=1	黄色 塗布厚t=1.5mm 時間的制約なし	
G=1 I=1	- -			H=1 J=1	- -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0015

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0009 表

【夜間工事】

m

当日

実線 15cm

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字 15cm換算

SDT00001

単第0 -0010 表

【夜間工事】

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
夜間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 夜間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0017

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字 15cm換算

SDT00001

單第0 -0010 表

【夜間工事】

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

伸縮装置補修（車道部）

伸縮量20mm用

V2000

HDJ-CV-R20相当品

單第0 -0011 表

【夜間工事】【A1,P1,P2,P3,P6,P7,P8,A2】

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

伸縮継手装置設置工(補修)

SS000201

單第0 -0012 表

普通型 2車線相当

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

伸縮装置補修（車道部）

伸縮量40mm用

V2001

HDJ-CV-R40相当品

單第0 -0013 表

m

当り

【夜間工事】 【P4,P5】

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

伸縮装置補修（歩道部）

伸縮量40mm用

V2002

HSJ-SW-R40相当品

單第0 -0014 表

【昼間工事】 【P3,P4,P5,P6】

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

伸縮継手装置設置工(補修)

SS000201

單第0 -0015 表

普通型 2車線相当

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

排水桷
排水桷B 20kg/個未満
機械構成比: 0.00%

SPK24040294
橋梁用排水桷(各種)
労務構成比: 31.10%

【昼間工事】
市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0016 表
1
標準単価:

箇所 当り
25,259.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	20.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.29%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
橋梁用排水桷 200×200×120 水抜き加工含む	68.90%		橋梁用排水桷 綱桁用Aタイプ 首下265 FC250本体 13.6kg/個		F0000000005 TTPT00379
積算単価			積算単価		EP001
A=2 排水桷B 20kg/個未満 C=5 【F】橋梁用排水桷(箇所)			B=2 橋梁用排水桷(各種)		

施工単価表

頁0 -0024

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0017 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

【昼間工事】

1

孔 当り

機械構成比: 2.30% 労務構成比: 95.32% 材料構成比: 2.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0025

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

單第0 -0017 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

【昼間工事】

1

孔 当り

機械構成比: 2.30% 勞務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 645.14000

[illegible]

施工単価表

As殻運搬(路面切削)

SPK24040304

単第0 -0019 表

DID区間有り

運搬距離19.0km以下(16.5km超)

【夜間工事】

1

m3

当り

機械構成比: 41.76%

労務構成比: 44.84%

材料構成比: 13.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,848.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.76%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	44.84%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 DID区間有り -(全ての費用)			B=29 運搬距離19.0km以下(16.5km超)		

施工単価表

頁0 -0028

Co殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超) 【夜間工事】

単第0 -0020 表
1
標準単価: 3,369.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0029

Co殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超) 【昼間工事】

単第0 -0021 表
1
標準単価: 3,369.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0030

建設機械の貨物自動車等による運搬
路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)

S1000013

单第0 -0022 表

片道運搬距離 18.5km 往復運搬

1 回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

基本運賃料金

S1000015

單第0 -0023 表

片道運搬距離 18.5km

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

運搬される建設機械の運搬中の損料 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)

S1000015

單第0 -0024 表

式 当り

[illegible]

数量計算書

第1表 舗装打換え工

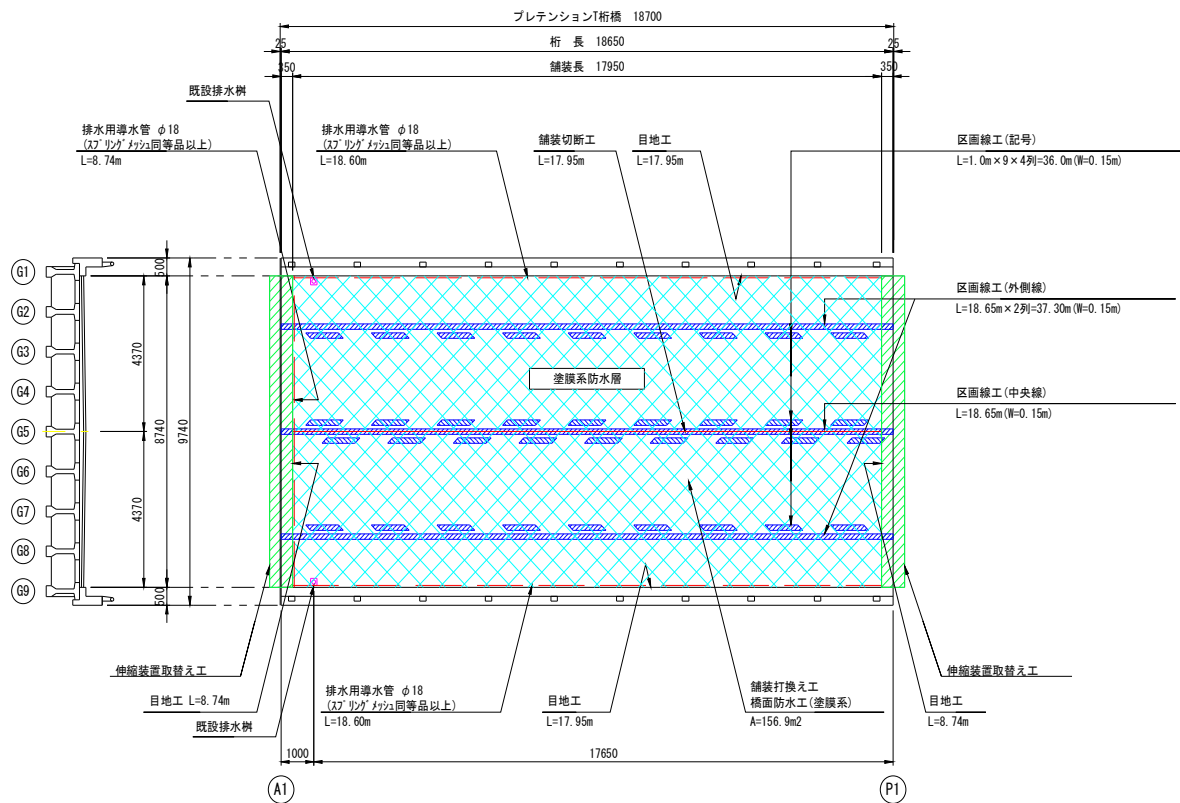
1. 集計

		舗装版切断	路面切削	殻運搬・処分		As舗装			区画線		
				運搬	処分	表層	中間層	基層	実線・白	実線・黄	記号
		m	m2	m3	t	m2	m2	m2	m	m	m
径間	A1-P1	18.0	156.9	22.0	51.7	156.9	156.9	156.9	37.3	18.7	36.0
	P1-P2	18.1	157.8	22.1	51.9	157.8	157.8	157.8	37.5	18.8	36.0
	P2-P3	18.5	161.3	22.6	53.1	161.3	161.3	161.3	38.3	19.2	36.0
	P3-P4	18.3	165.7	23.2	54.5	165.7	165.7	165.7	37.9	19.0	36.0
	P4-P5	18.0	163.0	22.8	53.6	163.0	163.0	163.0	37.3	18.7	36.0
	P5-P6	17.7	160.3	22.4	52.6	160.3	160.3	160.3	36.5	18.6	36.0
	P6-P7	18.1	157.8	22.1	51.9	157.8	157.8	157.8	37.5	18.8	36.0
	P7-P8	18.1	157.8	22.1	51.9	157.8	157.8	157.8	37.5	18.8	36.0
	P8-A2	18.1	157.8	22.1	51.9	157.8	157.8	157.8	37.5	18.8	36.0
合計		162.9	1438.4	201.4	473.1	1438.4	1438.4	1438.4	337.3	169.4	324.0

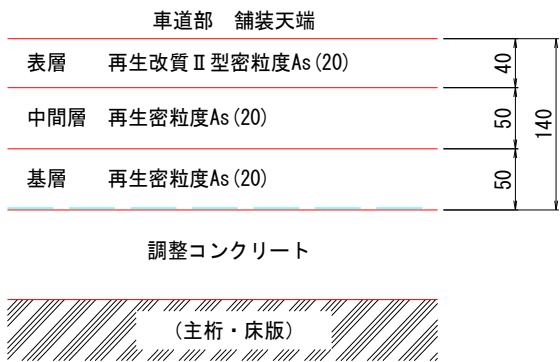
2. 径間毎数量

(1) A1-P1間

舗装打換え工詳細図 【車道部】
平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その1)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 17.95 = \underline{\underline{18.0 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その1)より

$$A = 8.740 \times 17.950 = \underline{\underline{156.9 \text{ m}^2}}$$

$$V = 156.9 \times 0.140 = \underline{\underline{22.0 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.0 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.0 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{51.7 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その1)より

$$A = 8.740 \times 17.950 = \underline{\underline{156.9 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 17.950 = \underline{\underline{156.9 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 17.950 = \underline{\underline{156.9 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その1)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.650 \times 2 \text{ 列} = \underline{37.3 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

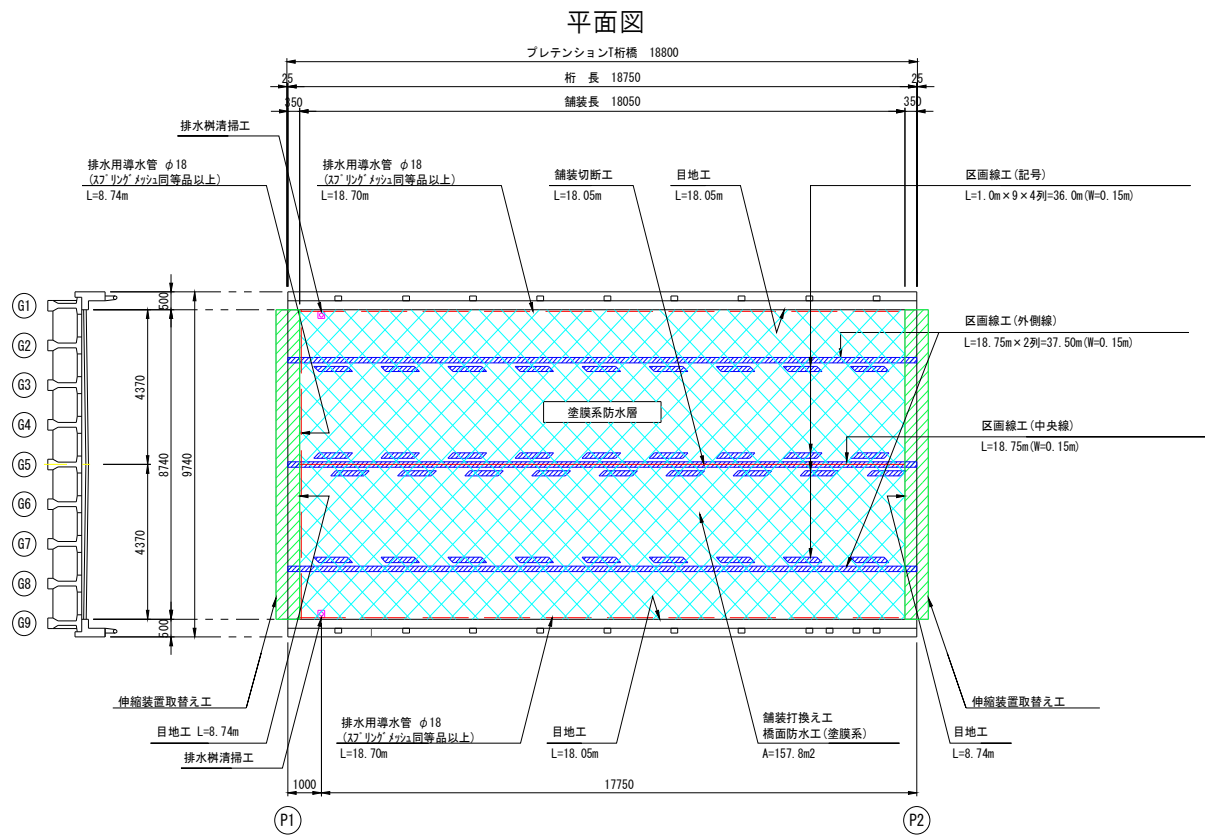
$$L = 18.650 = \underline{18.7 \text{ m}}$$

c. 白色記号 w=15cm

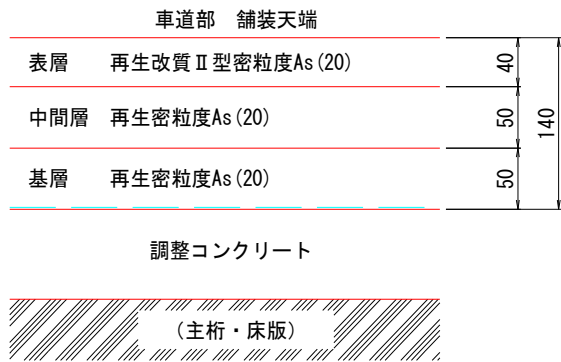
$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

(2) P1-P2間

舗装打換え工詳細図 【車道部】



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その2)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.05 = \underline{\underline{18.1 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その2)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

$$V = 157.8 \times 0.140 = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.1 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{51.9 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その2)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その2)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.750 \times 2 \text{ 列} = \underline{37.5 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

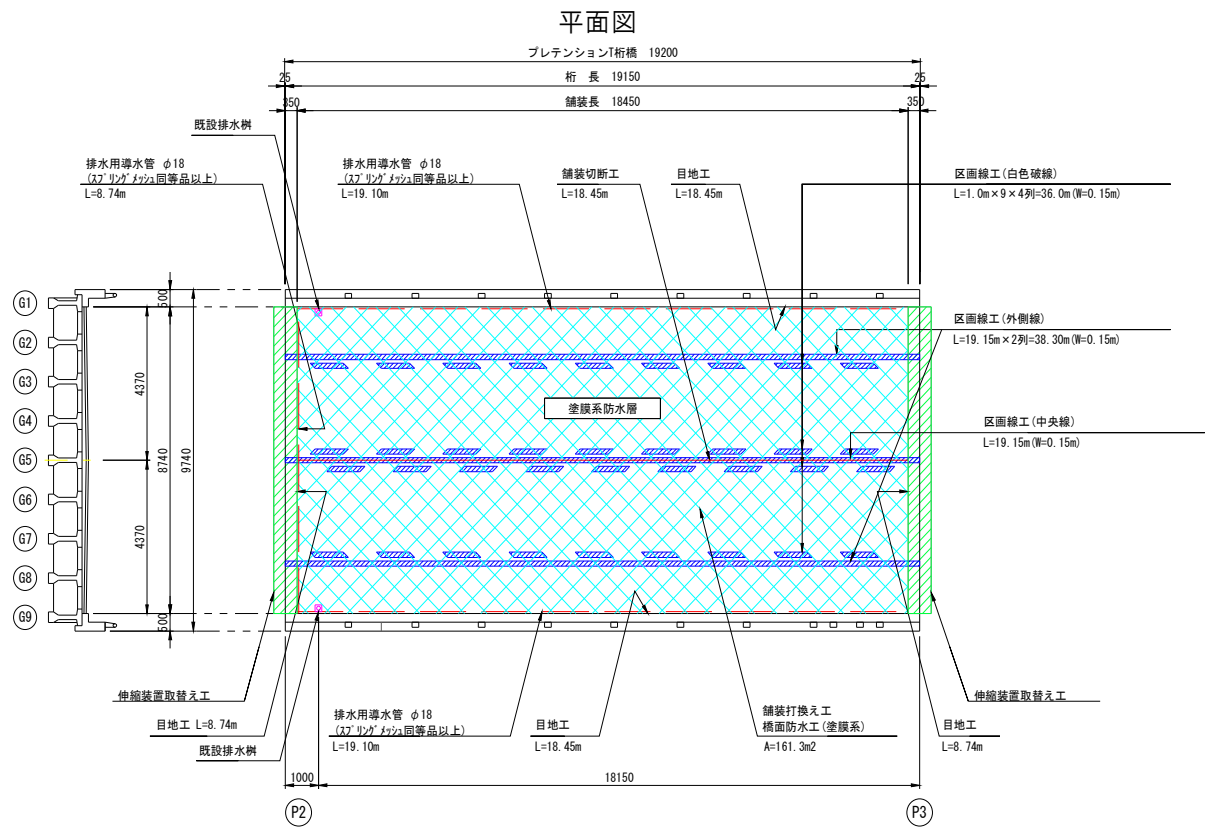
$$L = 18.750 = \underline{18.8 \text{ m}}$$

c. 白色記号 w=15cm

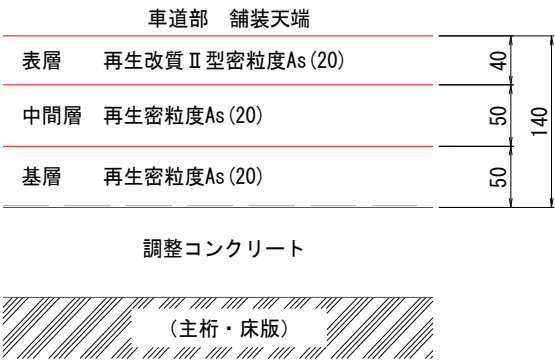
$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

(3) P2-P3間

舗装打換え工詳細図 【車道部】



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その3)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.45 = \underline{\underline{18.5 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その3)より

$$A = 8.740 \times 18.450 = \underline{\underline{161.3 \text{ m}^2}}$$

$$V = 161.3 \times 0.140 = \underline{\underline{22.6 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.6 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.6 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{53.1 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その3)より

$$A = 8.740 \times 18.450 = \underline{\underline{161.3 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.450 = \underline{\underline{161.3 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.450 = \underline{\underline{161.3 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その3)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 19.150 \times 2 \text{ 列} = \underline{38.3 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 19.150 = \underline{19.2 \text{ m}}$$

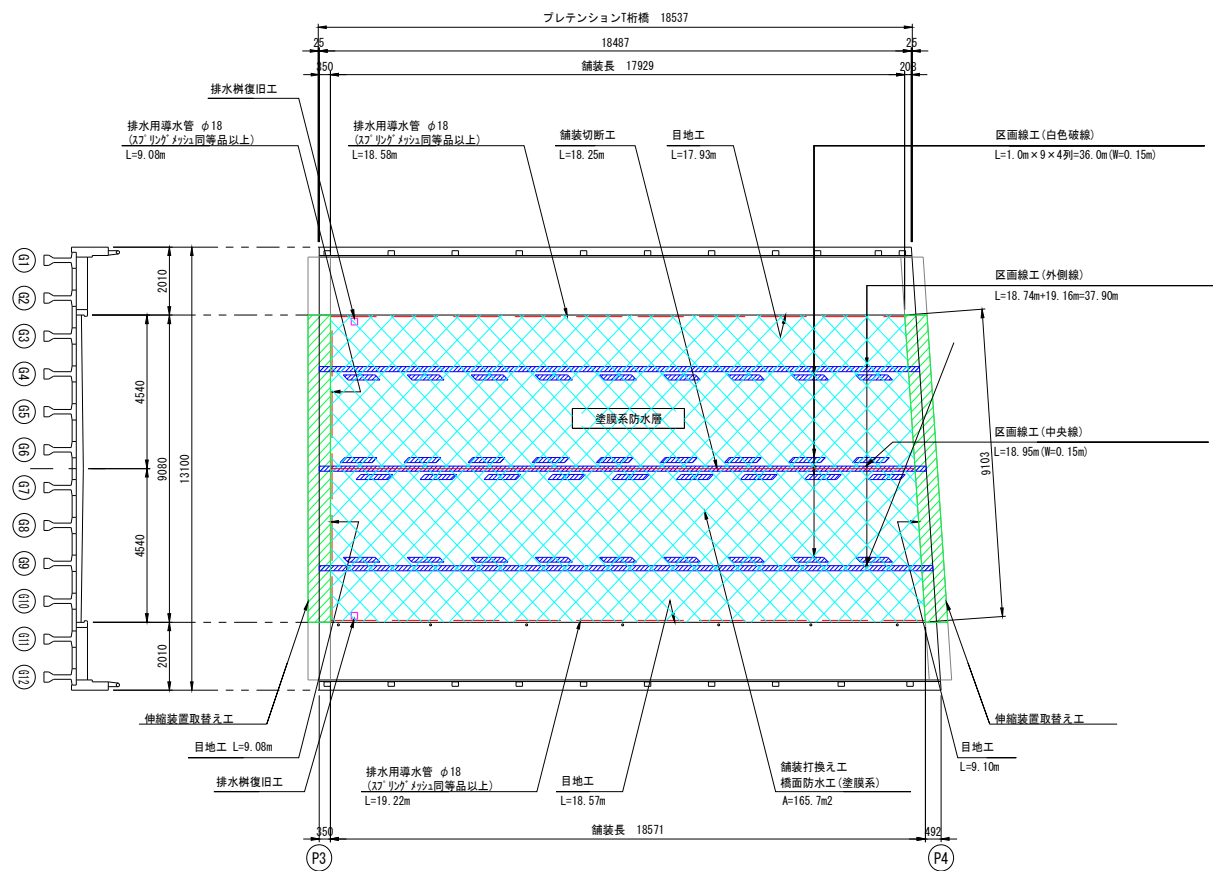
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

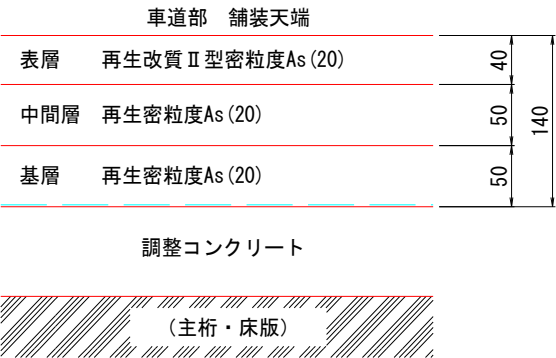
(4) P3-P4間

舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その4)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.25 \quad = \underline{\underline{18.3 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その4)より

$$A = 9.080 \times (17.929 + 18.571) \times 1/2 = \underline{\underline{165.7 \text{ m}^2}}$$

$$V = 165.7 \times 0.140 = \underline{\underline{23.2 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{23.2 \text{ m}^3}}$$

$$W = 23.2 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{54.5 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その4)より

$$A = 9.080 \times (17.929 + 18.571) \times 1/2 = \underline{\underline{165.7 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.929 + 18.571) \times 1/2 = \underline{\underline{165.7 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.929 + 18.571) \times 1/2 = \underline{\underline{165.7 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その4)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.740 + 19.160 = \underline{37.9 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.950 = \underline{19.0 \text{ m}}$$

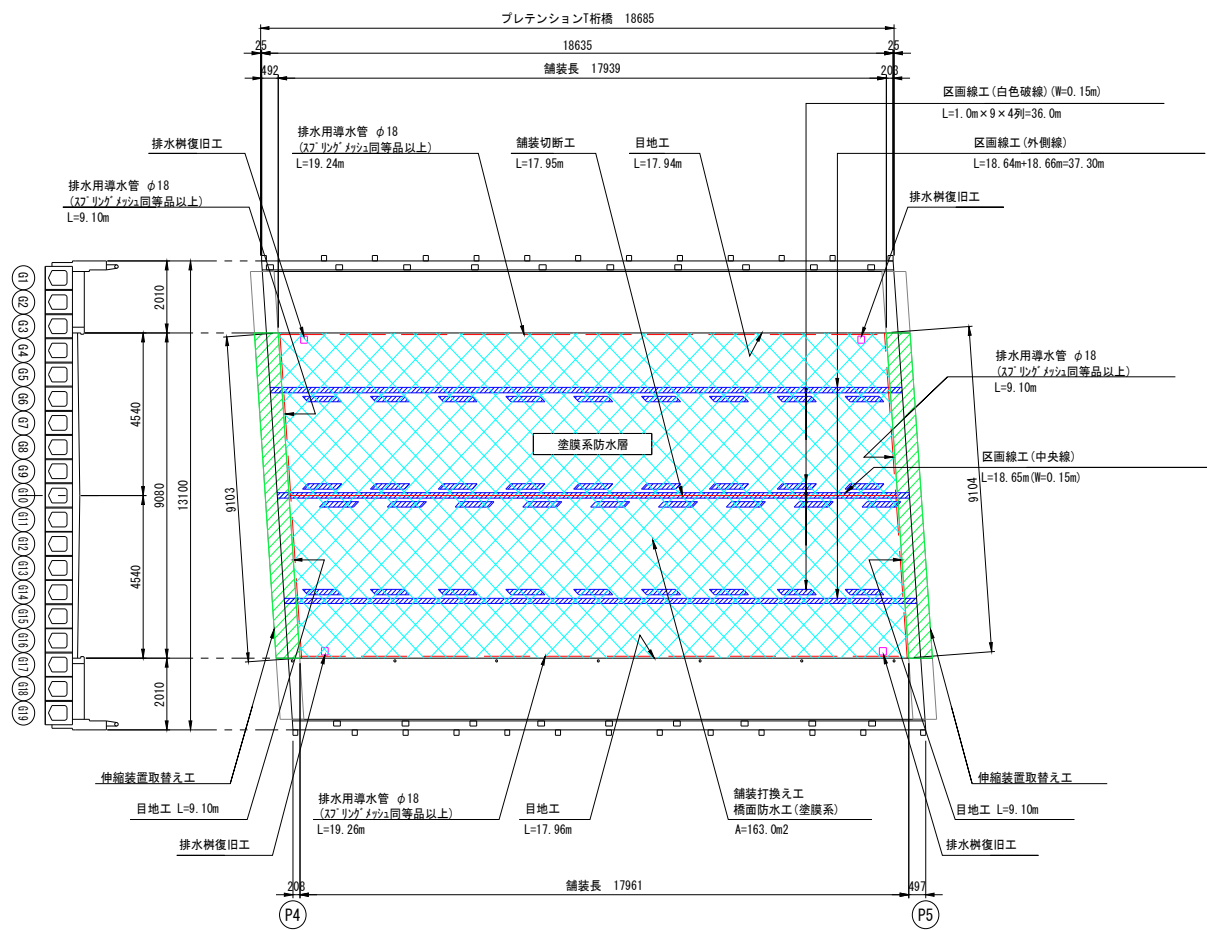
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

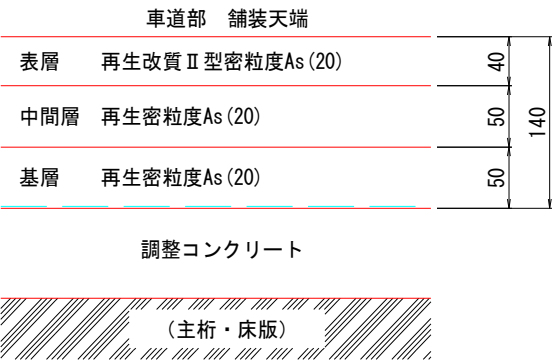
(5) P4-P5間

舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その6)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 17.95 \quad = \underline{\underline{18.0 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その6)より

$$A = 9.080 \times (17.939 + 17.961) \times 1/2 = \underline{\underline{163.0 \text{ m}^2}}$$

$$V = 163.0 \times 0.140 = \underline{\underline{22.8 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.8 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.8 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{53.6 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その6)より

$$A = 9.080 \times (17.939 + 17.961) \times 1/2 = \underline{\underline{163.0 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.939 + 17.961) \times 1/2 = \underline{\underline{163.0 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.939 + 17.961) \times 1/2 = \underline{\underline{163.0 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その6)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.640 + 18.660 = \underline{37.3 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.650 = \underline{18.7 \text{ m}}$$

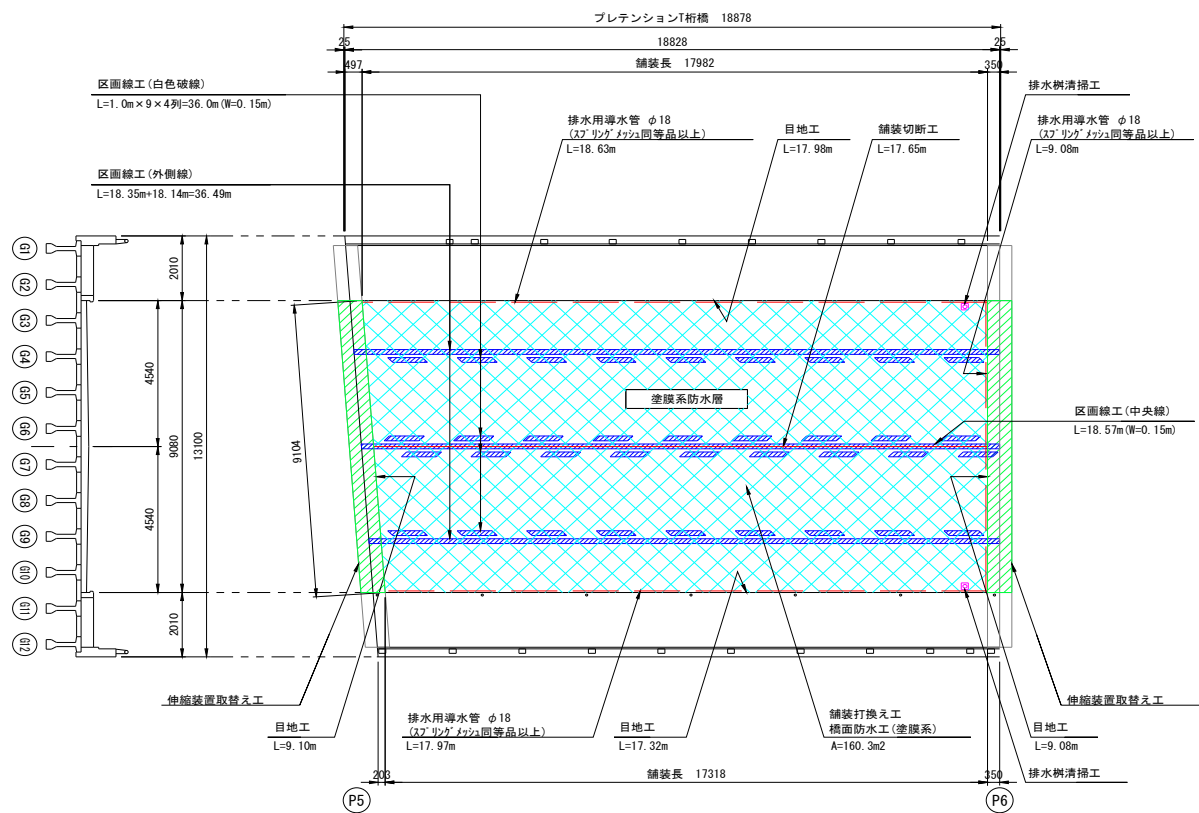
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

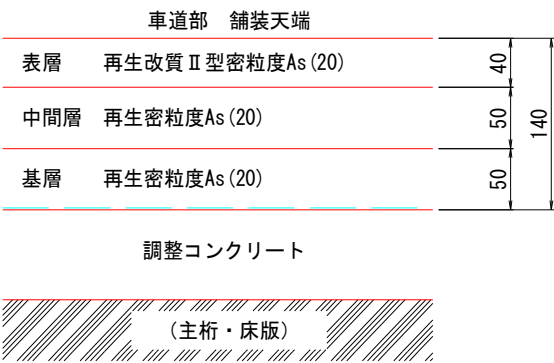
(6) P5-P6間

舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その8)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 17.65 = \underline{\underline{17.7 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その8)より

$$A = 9.080 \times (17.982 + 17.318) \times 1/2 = \underline{\underline{160.3 \text{ m}^2}}$$

$$V = 160.3 \times 0.140 = \underline{\underline{22.4 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.4 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.4 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{52.6 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その8)より

$$A = 9.080 \times (17.982 + 17.318) \times 1/2 = \underline{\underline{160.3 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.982 + 17.318) \times 1/2 = \underline{\underline{160.3 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 9.080 \times (17.982 + 17.318) \times 1/2 = \underline{\underline{160.3 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その8)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.350 + 18.140 = \underline{36.5 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.570 = \underline{18.6 \text{ m}}$$

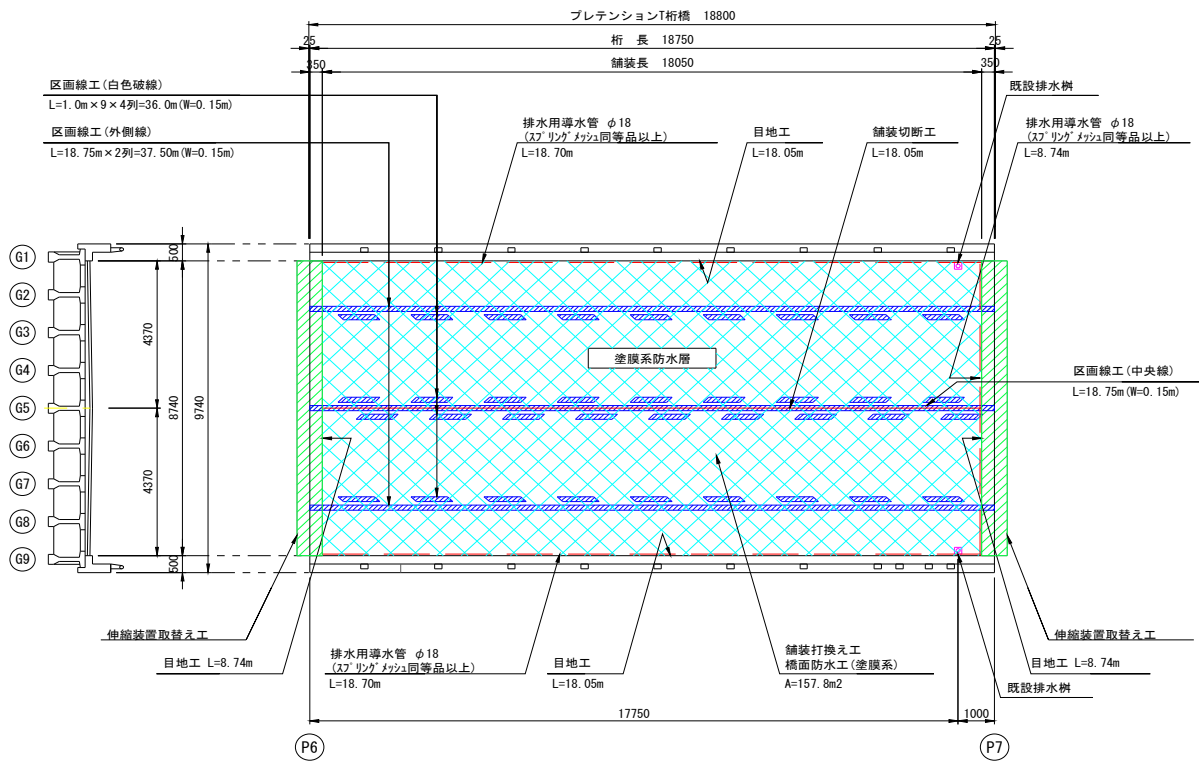
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

(7) P6-P7間

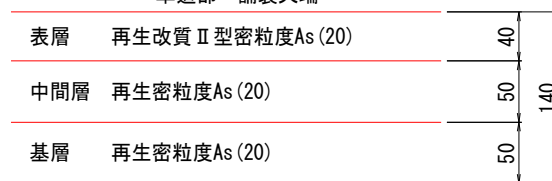
舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図

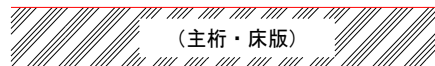


橋面舗装構成詳細図 【車道部】

車道部 舗装天端



調整コンクリート



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その10)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.05 = \underline{\underline{18.1 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その10)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

$$V = 157.8 \times 0.140 = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.1 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{51.9 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その10)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その10)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.750 \times 2 \text{ 列} = \underline{37.5 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.750 = \underline{18.8 \text{ m}}$$

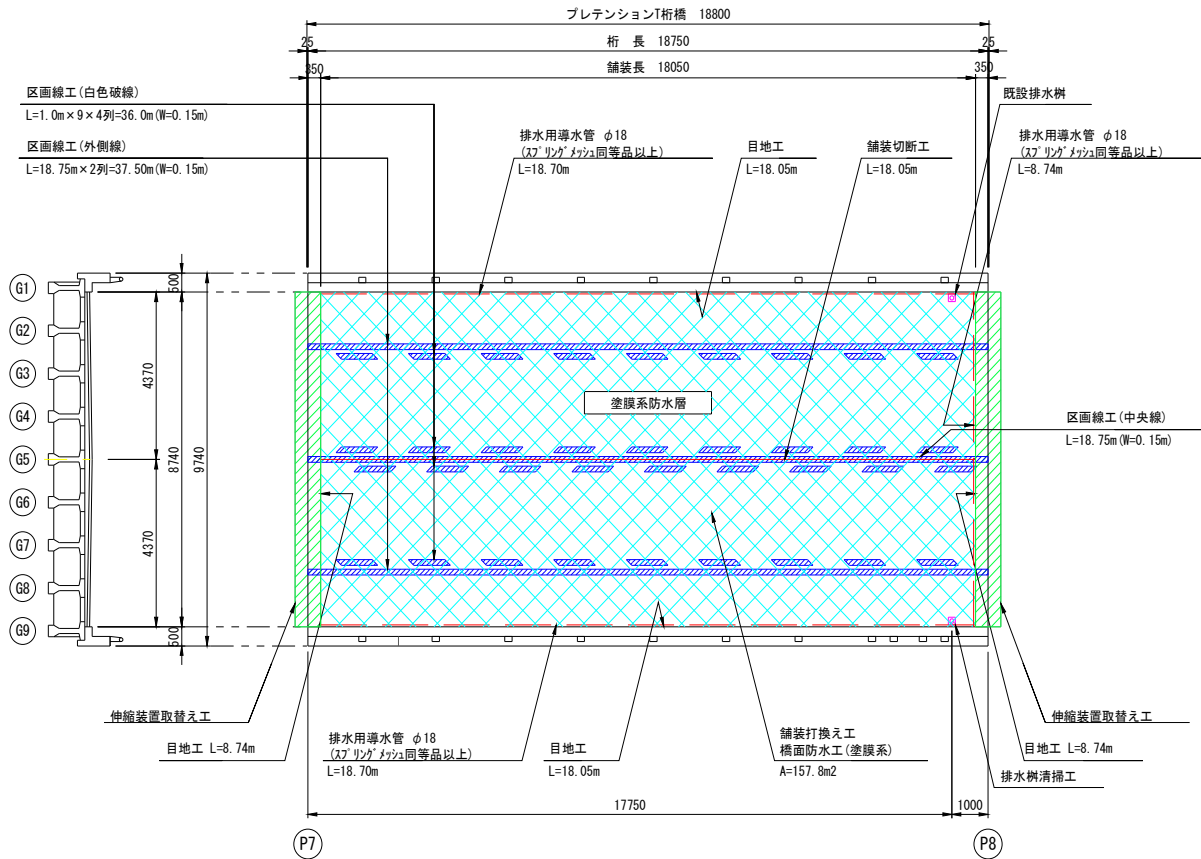
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

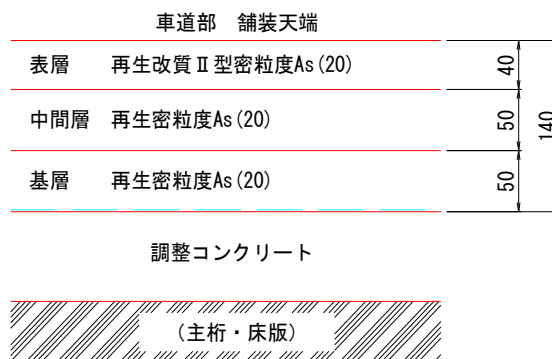
(8) P7-P8間

舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その11)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.05 = \underline{\underline{18.1 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その11)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

$$V = 157.8 \times 0.140 = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.1 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{51.9 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その11)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その11)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.750 \times 2 \text{ 列} = \underline{37.5 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.750 = \underline{18.8 \text{ m}}$$

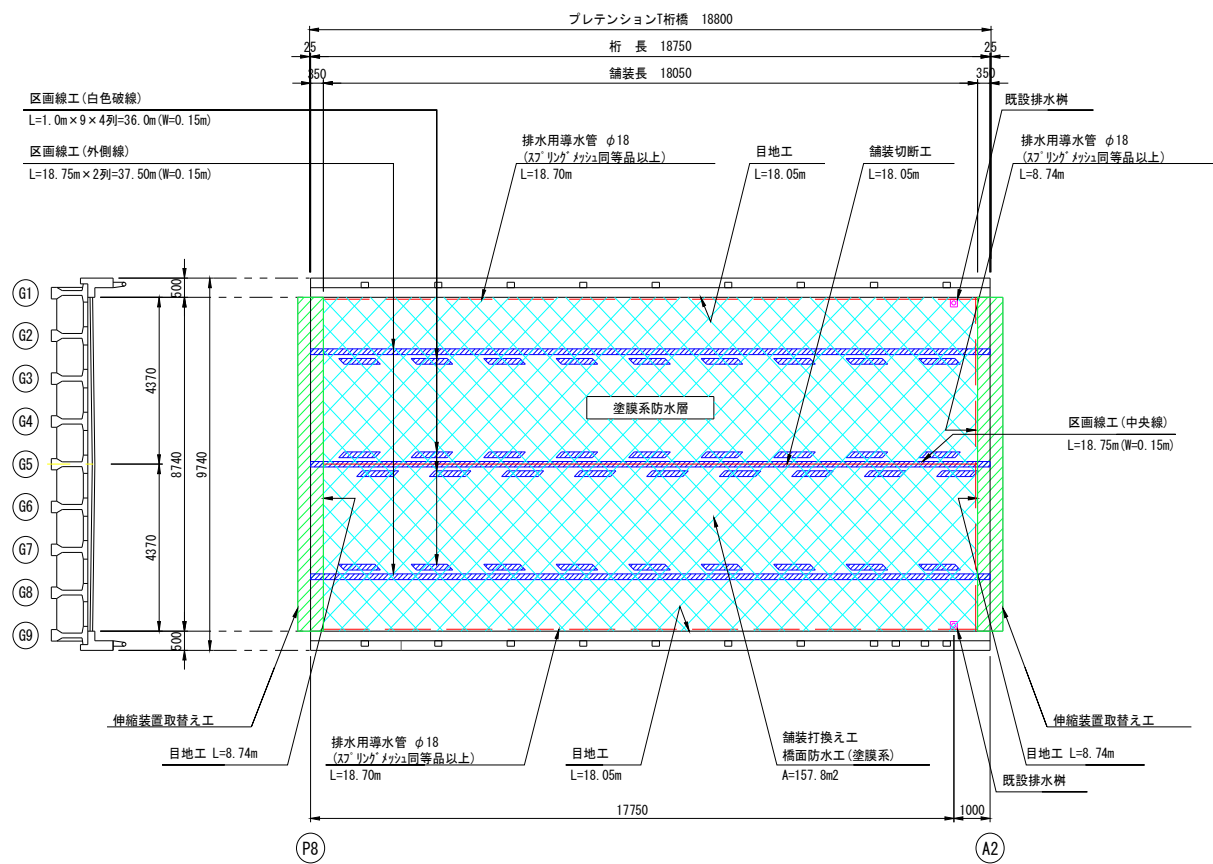
c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

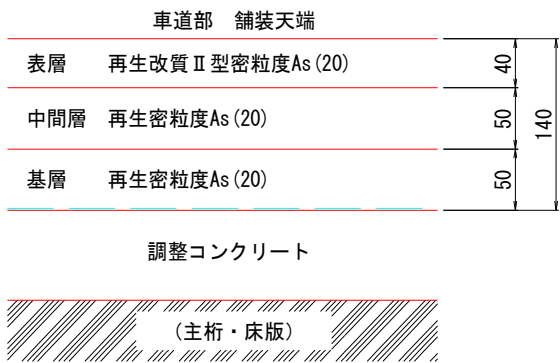
(9) P8-A2間

舗装打換え工詳細図 【車道部】

平面図



橋面舗装構成詳細図 【車道部】



※ 舗装については、現地高に合わせて調整すること。

1) 舗装切断

・車道部 $t=140\text{mm}$ (切断厚さ $t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その12)より

As舗装切断延長 (交互施工のため)

$$L = 18.05 = \underline{\underline{18.1 \text{ m}}}$$

2) 舗装版撤去

アスファルト舗装

・車道部 路面切削 $t=140\text{mm}$ ($t=15\text{cm}$ 以下)

橋面工補修図(その12)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

$$V = 157.8 \times 0.140 = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

3) 殻運搬・処理

アスファルト殻

・車道部 $t=140\text{mm}$

$$V = \text{舗装版撤去工より} = \underline{\underline{22.1 \text{ m}^3}}$$

$$W = 22.1 \times \underset{\text{密粒度アスコン}}{2.35} \text{ t/m}^3 = \underline{\underline{51.9 \text{ t}}}$$

4) アスファルト舗装敷設【車道部】

・車道部 表層 $t=40\text{mm}$ (再生改質Ⅱ型密粒度As(20))

橋面工補修図(その12)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 中間層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

・車道部 基層 $t=50\text{mm}$ (再生密粒度As(20))

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

5) 区画線【車道部】

※下記は参考である。施工の際は、既設区画線等を再測して確認すること。

橋面工補修図(その12)より

・ 溶融式区画線

a. 白色実線 w=15cm

$$L = 18.750 \times 2 \text{ 列} = \underline{37.5 \text{ m}}$$

b. 黄色実線 w=15cm

$$L = 18.750 = \underline{18.8 \text{ m}}$$

c. 白色記号 w=15cm

$$L = 1.000 \times 9 \text{ 本} \times 4 \text{ 列} = \underline{36.0 \text{ m}}$$

第2表 橋面防水工

1. 集計

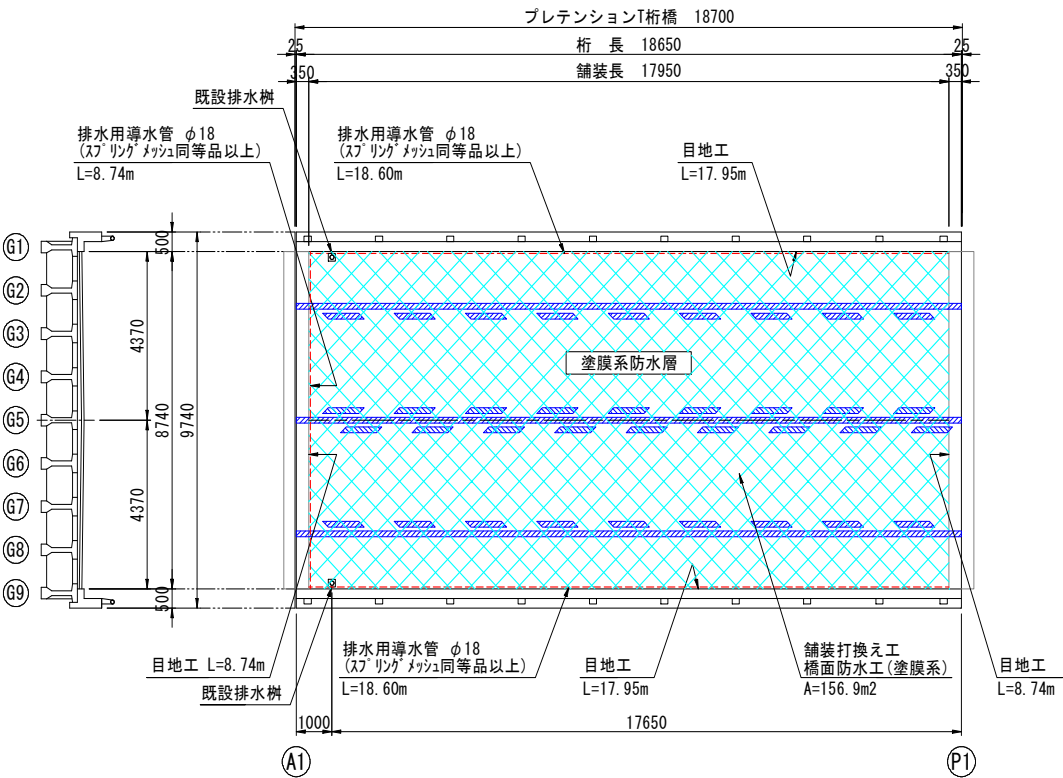
		橋面防水層	排水用導水管	排水桷復旧	排水桷清掃	削孔	成形目地材	端部処理材	橋面防水層
		車道部	φ18			φ20	b=30mm	アスファルト系	歩道部
		m2	m	箇所	箇所	孔	m	m	m2
径間	A1-P1	156.9	45.9	-	-	2.0	53.4	53.4	-
	P1-P2	157.8	46.1	-	2.0	2.0	53.6	53.6	-
	P2-P3	161.3	46.9	-	-	2.0	54.4	54.4	-
	P3-P4	165.7	46.9	2.0	-	2.0	54.7	54.7	56.6
	P4-P5	163.0	56.7	4.0	-	4.0	54.1	54.1	55.6
	P5-P6	160.3	45.7	-	2.0	2.0	53.5	53.5	54.7
	P6-P7	157.8	46.1	-	-	2.0	53.6	53.6	-
	P7-P8	157.8	46.1	-	1.0	2.0	53.6	53.6	-
	P8-A2	157.8	46.1	-	-	2.0	53.6	53.6	-
合計		1438.4	426.5	6.0	5.0	20.0	484.5	484.5	166.9

※ 明細は、次頁以降参照のこと。

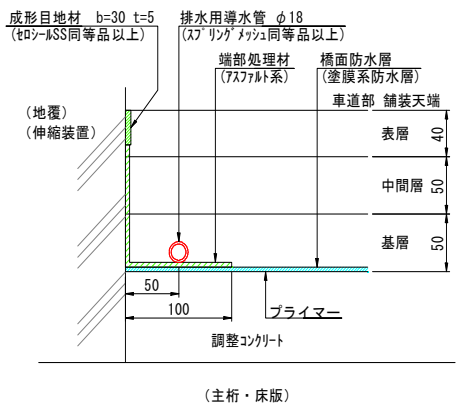
2. 径間毎数量

(1) A1-P1間

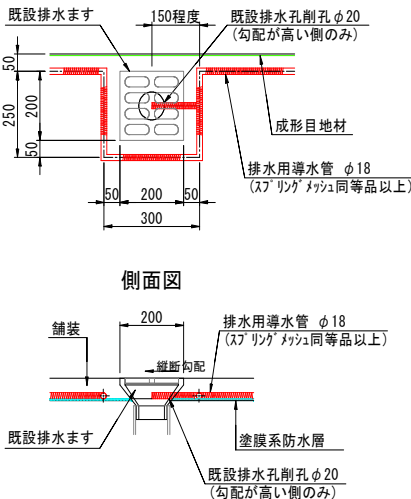
橋面防水工詳細図 【車道部】
平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その1)より

$$A = 8.740 \times 17.950 = \underline{156.9 \text{ m}^2}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その1)より

$$L = 18.600 \times 2 + 8.740 = \underline{45.9 \text{ m}}$$

3) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その1)より

$$N = \underline{2 \text{ 箇所}}$$

4) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その1)より

$$L = 17.950 + 17.950 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.4 \text{ m}}$$

5) 端部処理材 (アスファルト系)

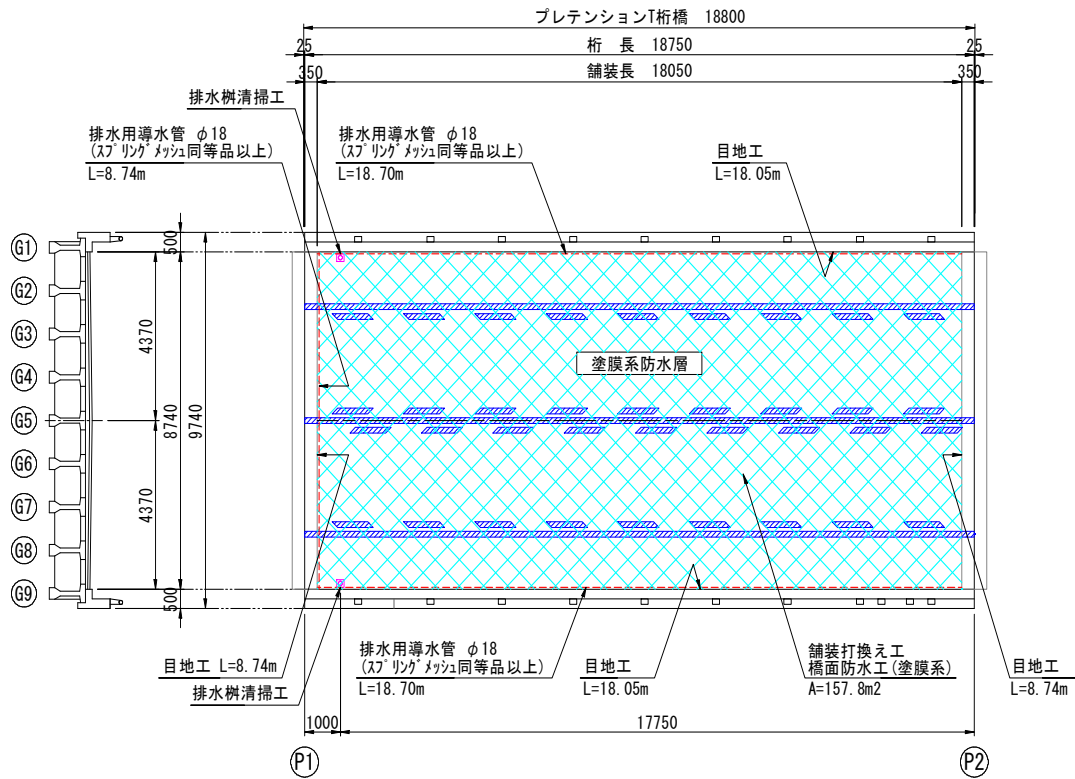
・ 車道部

橋面工補修図(その1)より

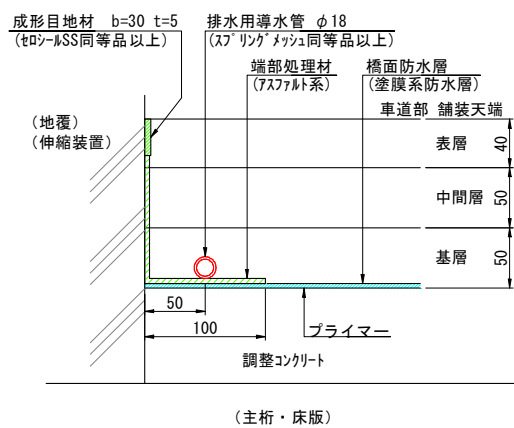
$$L = 17.950 + 17.950 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.4 \text{ m}}$$

(2) P1-P2間

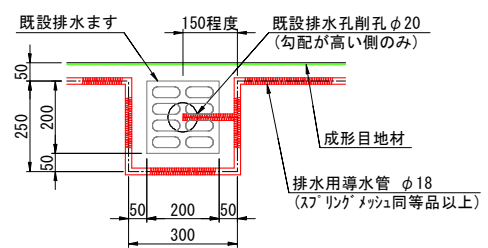
橋面防水工詳細図 【車道部】
平面図



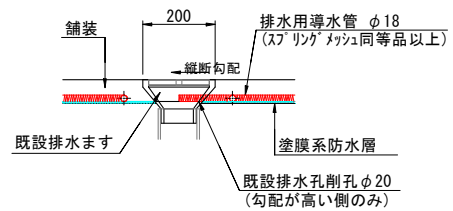
端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



側面図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その2)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その2)より

$$L = 18.700 \times 2 + 8.740 = \underline{\underline{46.1 \text{ m}}}$$

3) 排水柵清掃

・ 車道部

橋面工補修図(その2)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

4) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その2)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

5) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その2)より

$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{53.6 \text{ m}}}$$

6) 端部処理材 (アスファルト系)

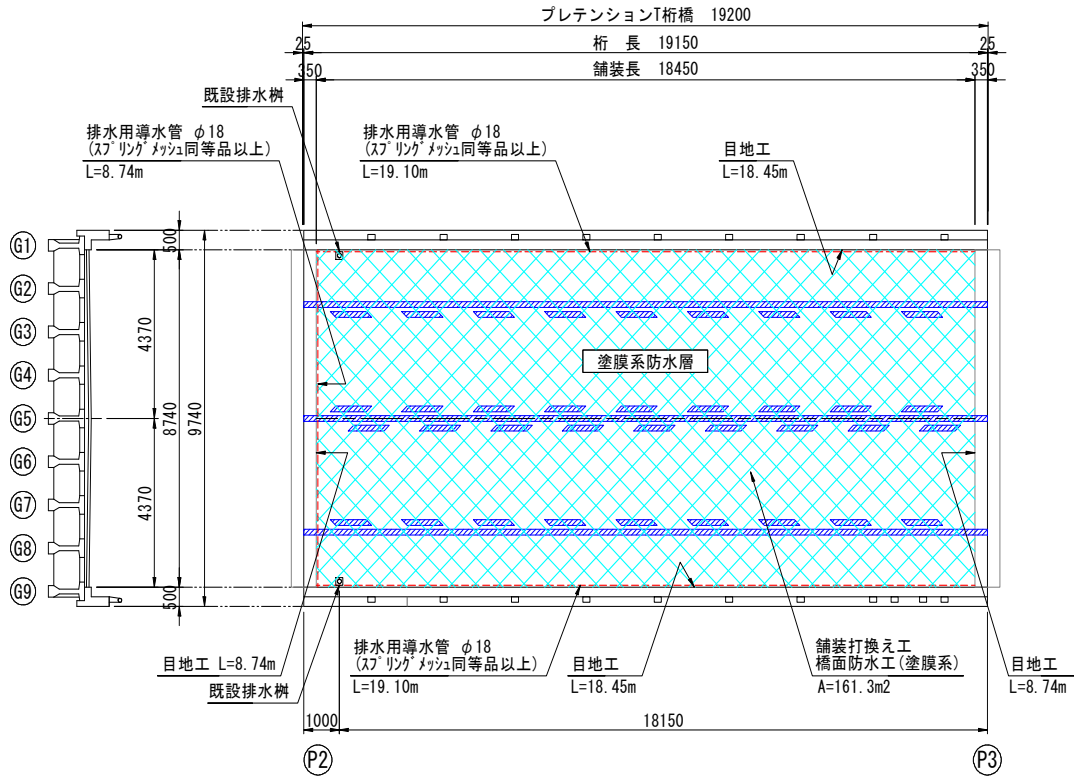
・ 車道部

橋面工補修図(その2)より

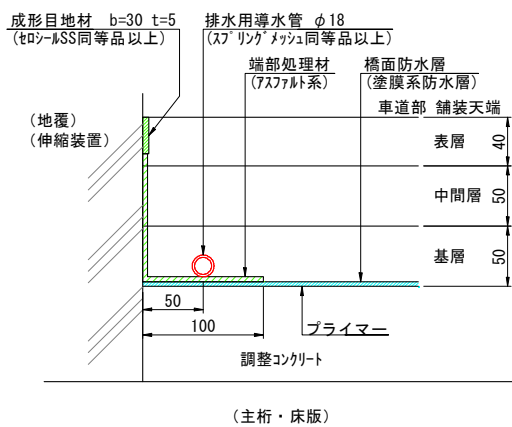
$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{53.6 \text{ m}}}$$

(3) P2-P3間

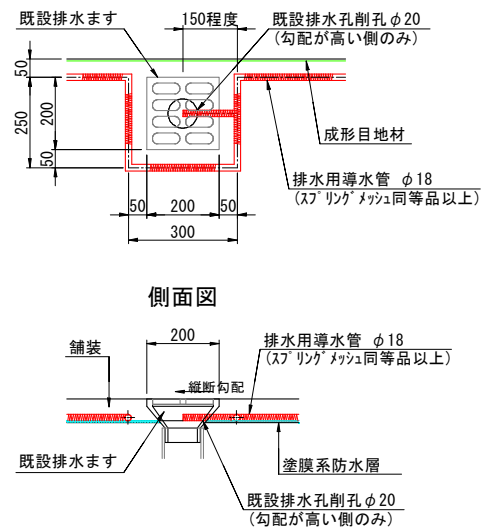
橋面防水工詳細図 【車道部】
平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その3)より

$$A = 8.740 \times 18.450 = \underline{\underline{161.3 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その3)より

$$L = 19.100 \times 2 + 8.740 = \underline{\underline{46.9 \text{ m}}}$$

3) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その3)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

4) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その3)より

$$L = 18.450 + 18.450 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{54.4 \text{ m}}}$$

5) 端部処理材 (アスファルト系)

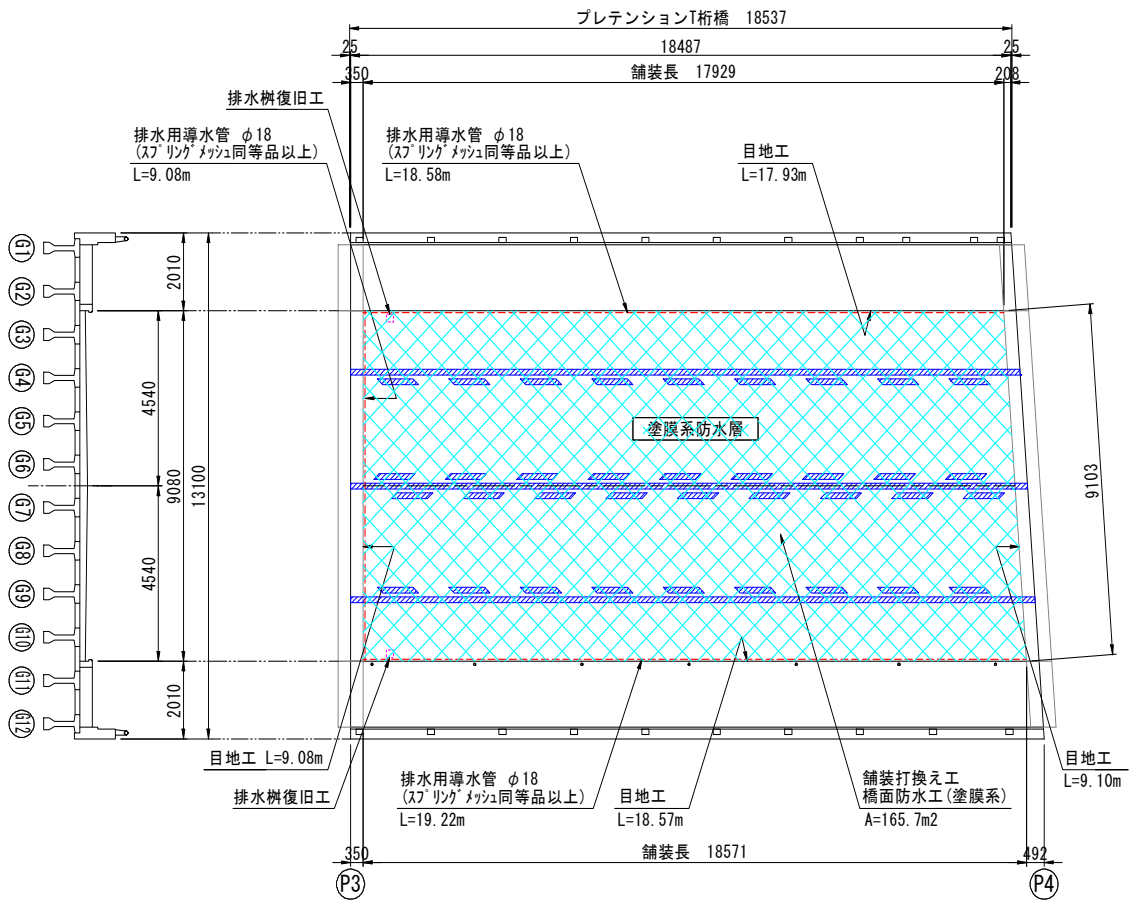
・ 車道部

橋面工補修図(その3)より

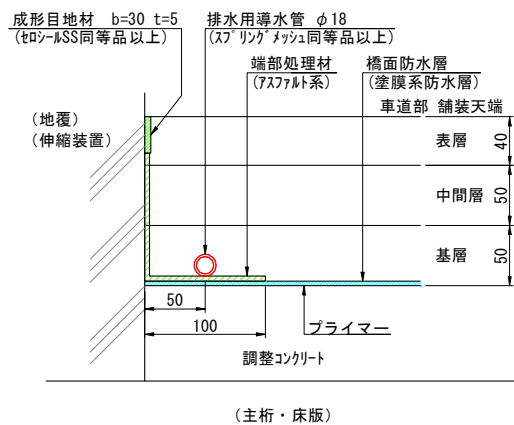
$$L = 18.450 + 18.450 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{54.4 \text{ m}}}$$

(4) P3-P4間

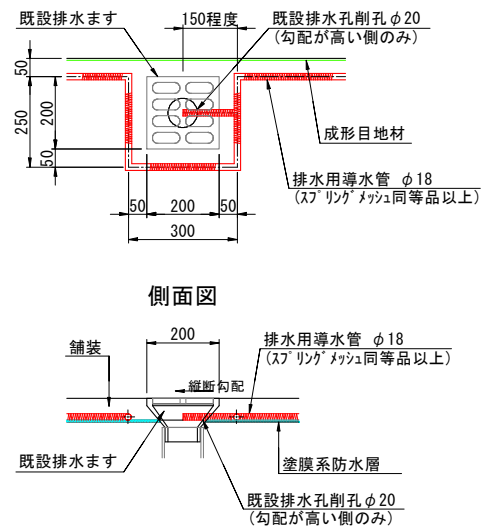
橋面防水工詳細図 【車道部】 平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その4)より

$$A = 9.080 \times (17.929 + 18.571) \times 1/2 = \underline{\underline{165.7 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その4)より

$$L = 18.580 + 19.220 + 9.080 = \underline{\underline{46.9 \text{ m}}}$$

3) 排水柵復旧

・ 車道部 (200×200)

橋面工補修図(その4)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

4) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その4)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

5) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その4)より

$$L = 17.930 + 18.570 + 9.080 + 9.100 = \underline{\underline{54.7 \text{ m}}}$$

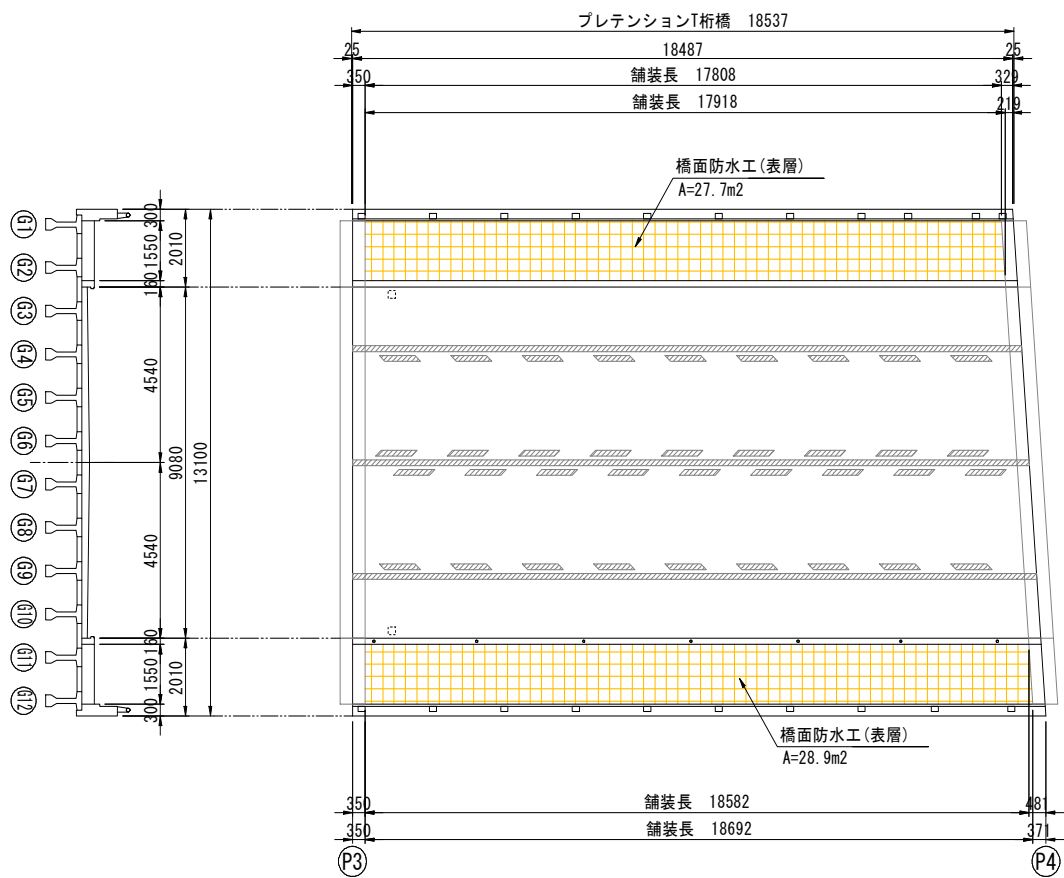
6) 端部処理材 (アスファルト系)

・ 車道部

橋面工補修図(その4)より

$$L = 17.930 + 18.570 + 9.080 + 9.100 = \underline{\underline{54.7 \text{ m}}}$$

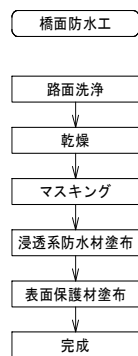
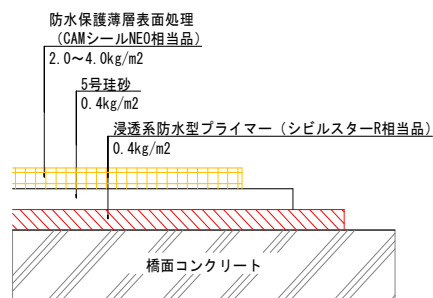
橋面防水工詳細図 【歩道部】
平面図



橋面防水工詳細図(参考図)

(CAMシールNEOプラス相当品)

舗装構成図

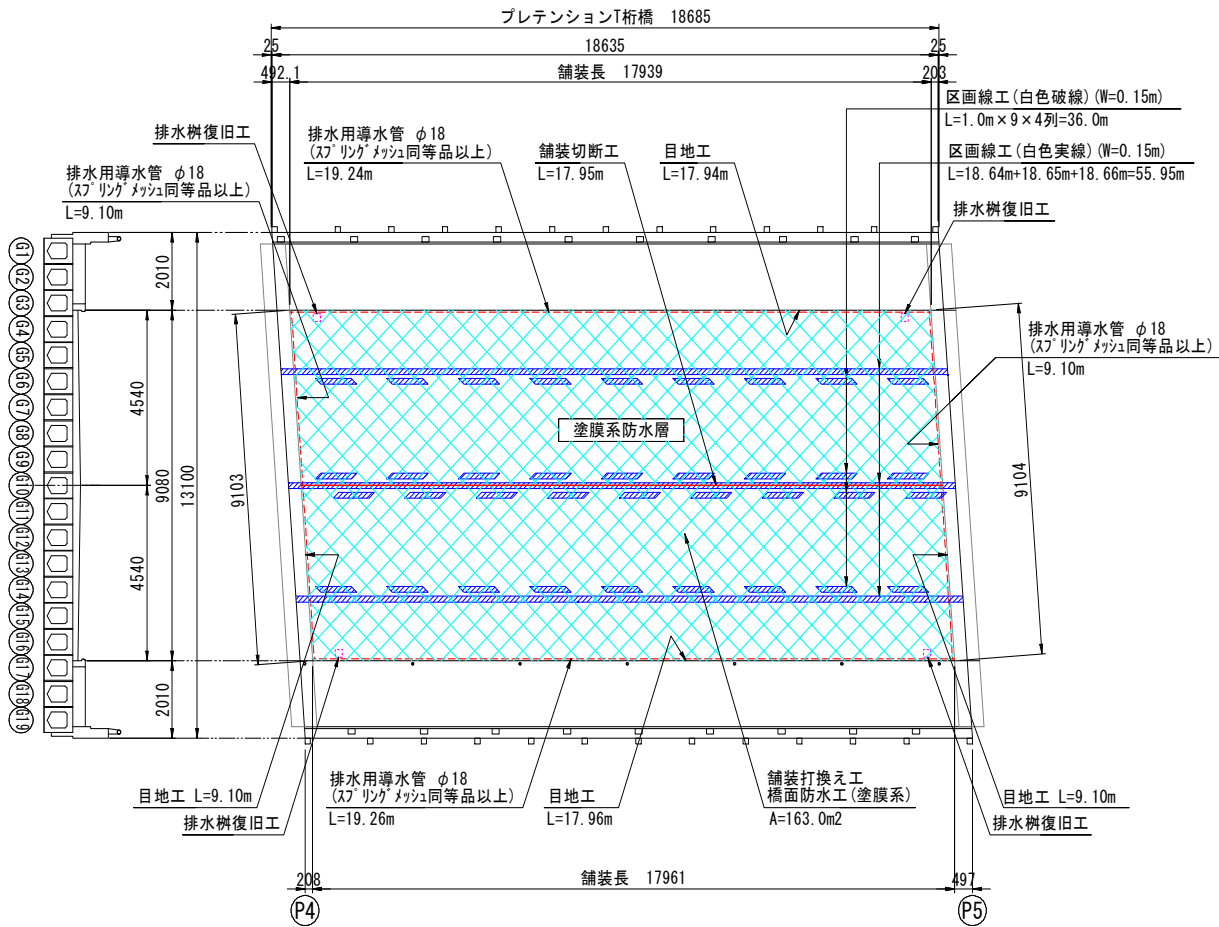


コンクリート表面処理(CAMシールNEOプラス相当品)

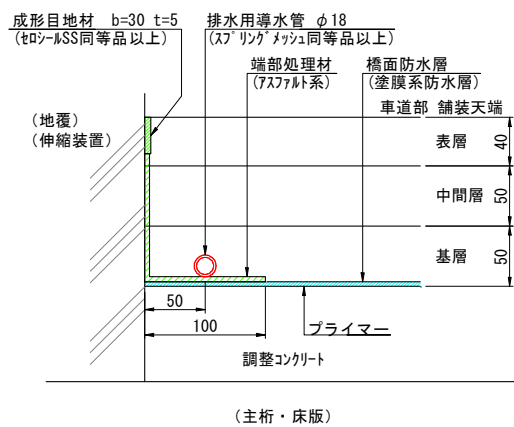
$$\begin{aligned}
 a1 &= (17.808 + 17.918) \times 1.550 \times 1/2 &= 27.69 \text{ m}^2 \\
 a2 &= (18.582 + 18.692) \times 1.550 \times 1/2 &= 28.89 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 56.58 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

(5) P4-P5間

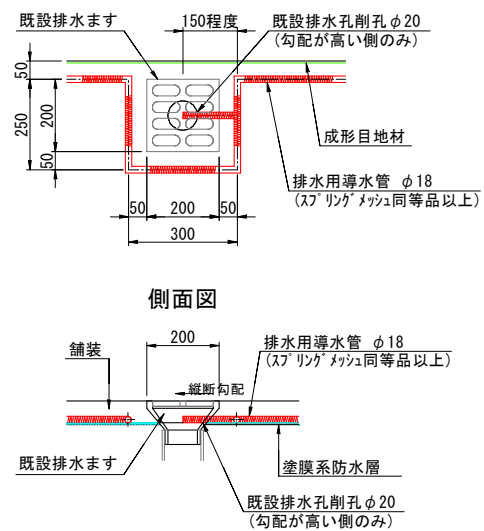
橋面防水工詳細図 【車道部】
平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その6)より

$$A = 9.080 \times (17.939 + 17.961) \times 1/2 = \underline{\underline{163.0 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その6)より

$$L = 9.100 + 19.240 + 9.100 + 19.260 = \underline{\underline{56.7 \text{ m}}}$$

3) 排水柵復旧

・ 車道部 (200×200)

橋面工補修図(その6)より

$$N = \underline{\underline{4 \text{ 箇所}}}$$

4) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その6)より

$$N = \underline{\underline{4 \text{ 箇所}}}$$

5) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その6)より

$$L = 17.940 + 17.960 + 9.100 + 9.100 = \underline{\underline{54.1 \text{ m}}}$$

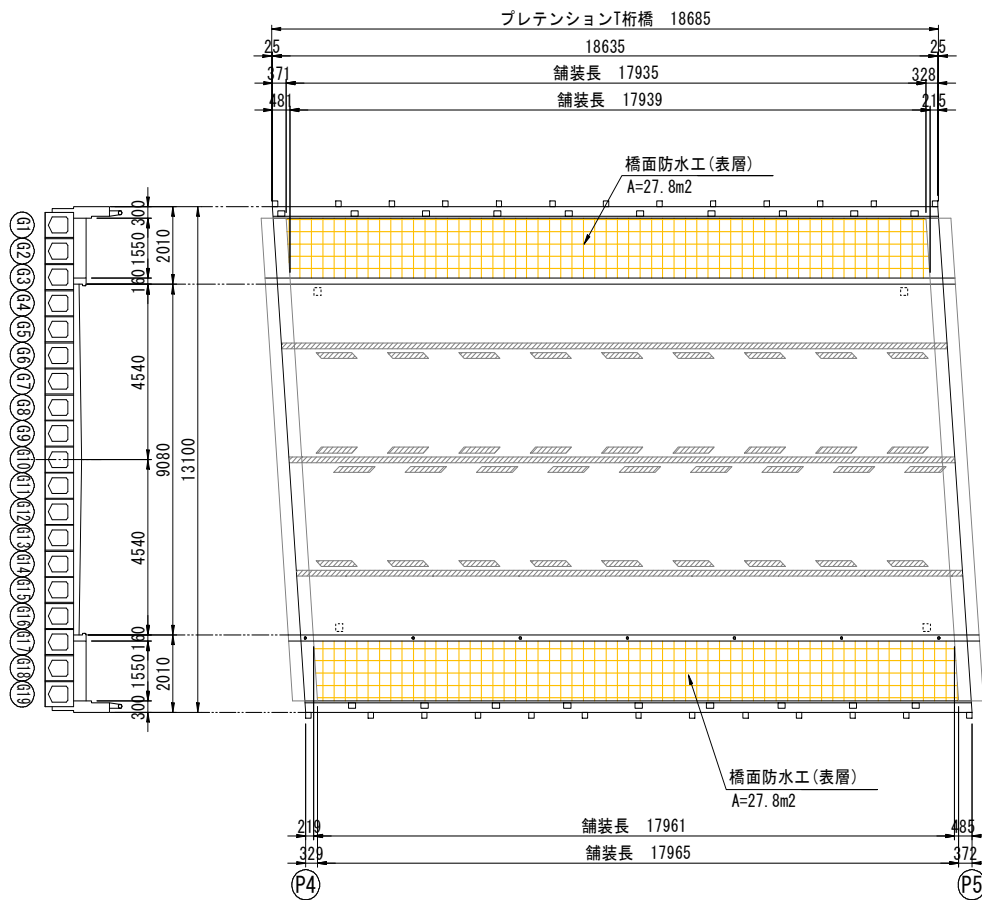
6) 端部処理材 (アスファルト系)

・ 車道部

橋面工補修図(その6)より

$$L = 17.940 + 17.960 + 9.100 + 9.100 = \underline{\underline{54.1 \text{ m}}}$$

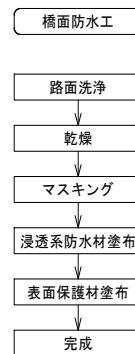
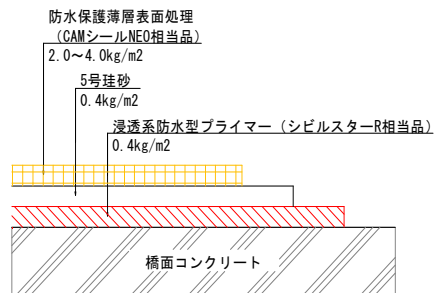
橋面防水工詳細図 【歩道部】
平面図



橋面防水工詳細図(参考図)

(CAMシールNEOプラス相当品)

舗装構成図

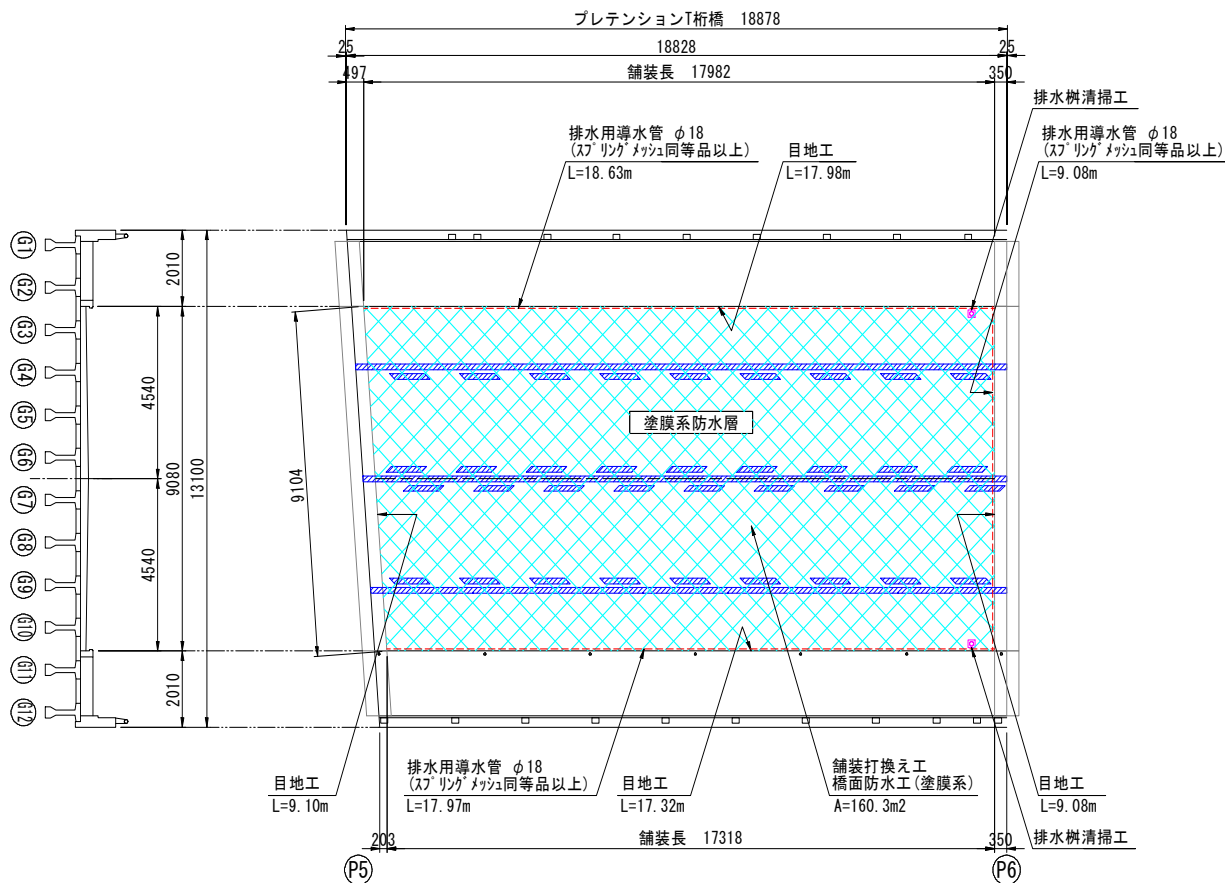


コンクリート表面処理(CAMシールNEOプラス相当品)

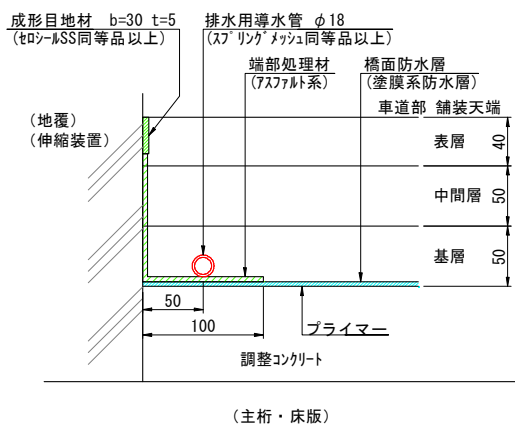
$$\begin{aligned}
 a1 &= (17.935 + 17.939) \times 1.550 \times 1/2 &= 27.80 \text{ m}^2 \\
 a2 &= (17.961 + 17.965) \times 1.550 \times 1/2 &= 27.84 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 55.64 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

(6) P5-P6間

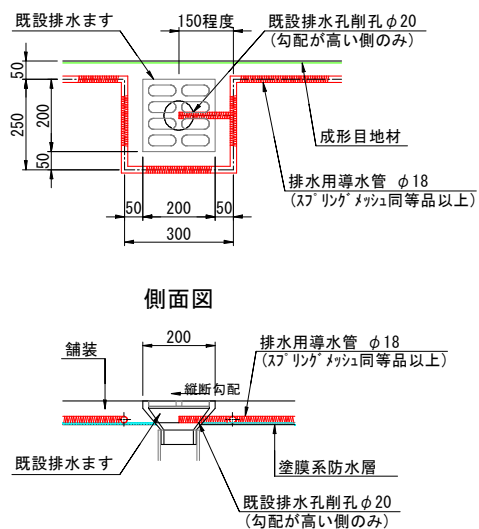
橋面防水工詳細図 【車道部】 平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その8)より

$$A = 9.080 \times (17.982 + 17.318) \times 1/2 = \underline{\underline{160.3 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その8)より

$$L = 18.630 + 9.080 + 17.970 = \underline{\underline{45.7 \text{ m}}}$$

3) 排水柵清掃

・ 車道部

橋面工補修図(その8)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

4) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その8)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

5) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その8)より

$$L = 17.980 + 17.320 + 9.080 + 9.100 = \underline{\underline{53.5 \text{ m}}}$$

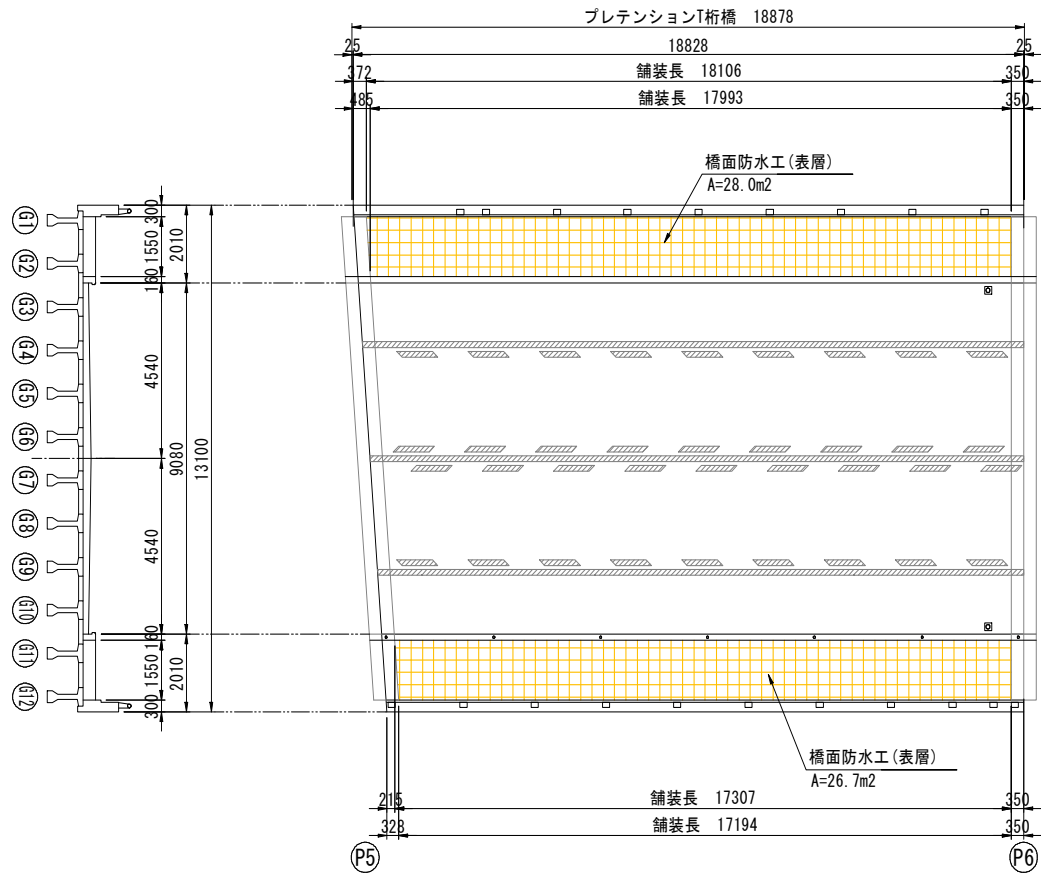
6) 端部処理材 (アスファルト系)

・ 車道部

橋面工補修図(その8)より

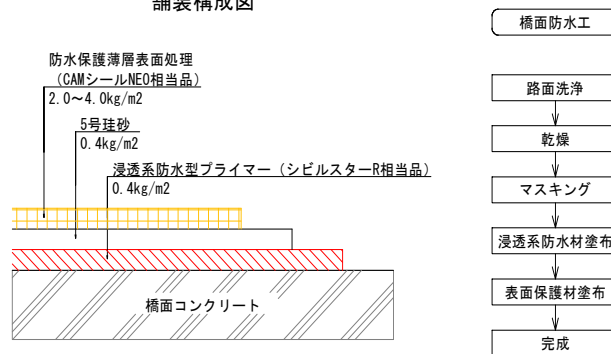
$$L = 17.980 + 17.320 + 9.080 + 9.100 = \underline{\underline{53.5 \text{ m}}}$$

橋面防水工詳細図 【歩道部】
平面図



橋面防水工詳細図(参考図)
(CAMシールNEOプラス相当品)

舗装構成図

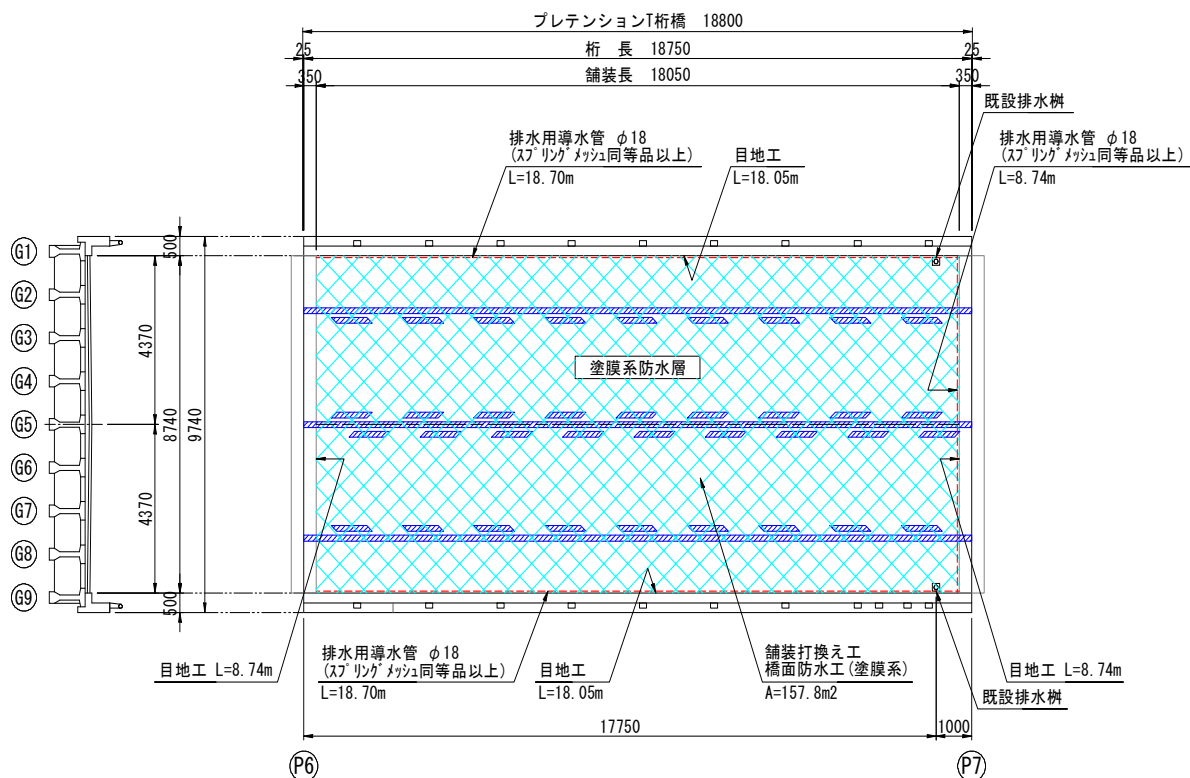


コンクリート表面処理(CAMシールNEOプラス相当品)

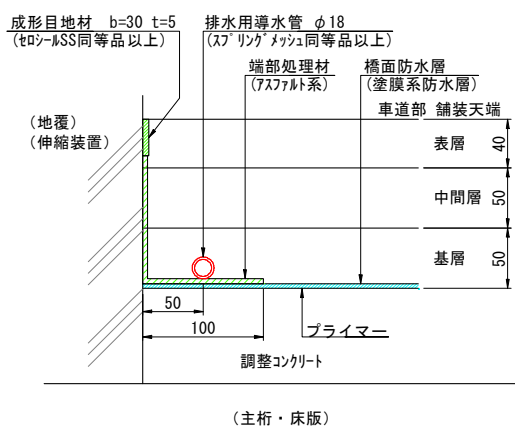
$$\begin{aligned}
 a1 &= (18.106 + 17.993) \times 1.550 \times 1/2 &= 27.98 \text{ m}^2 \\
 a2 &= (17.307 + 17.194) \times 1.550 \times 1/2 &= 26.74 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 54.72 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

(7) P6-P7間

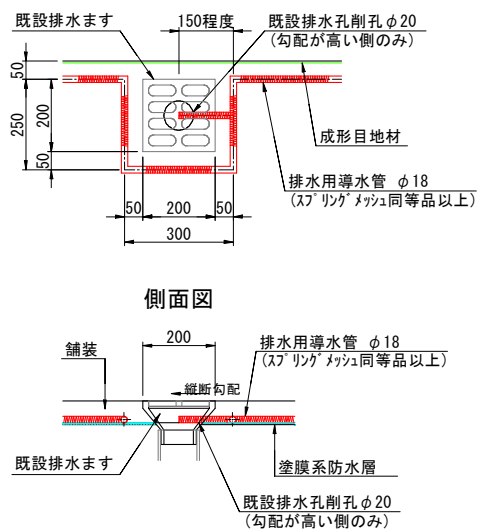
橋面防水工詳細図 【車道部】 平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その10)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{157.8 \text{ m}^2}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その10)より

$$L = 18.700 \times 2 + 8.740 = \underline{46.1 \text{ m}}$$

3) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その10)より

$$N = \underline{2 \text{ 箇所}}$$

4) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その10)より

$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.6 \text{ m}}$$

5) 端部処理材 (アスファルト系)

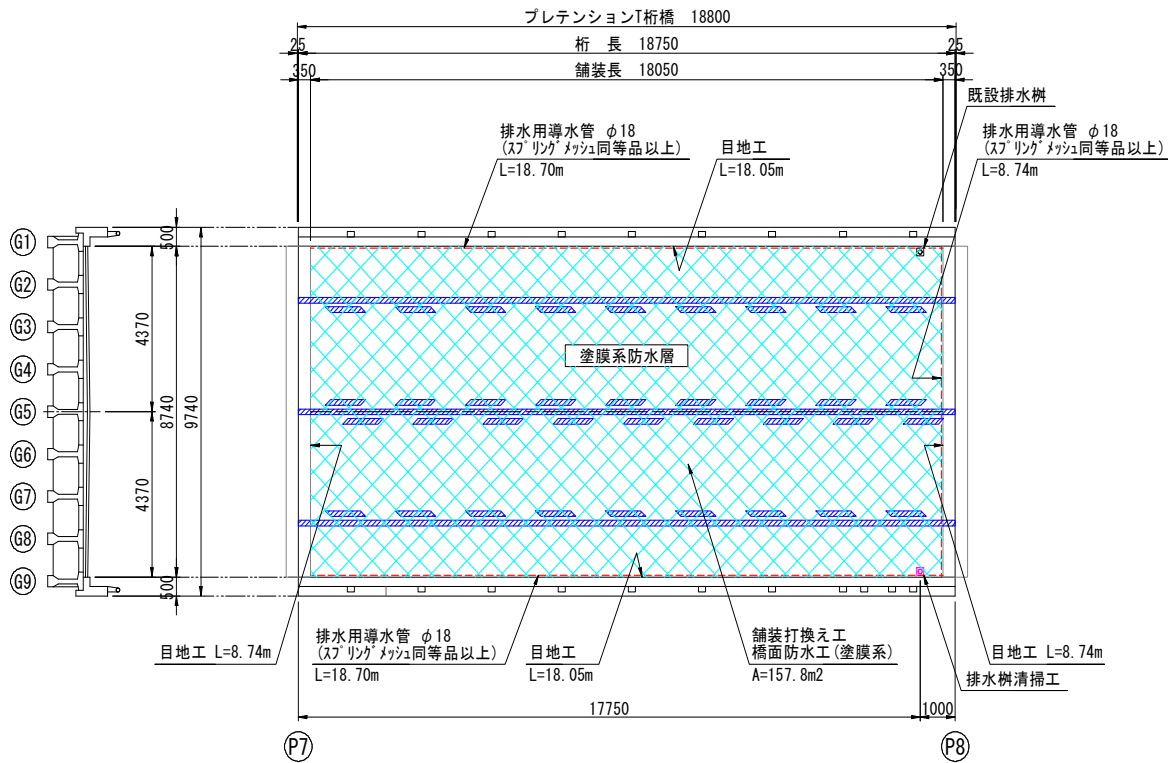
・ 車道部

橋面工補修図(その10)より

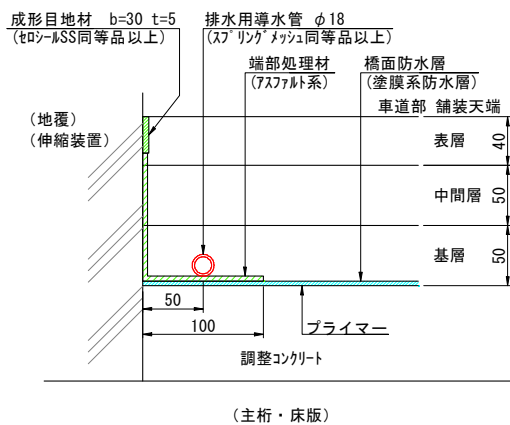
$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.6 \text{ m}}$$

(8) P7-P8間

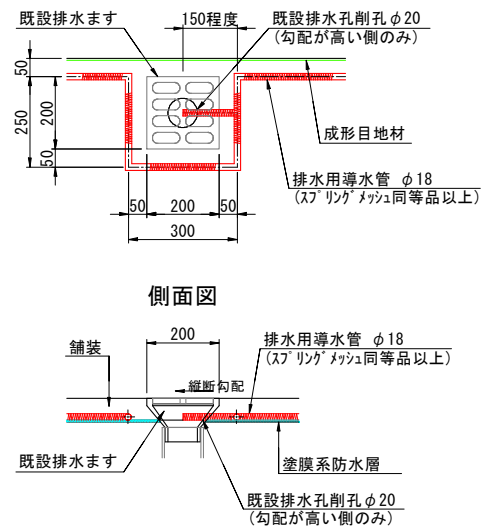
橋面防水工詳細図 【車道部】
平面図



端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その11)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{\underline{157.8 \text{ m}^2}}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その11)より

$$L = 18.700 \times 2 + 8.740 = \underline{\underline{46.1 \text{ m}}}$$

3) 排水柵清掃

・ 車道部

橋面工補修図(その11)より

$$N = \underline{\underline{1 \text{ 箇所}}}$$

4) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その11)より

$$N = \underline{\underline{2 \text{ 箇所}}}$$

5) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その11)より

$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{53.6 \text{ m}}}$$

6) 端部処理材 (アスファルト系)

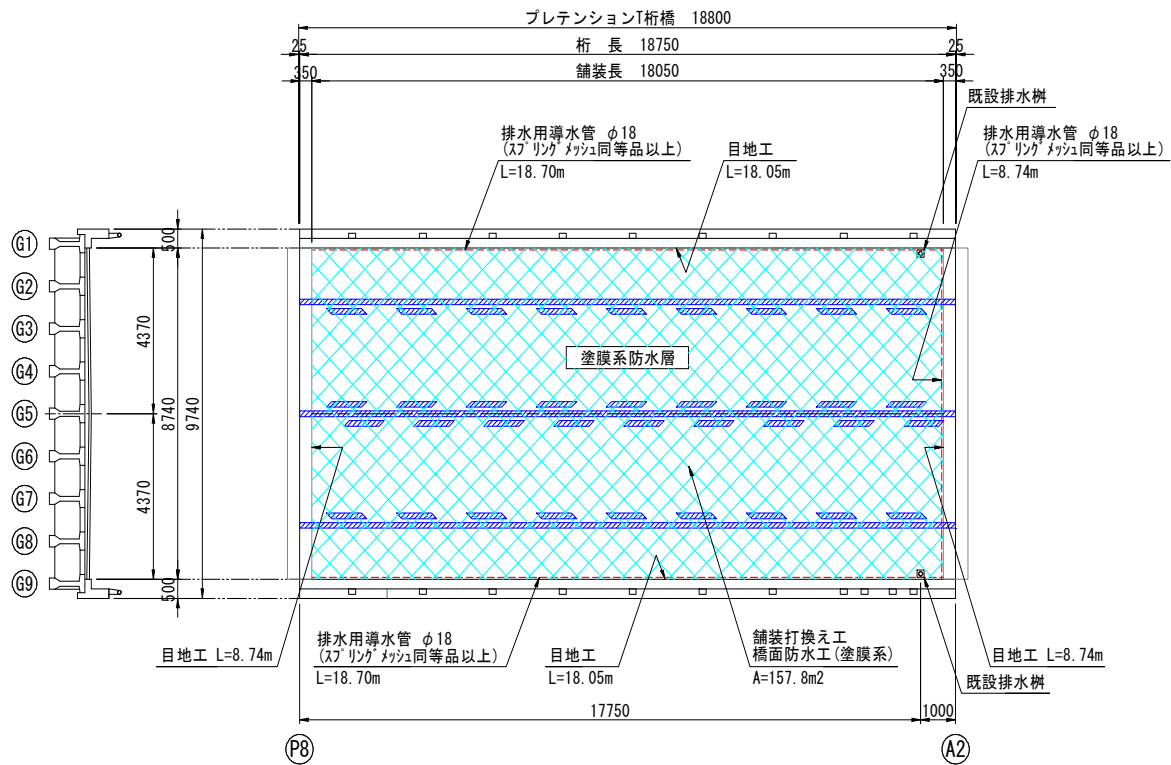
・ 車道部

橋面工補修図(その11)より

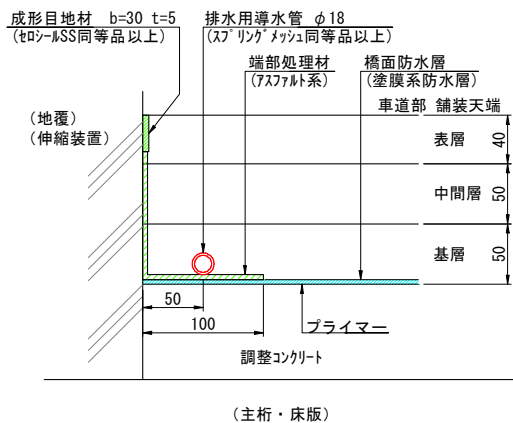
$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{\underline{53.6 \text{ m}}}$$

(9) P8-A2間

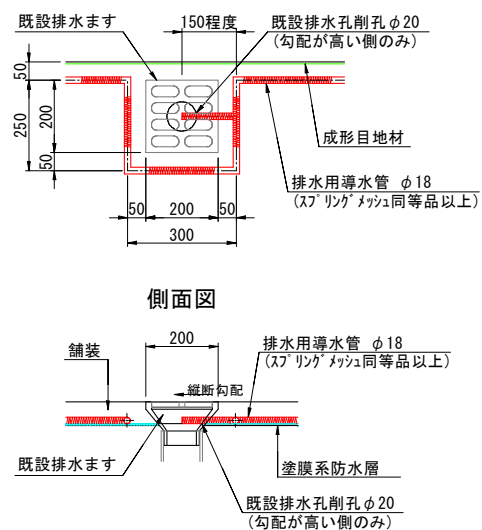
橋面防水工詳細図 【車道部】 平面図



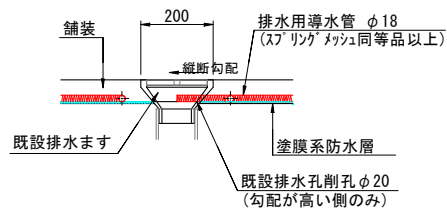
端部処理詳細図



既設排水ます流末処理図



側面図



1) 橋面防水層

・ 車道部 (塗膜系防水層)

橋面工補修図(その12)より

$$A = 8.740 \times 18.050 = \underline{157.8 \text{ m}^2}$$

2) 排水用導水管

・ 車道部 (排水用導水管 $\phi 18$)

橋面工補修図(その12)より

$$L = 18.700 \times 2 + 8.740 = \underline{46.1 \text{ m}}$$

3) 既設排水孔削孔

・ 車道部 ($\phi 20$)

橋面工補修図(その12)より

$$N = \underline{2 \text{ 箇所}}$$

4) 成形目地材 (目地テープ $b = 30\text{mm}$ 、 $t = 5\text{mm}$)

・ 車道部

橋面工補修図(その12)より

$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.6 \text{ m}}$$

5) 端部処理材 (アスファルト系)

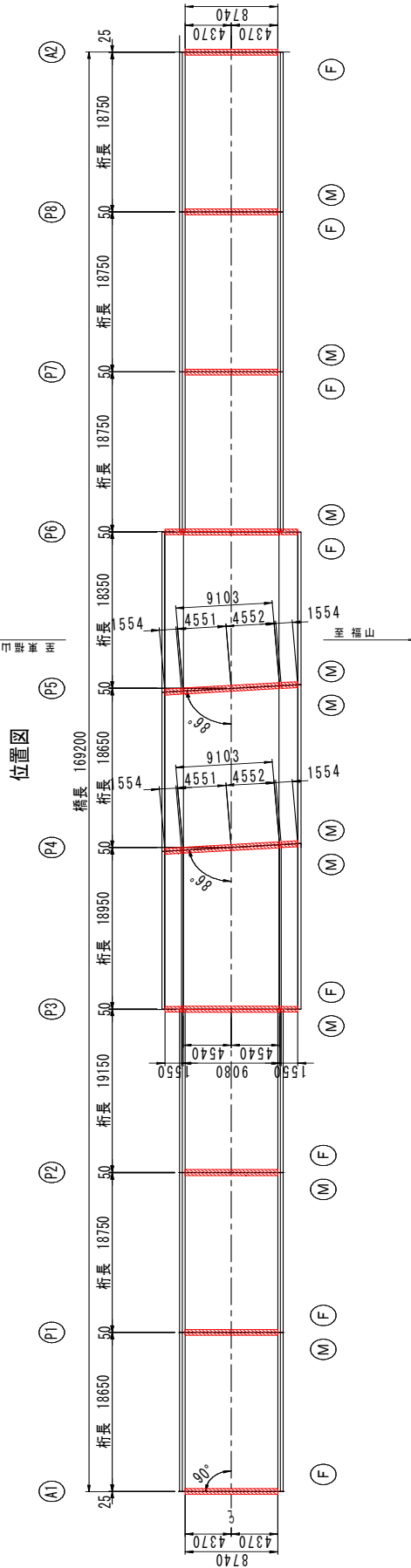
・ 車道部

橋面工補修図(その12)より

$$L = 18.050 + 18.050 + 8.740 + 8.740 = \underline{53.6 \text{ m}}$$

第3表 伸縮継手工

伸縮接手取替工平面図
A1, A2, P1~P8



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		P1		P2		P3		P4		P5		P6		P7		P8		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	HDJ-CV-R20 相当品	m	8.740		8.740		8.740		8.740		9.080							9.080		8.740		8.740	70.600	鋼鉄製・荷重支持型
	HDJ-CV-R40 相当品	〃											9.103			9.103						18.206		
	HSJ-SW-R40 相当品	〃										3.100		3.108			3.108					12.416	鋼製・歩道用	
型枠（軟質ウレタンフォーム）	伸縮装置部	〃	8.740		8.740		8.740		8.740		3.100		3.108			3.108		3.100		8.740		8.740	101.222	断面寸法は数量計算書を参照のこと
	地覆・縁石部	〃	2.410		2.410		2.410		2.410		3.580		3.582			3.582				2.410		2.410	28.784	
	接続部	㎡	103.37		103.37		103.37		103.37		129.21		18.00	146.01		146.01		18.00	129.21	103.37		103.37	1242.66	
シール材（伸縮装置部用）	中央部・端部	〃	193.82		193.82		193.82		193.82		182.00		219.02		219.02		182.00		193.82		193.82		2716.60	ブラック
	計	〃	297.19		297.19		297.19		297.19		323.03		365.03		365.03		200.00		297.19		297.19		3959.26	
		l	1.21		1.21		2.41		2.41		3.58			3.58		3.58				2.41		2.41	26.38	
シール材（地覆・縁石部用）		g	19.20		19.20		19.20		19.20		28.80		28.80		28.80				19.20		19.20		230.40	標準塗布量200g/㎡

Co殻運搬処理

	延長			高さ	幅	体積
	HDJ-CV-R20	HDJ-CV-R40	HSJ-SW-R40			
A1	8.740			0.140	0.700	0.857
A2	8.740			0.140	0.700	0.857
P1	8.740			0.140	0.700	0.857
P2	8.740			0.140	0.700	0.857
P3	9.080			0.140	0.700	0.890
P4		9.103		0.140	0.700	0.892
P5		9.103		0.140	0.700	0.892
P6	9.080			0.140	0.700	0.890
P7	8.740			0.140	0.700	0.857
P8	8.740			0.140	0.700	0.857
合計	70.600	18.206	-	-	-	8.706

	延長			高さ	幅	体積
	HDJ-CV-R20	HDJ-CV-R40	HSJ-SW-R40			
P3(歩道)			3.100	0.150	0.700	0.326
P4(歩道)			3.108	0.150	0.700	0.326
P5(歩道)			3.108	0.150	0.700	0.326
P6(歩道)			3.100	0.150	0.700	0.326
合計	-	-	12.416	-	-	1.304

1-1)Co殻運搬(夜間)

V= 8.7 m3

1-2)Co殻運搬(昼間)

V= 1.3 m3

2)Co殻処分(夜間)

W= 8.7 × 2.50 = 21.8 t

2)Co殻処分(昼間)

W= 1.3 × 2.50 = 3.3 t